

口座振替案内書

公明党富山県議員会

平成28年度政務活動費交付金（4、5、6月分）については、  
下記のとおり指定の預金口座に振り込みとなりますので、ご案内します。

富山県議会事務局総務課

支払日 平成28年4月1日（金）

振込先 北陸銀行県庁内支店 普通預金 4195970

振込金額 ¥900,000円

内 訳

4月分 300千円×1人分=300,000円

5月分 300千円×1人分=300,000円

6月分 300千円×1人分=300,000円

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年4月1日

会派・議員名 公明党 吉田 勇

整理番号	4-1	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・金庫費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

北日本政経懇話会


上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本政経懇話会	27,000円	H28年4月～6月分(3ヶ月)
	《合計》	27,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

4-1

**北陸銀行 キャッシュカードサービス**  
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	口座番号	処理番号	日付
お振込	0041463		28-01-19
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
振込枚数		残高枚数	
万円	五千円	千円	500円
100円	50円	10円	5円
1円			
005000000004	000401030101		
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
13:13	¥486円	¥54,000円	
おつり	お取引後の残高*		
¥0円	円		
手数料のうち振込手数料		¥486	
		000016	
			
キタニホンセイケイコンワカイ 様			
トヤマケンキカイキョウインヨリタツトム 様			
電話番号 076-444-9669			

お取引の種別………通帳へ記入されるまで大切に保管ください。  
A T M振込の滞戻しはご利用控え(持書)ください。

H(201)504 X 25.3 100 X 500 CX

裏面もあわせてご覧ください。

# 請 求 書

平成 28年 1月 18日

富山県議会議員  
吉田 勉 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町2番  
北日本新聞社経営企画  
TEL076(445)3508  
FAX076(444)3130

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成28年上期会費 (平成28年1月-6月分) 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費 (1カ月9,000円) は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、2月12日(金)までに下記の北日本政経懇話会口座へお願い致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願います。

[Redacted]

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年4月1日

会派・議員名 公明党 吉田 勇

整理番号	4-2	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費	資料購入費	広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------	-------	-------------

(事業内容)

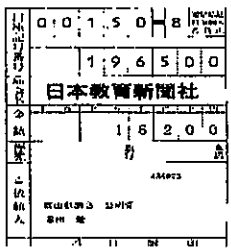
執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	日本教育新聞社	16200円	4月~9月分(6ヶ月分)
		《合 計》	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

4-2

## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-04-01	32185	A93160001
取扱店	トヤマケンチョウナイ	
払込口座	00150-8	196500
払込金額	*16,200	料金 *0
		振替受付票 払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
入金額	*16,200	
おつり	*0	
新生活応援キャンペーン実施中! 詳しくは、貯金窓口へ。		

印紙税申告納付につき趣町  
税務署承認済

No. 049758

## 領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,200-

但し購読料 28/4月~28/9月として  
平成 28 年 4 月 1 日 (郵便振替)

上記の金額正に領収致しました

印 収  
紙 入

株式会社 日 本 教 育 新 聞 社

東京都港区 8  
〒105-8436 電 28

扱  
者  
印



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

整理番号	4-3	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費  
H28年 2月 定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備 考
		県政報告 製作費	15000円
	企画、編纂料	6000円	一式
	封筒製作費	3000円	3000部作成
	消費税	19200円	8%
	《合 計》	259200円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

# 領 収 証

No.

公明党 富山県支部 様

28年 4月 11日

¥25920-

内 訳

現金

小切手

手形

その他

但し 党政報告、収支 一括

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙

2010

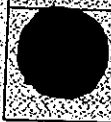
## 三ノト印刷

代表 山田 幸

〒931-8334 富山市千原崎2丁目1番

TEL & FAX (076) 437-5777

係 印





# 請求書

No. \_\_\_\_\_

28年 4 月 日

公明党 富山県議会 様

**三才印刷社**

代表 山田 幸一郎

〒931-8334 富山県 富山 市 原 崎 2 丁目 1 - 1

TEL & FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 ~~¥~~ 259,200 -

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	3000部		150000	
2	企画・編集料			60000	
3	封筒	3000部		30000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				240000	
消費税				19200	
合計				259200	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

**吉田つとむ**



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3  
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078  
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

# 県政報告



◆公明党富山県議会議員 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 28 年 4 月)

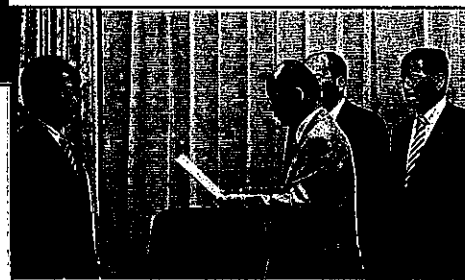
◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 Tel. (076) 444 - 3373

## 脳脊髄液減少症の治療推進及び支援対策を求める要望を富山県の患者・家族の方々から受ける!



◆脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等、身体への強い衝撃により、脳脊髄液が漏れ続け、頭痛、めまい、吐き気、首や背中への痛み、腰痛、視力低下、耳鳴り、思考力低下、睡眠障害、倦怠感等のさまざまな症状が複合的に発症する病気です。「怠け病」、「精神的なの」と判断され、患者及び家族の肉体的、精神的な苦痛は計り知れません!

◆この治療に有効な「ブラッドパッチ療法」(硬膜外自家血注入療法)の公的医療保険の適用が2016年度の診療報酬改定案に盛り込まれ、正式に決定しました。患者の経済的負担の軽減が期待される上、病症の研究も進み、多くの患者の救済につながることを期待される!



◆平成28年2月富山県議会定例会・「吉田つとむ」の一般質問より

### 問1 経済再生について

(1) 少子高齢化に伴い生産年齢人口の減少が見込まれる中、中小企業の生産性を向上するには、産業用ロボットの活用が重要であると考え、ロボットを活用した中小企業の生産性向上に対し、どのように取り組むのか、問う。

#### 【石井知事 答弁】

- 1 中小企業の生産性の向上のために、県ではこれまでも、中小企業でも使いやすい、産業用ロボットの開発を行うことを目的とした「とやまロボット技術研究会」を設置するなど、ロボットの事業化を支援してきたほか、産業用ロボットを運用する人材の育成を図る在職者向け講座の開催なども行ってきたところである。
- 2 また、県制度融資や、国の補正予算で措置されたいわゆる「ものづくり補助金」の活用による中小企業の設備投資を促進しており、これらの利用により、研磨や検査の工程にロボットを導入し、作業の効率化や品質の向上、自動化による人件費の削減を図った事例もみられる。
- 3 さらに、平成28年度には、人材不足の解消や業務負担の軽減が特に課題となっている介護や農業の分野において、介護ロボットやチューリップの球根植込・収穫ロボットへの支援などを行うとともに、ものづくり生産設備などをインターネットでつなぎ生産性向上を図る「IoT」の導入促進のための調査研究などに取り組むこととしている。
- 4 このほか、県制度融資の「設備投資促進資金」について金利引下げ措置を拡充し延長するとともに、「生産性向上支援枠」を創設するなど、ロボットなどの革新的な生産設備の導入支援を行うこととしている。また、国の「ものづくり補助金」では、設備投資への補助上限額が拡充されており、事業の革新を目指す

中小・小規模企業には、これらの制度を有効に活用いただきたい。

5 今後とも、県として引き続き中小企業・小規模企業者の生産性の向上支援にしっかり取り組んでまいりたい。

## 問1 経済再生について

(2) 本県の農林水産業において、TPP協定の効果を最大限に活用し輸出を促進する一方、海外から入ってくる安価な農林水産物に対抗できるよう、今から体質強化に取り組む必要があると考えるが、所見を問う。

【石井知事 答弁】

- 1 TPPについては、農林水産物の関税削減による長期的な影響が懸念される一方で、加盟国における輸入関税の撤廃や和食の普及等との相乗効果により、輸出拡大の好機になり得るとも考えられることから、「攻め」の農林水産業への転換を図ることが重要であると考えている。
- 2 このため、農林水産業の体質強化について、県ではこれまでも積極的に取り組んできたところであるが、この度のTPP大筋合意を受け、国では、平成27年度補正予算に農林水産分野におけるTPP対策が盛り込まれたところである。県としては、こうした国の対策も積極的に活用しながら、①農業における高収益な作物・栽培体系への転換、②畜産経営への省力化機械の導入等による収益力や生産基盤の強化等に支援するとともに、③林業の成長産業化を目指して、需要に応じた県産材の生産・供給の一体となった取組みへの支援、④富山のさかなのブランド化やキシハタ等の栽培漁業の早期事業化に向けた研究の加速化などを進めることとしている。
- 3 また、TPP協定による参加国の関税撤廃も見据え、県産農林水産物の一層の輸出拡大を図るため、新年度、国内トップクラスの専門家を交えた品目別のワーキンググループを設置し、重点品目や重点国・地域を絞り込んだ輸出の基本方針や具体的な方策を検討するほか、先進的な輸送技術等を活用した輸出の実践を支援するなど事業者への支援を拡充し、海外における販路の開拓・拡大に積極的に取り組むこととしている。
- 4 今後とも、TPP発効等を見据えた中長期的な視点も交え、本県農林水産業の成長産業化を進め、意欲ある農林水産業者が将来にわたって夢と希望を持って安心して取り組めるよう、県議会や市町村、関係機関等とも十分連携しながら、しっかり対応してまいりたい。

## 問2 1億総活躍社会について

(1) 高齢者が意欲に応じて働き続けられるよう、就業機会の創出や職場環境の整備が必要と考えるが、高齢者の就業支援にどのように取り組むのか、問う。定年延長に取り組む企業への支援や高齢者の再就職支援、シルバー人材センターの利用促進などが重要と考える。

【石井知事 答弁】

- 1 本県では、65～69歳の就業率が全国12位であり、65歳を過ぎても多くの方が就業されている。今後、労働力人口の減少が見込まれるため、高齢者が意欲や能力に応じて安心して働き続けられるよう支援することが重要である。
- 2 まず、国では、定年の引上げや機械設備の導入等により高齢者の活用促進を実施する事業者に対する助成措置が設けられており、来年度はさらに拡充が予定されていることから、その活用について助言などしてまいりたい。
- 3 次に、県では、シニア専門人材バンクにおいて、専門的知識や技術等を有する高齢者と企業とのマッチングに取り組んでおり、就職者数は年々増加し、平成24年10月の開設以来、延べ1,188人の高齢者が就職している。
- 4 また、シルバー人材センターでは、臨時的・短期的又は軽易な就業機会が提供されている。今年度から、介護・育児や人手不足分野の就業促進に取り組んでいるとともに、就業時間拡大など要件緩和のための法案が今国会に提出されており、県としても、引き続き運営費補助等によりシルバー人材センターの取組みを支援することとしている。
- 5 さらに、創業を希望する高齢者の起業支援を強化するため、創業支援助成制度の特別枠として、若者や女性に新たにシニアを対象に加え、事業費も拡充することとしている。
- 6 来年度は、シニア専門人材バンクに生涯現役コーディネーターを配置し、シルバー人材センターやボランティア団体への紹介も含め、幅広い活躍に向けて総合的に支援するとともに、シニア活躍に向けた啓発キャンペーンを実施することとしており、今後とも、エイジレス社会の実現に向けて、高齢者が意欲と能力に応じて生き生きと働き続けられるよう支援してまいりたい。

### 問3 児童虐待防止について

- (1) 本県の児童相談所の現状と体制強化に向けて、どのように認識し取り組んでいくのか、問う。  
虐待の初期対応や児童の一時保護、施設入所の措置、再発可能性のある親子への予防的関与など児童福祉司は多忙である。

【井内厚生部長 答弁】

- 1 児童相談所は、児童虐待が発生した際には、児童福祉司や児童心理司が中心となり、①児童の安全の迅速な確認、②緊急性が高い場合の一時保護、③児童や親に対する心理診断や家庭環境等の調査、④入所等の措置の決定及び決定後の児童や親に対する指導助言などの業務について、適切な対応に努めているところである。
- 2 近年、児童虐待相談対応件数が増加し、また、内容が複雑化、多様化する中、迅速・的確な初期対応により児童の安全を確保するとともに、親や児童に対する継続的な助言・指導により生活の安定化を図るためには、児童相談所の体制整備が重要である。
- 3 児童相談所の職員体制については、平成16年度から現在までに、児童福祉司を11名から19名に、児童心理司を7名から8名にそれぞれ増員しており、平成28年度には児童心理司を1名増員し、体制の充実に努めている。また、職員を国の機関等が実施する専門研修に派遣するなど、対応能力の向上にも努めているところである。
- 4 今後も、児童虐待に関する相談対応をはじめとして、子どもに関する家庭などからの相談に対し、迅速かつ継続的に的確な対応ができるよう、児童相談所の体制整備に引き続き取り組んでまいりたい。

### 問3 児童虐待防止について

- (2) 虐待の未然防止や発生時の迅速・的確な対応のためには、「子育て世代包括支援センター」の利用促進や、関係機関が連携して組織する「要保護児童対策地域協議会」の機能強化が必要と考えるが、本県の現状と今後の取り組みについて、問う。

【井内厚生部長 答弁】

- 1 児童虐待は、子供の人権を著しく侵害し、心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世代の育成にも懸念を及ぼすことから、その防止は大変重要と考えている。
- 2 虐待の発生予防については、孤立しがちな子育て家庭の不安を解消するため、乳児家庭全戸訪問事業による保護者の心身の状況の把握や養育の助言等に加え、総合的相談支援を提供する子育て世代包括支援センターの設置を進めるなどの市町村の取組みに対し、県として支援している。
- 3 また、発生時の迅速・的確な対応については、関係機関が情報共有や支援内容の協議を行う場である要保護児童対策地域協議会が市町村に設置されているが、今般、協議会の機能強化を図るため、児童福祉司有資格者等の専門職を必置とする法改正が国において検討されており、県としても人材養成について必要な支援を行ってまいりたい。  
併せて、虐待を発見しやすい立場である医療従事者に対する研修等も行っており、児童相談所の体制整備と併せて、関係機関との情報共有と連携強化を進めてまいりたい。
- 4 市町村と県がそれぞれ求められる役割を踏まえて関係機関との連携を深め、児童虐待の発生予防及び発生時の迅速・的確な対応に資する体制づくりにしっかりと取り組んでまいりたい。

### 問3 児童虐待防止について

- (3) 虐待により適切な養育を受けられない子どもを家庭的な環境で養育する里親制度や特別養子縁組制度の充実を図る必要があると考えるが、本県の現状と今後の取り組みについて、問う。

【井内厚生部長 答弁】

- 1 里親又はファミリーホームによる家庭養護は、児童養護施設による養護に比べ、安心で安全な環境の中での特定の大人との愛着形成や、心身及び社会性の適切な発達促進、信頼できる大人の存在を通して適切な自己イメージの形成と生きるための自信の獲得につながると考えられる。
- 2 このため、県としても里親への委託を推進しており、委託児童数は平成21年度の16人が平成26年度は35人と着実に増加している。ただ、里親との特別養子縁組については、実の親の了解を得ることが難しいことから、養子縁組を希望する里親への委託は年間1~2件程度にとどまり、多くは養育里親への委託となっている。

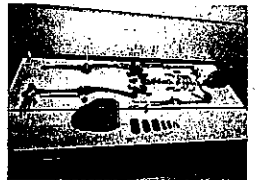
- 3 本県における社会的養育を必要とする児童の養育については、現在、概ね「里親2割、施設8割」となっているが、本年度中の策定を目指し、現在パブリックコメントを実施している「富山県家庭的養護推進計画（素案）」においては、より家庭的な環境の下での養育が望ましいとの考えから、15年後には里親、グループホーム、施設をそれぞれ3分の1とすることを目標としているところである。
- 4 この目標の実現のためには、養育里親希望者の開拓や里親の養育技術の向上など様々な課題があることから、県としては、児童相談所を中心に、里親会や、乳児院に設置した里親支援機関等の関係機関・団体のご理解、ご協力を得ながら、取り組んでまいりたい。

#### 問4 小竹貝塚について

- (1) 全国5か所で開催された「発掘された日本列島展」には小竹貝塚の出土品が数多く展示されたが、全国でどれくらいの方が観覧し、どのようなPR効果があったのか、県埋蔵文化財センターで開催された展覧会の成果と併せて問う。全国の多くの方に小竹貝塚の素晴らしさと、この地が縄文遺跡の宝庫であることを知ってもらえたのではないかと考えている。

#### 【渋谷教育長 答弁】

- 1 巡回展「発掘された日本列島」は、昨年5月の東京を皮切りに、先月まで全国5会場で開催されたが、主催した文化庁によれば約13万人の日本全国の考古学ファンが観覧したとのことである。この巡回展では、近年特に注目される19遺跡の出土品だけが展示されており、その中に小竹貝塚が選ばれたことは大変嬉しく思っている。巡回展の期間中は、全国から県の埋蔵文化財センターへ、出土品の展示内容や発掘現場の状況など、毎月50件程の問合せがあり、大きなPR効果があったのではないかと考えている。
- 2 また、埋蔵文化財センターで開催された巡回展では、9千人を超える方々に来館していただいたが、アンケートによると、約2割が県外からの来館者であった。さらに、夏休み期間中であったこともあり、1,200人を超える子ども達も来館している。来館された方々からは、「小竹貝塚の展示は興味深かった。また来館したい」「小竹貝塚の出土品は迫力があって良かった」「貴重な遺物ばかりで、県外から足をのばした甲斐があった」などの声が寄せられている。
- 3 さらに、来館者の中には発掘現場を見学したいという方も多くおられ、そうした方には小竹貝塚の解説パンフレットや道路案内図を配布し、周辺の縄文遺跡も併せた縄文遺跡ゾーンとして紹介している。こうしたことから、巡回展によって、全国の多くの方々に、小竹貝塚の素晴らしさと、貝塚一帯が縄文遺跡の宝庫であることも知ってもらえたのではないかと考えている。

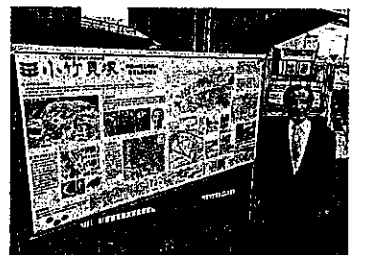


#### 問4 小竹貝塚について

- (2) 小竹貝塚の発掘調査の成果は教科書を変えるような大発見であり、県内の小中学生には、地元の誇りとして小竹貝塚を学習する機会を設けるべきと考えるが、所見を問う。テレビ番組でも、小竹貝塚の縄文人骨のDNA分析から日本人のルーツを探ることが可能になったことが紹介された。

#### 【渋谷教育長 答弁】

- 1 議員からご紹介いただいたとおり、昨年末の特別番組「教科書が変わる 日本人のルーツをたどる旅」で小竹貝塚出土の縄文人骨が紹介され、DNA分析によって日本人のルーツに迫ることができたことや、復元された縄文人の顔が紹介されている。放映後、毎月20件程の問合せがあり、全国で小竹貝塚の知名度がさらに高まったのではないかと考えている。
- 2 この小竹貝塚や出土品を県内の小中学生が学ぶことは、ふるさと富山の歴史への理解を深める上で、重要なことと考えている。このため、県埋蔵文化財センターでは、県内の各学校に遠足や校外学習での来館を呼びかけ、今年度は11校551人の子ども達が小竹貝塚常設展示室を訪れている。来館した子ども達からは「富山にはこのような遺跡があってびっくりした」、「もっと富山の歴史を知りたいと思った」との声が寄せられている。また、出前授業も行っており、今年度は15校を訪問し、出土品や写真パネル等を使いながら、子ども達が小竹貝塚について学んでいる。
- 3 埋蔵文化財センターでは、来年度、新たに、① 来館した子ども達が、小竹貝塚についてより楽しく学習できるQ&A等を盛り込んだリーフレットの作成や② 小竹貝塚の出土品を実際に手にとって触れることができる出前授業を行うこととしており、今後とも小竹貝塚を地元の誇りとして、また、ふるさと学習の貴重な教材として、学習機会の充実に努めてまいりたい。



整理番号	4-4	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

県政報告書(2月議会)郵送料

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宛封便運賃料金	136412円
	折り込み料金	42756円	
	(合計)	179168円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)





# ご請求書

---

〒 930-0116  
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。  
平成28年 4月のご請求書をお届けさせていただきました。



## ヤマト運輸株式会社

富山主管支店  
担当店：富山呉羽センター  
〒939-0285  
射水市  
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：  
0766-55-1934  
集荷・配送についてのお問合せ：  
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス  
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

---



整理番号	4-5	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

高山新南政経文化懇話会  
平成28年度会費

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		平成28年会費	60000円
	振込手数料	486円	
	(合 計)	60,486円	

《領収書貼付特》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

4-5

**北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控**

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0046277	28-04-04	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
枚数		通貨	
万円	千円	500円	100円
00600000000000	00000000000000	000401030101	00000000000000
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
14:15	¥486円	¥60,000円	
おつり	お取引後残高		
¥0円	円		
手数料のうち振込手数料 ¥486 000020			
 トヤマシンブンセイケイフンカコンワカイ 様 トヤマケンキカイキョウイン ヨシタ ユツ 様 電話番号 076-434-3909			

お願い...  
通帳へ記入されるまで大切に保管してください。  
ATM振込の領収書は「ご利用控」に貼付してください。

1113015012 1/26.11 102x500 CR

裏面もあわせてご覧ください。

平成 28 年 4 月 2 日

# 請 求 書

富山県議会議員 吉田 勉 様

富山新聞政経文化懇話会  
富山新聞政経文化懇話会  
代表者

金 60,000 円

日頃より、富山新聞政経文化懇話会に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、平成 28 年会費を上記の通りご請求申し上げます。つきましては、平成 28 年 4 月 28 日 (木) までに下記口座に納入いただきますようお願い申し上げます。

口座名義 富山新聞政経文化懇話会

取扱金融機関

[Redacted bank information]

※尚、本請求書と行き違いでお支払いの節は、失礼をご容赦下さいますようお願い致します。

(連絡先) 富山新聞政経文化懇話会事務局 電話 076-491-8126

整理番号	4-6	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費	事務費・人件費
------	-----	------	-------------------------------	---------

(事業内容)

備品購入  
インクカートリッジ

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		キヤノンインクカートリッジ	2678円
	(合計)	2678円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

4-6

# DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~20:00  
カーマ新規入会キャンペーンのご案内  
お得なカーマカードに入会されますと  
もれなく1000ポイントプレゼント!  
現金でもポイントが貯まります!

## 領 収 証

2016年04月02日(土)09:55 0090

016 キヤノン インクカートリッジ  
4960999971308 ¥5,356

合計 20X 2点 ¥5,356

(内税 ¥5,356)  
(内税 ¥5,356)  
(税合計 ¥5,356)

お預り ¥10,361  
お釣り ¥5,005

お買上点数 2点  
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
★ カーマネオ会員様限定 ★  
★ 特別企画 ★  
★ 3倍ポイントセール実施中 ★  
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



レシートNo8846 店No00803

レシートNo8846 店No00803



お買上点数 2点  
(税合計 ¥396)  
(内税 ¥396)  
(内税 ¥5,356)  
合計 ¥5,356  
20X 2点 ¥5,356  
4960999971308 ¥5,356  
016 キヤノン インクカートリッジ

2016年04月02日(土)09:55 0090  
\*領収証明詳細\*

2016年04月02日(土)

## 領 収 証

¥ 5,356 -

富山県議会  
公明党

上記正に領収しました(消費税等 396円を含みます)  
領収品代(千448-0046愛知県刈谷市日高町4-101)  
DCMカーマ 呉羽店  
DTEL 076-(434)-4000  
※保管等でお願いの場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0090-3211-8846

## 口座振替案内書

公明党富山県議員会

平成28年度政務活動費交付金（7、8、9月分）については、下記のとおり指定の預金口座に振り込みとなりますので、ご案内します。

富山県議会事務局総務課

支払日 平成28年7月1日（金）

振込先 北陸銀行県庁内支店 普通預金 4195970

振込金額 ¥900,000円

内 訳

7月分 300千円×1人分=300,000円

8月分 300千円×1人分=300,000円

9月分 300千円×1人分=300,000円



整理番号	7-1	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入  
インカー・トリッジ

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		モノインカー・トリッジ	19,54円
	モノインカー・トリッジ	15,70円	1/2 持ち分 (3141円÷2)
		35,24円	
	《合計》	35,24円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を敷し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



7-1

富山県議会  
公明党

# 領収証 様

20 年 月 23日 (土)

## ¥3,141

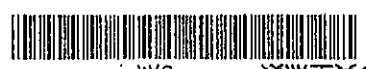
上記正に領収しました(消費税等 232円を含みます)  
 但し、商号代(〒448-0046愛知県刈谷市日高町4-101  
 DCCMカーママ 豊羽店  
 DCCMTEL 076-(434)-4000  
 ※保管上のお願いは、印刷面を内側に折って保管願います。  
 財布等で保管載く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-1091-6215

**\*領収証明細\***  
 2016年04月23日(土)11:15 19'0093

〒注 07  
 203445  
 位置 番号  
 位置 区分

016 キヤノン イソクカ-トリッ  
 4960999669915 ¥2,030  
 2コX単1015  
 016 キヤノン イソクカ-トリッ  
 A 4960999669915 ¥1,111  
 合計 ¥3,141  
 (内税919円) (内税 ¥3,141)  
 (内税) (内税) (内税)  
 (税合計) (税合計) (税合計)  
 お買上点数 3点



店№00803 19-TN06215

領収書貼付台紙  
重ならないように貼付すること。



吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん 赤旗</b> 領収書
新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
		3,497 円
		2016 年 5 月分
上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。		
930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL:076-432-8383		
領収日	/	扱者

2016年4月分 領収証 発証No 00004567-201604-1

吉田 勉 様

銘 柄	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合 計 金 額

¥3,072

(消費税込み)

※お客様の個人情報、当販売所において適切に管理し、新聞の配達、基金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利で  
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました。

年 月 日 領収

北日本新聞

領収証 16年 04月分 2016年4月29日 Na 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額	合計金額 3,072
-----	------------

上記金額正に領収致しました。

銘 柄	部数	金 額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140



皆様に支えられ、おかげさまで創刊93年。  
引き続き、まごころ込めてお届けします。

7-2

2016年5月分 領収証 発証No 00004567-201605-1

**吉田 勉 様**

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 **¥3,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・系金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

北日本新聞

領収印

領収証

16年 05月分 28年6月27日

No 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

繰越額

合計金額 **3,072**

上記金額正に領収致しました。

富山新聞販売 (株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140



皆様に支えられ、おかげさまで創刊93年。  
引き続き、まごころ込めてお届けします。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

7-2

2016年6月分 領収証 発証No: 00004567-201606-1

**吉田 勉 様**

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 **¥3,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

領収印

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

**北日本新聞**

領収証 16年 06月分 28年 6月 27日 No. 580023

お名前 **吉田 勉 様**

ご住所 **追分茶屋 49-3**

繰越額

合計金額 **3,072**

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

**富山新聞販売 (株)**

富山センター 吳羽茶屋販売所

富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当




今年も「富山新聞花火」をお楽しみ下さい。  
水見8/6、福岡8/7、砺波8/15予定。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

7-2

吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b>	
		領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	
			2016 年 4 月分
上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。			
930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL 076-432-8383			
領収日	/	投着	



整理番号	17-3	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費  
H28年 6月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		県政報告製作費	15,000円
	企画編集料	60,000円	一式
	封筒製作費	30,000円	3,000部作成
	消費税	19,200円	8%
	《合 計》	259,200円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

7-3

# 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

公明党 富山県議会 様

28年 7月 1 日

¥259,200-

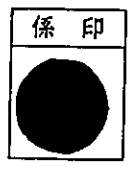
内 訳	
現金	_____
小切手	_____
手形	_____
その他	_____

但し 身銭報告、収領一式  
上記の金額正に領収いたしました



## 三ナド印刷社

代表 山田 幸  
〒931-8334 富山市千原崎2丁目1番1号 (新富山駅前)  
TEL & FAX (076) 43 2207



# 請求書

No. \_\_\_\_\_

28年 7月 日

公明党 富山県議会 様

下記の通り御請求申し上げます。

**三才印刷社**

代表 田中 幸一郎

〒931-8334 富山県富山市原町2丁目1-1  
TEL & FAX (076) 243-5777

合計金額 ¥259200-

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	果政報告	3000部		150000	
2	企画・編集料			60000	
3	材料	3000部		30000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				240000	
消費税				19200	
合計				259200	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

**吉田つとむ**



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3  
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078  
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

# 県政報告

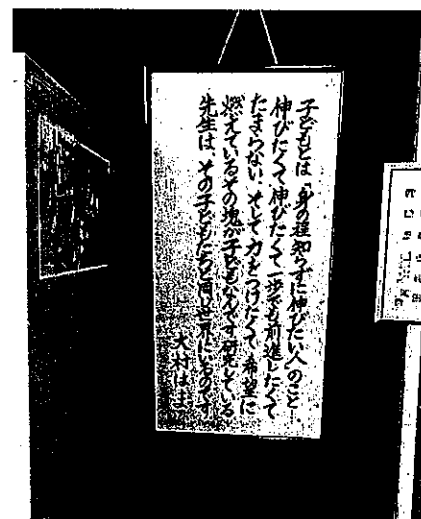


◆公明党富山県議会議員 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 28 年 7 月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 Tel (076) 444 - 3373

## 富山県議会教育警務委員会県内行政視察(H28.6.3)「富山市堀川小学校第 87 回教育実践発表会」



- ◆実践主標「個が育つ教育経営」、研究主題「個の学びと教育」・・・公開内容は、
- ①「授業」を通して自ら見つけ、はたらきかけ、追究を深め続けようとする子供
  - ②「朝活動」を通して身のまわりの環境に心を働かせ、自らの手で整える子供
  - ③「暮らしの時間」を通して自他の豊かに感ずる心を聞き合い、認め合う子供

◆平成 28 年 6 月富山県議会定例会・「吉田つとむ」の予算特別委員会の質問より

### 問1 熊本地震を教訓とした本県の防災・減災対策について

(1) 政府の地震調査委員会が公表している主要断層帯の長期評価について、本県に身近な断層の位置や状況を踏まえて、本県の防災・減災対策に活かすべきと考えるが、評価に対する認識と併せて今後どのように取り組むのか、問う。

【石井知事 答弁】

- 1 県の地域防災計画においては、地震の調査研究や、調査結果に基づく総合評価の役割を担っている国の地震調査研究推進本部などとも連携しながら、最新の科学的知見などを踏まえて、本県に最も大きな被害を及ぼす可能性のある呉羽山断層帯による地震について、減災目標を設定し、地震災害対策を推進している。
- 2 また、国の推進本部では、平成 21 年度から、全国の主要活断層のうち、地震の発生確率の高い活断層、地震が発生した場合に社会的影響が大きい活断層などについて、順次追加調査を行っている。県としては、防災対策に反映するために、国に対して、本県に影響を及ぼす可能性のある県内 5 力所の活断層の追加調査などを、これまでも要望してきており、平成 22 年度には呉羽山断層帯と邑知瀧断層帯の調査、平成 23 年度には砺波平野断層帯西部の調査が実施されている。
- 3 しかしながら、本県同様、地震が少ないと言われ、地震への危機感が薄かった今回の熊本地震を踏まえると、

危機意識を高め、木造住宅の耐震化などの防災対策につなげる必要があることから、国の追加調査も踏まえ、その新たな対策の一つとして、専門家の意見も聴きながら、砺波平野断層帯や邑知潟断層帯などの被害想定調査の実施についても検討してまいりたい。

## 問1 熊本地震を教訓とした本県の防災・減災対策について

(2) 地震による土砂災害について、本県での危険性をどう認識し、その未然防止対策と危険箇所付近に住む県民への情報提供にどのように取り組んでいくのか、所見を問う。

【加藤土木部長 答弁】

- 1 今回の熊本地震による土砂災害は、九州の6県で計190件発生しているが、地震による土砂災害の発生箇所を事前に特定して、対策を行なうことは、各地点ごとに斜面の表層の土質や地下水の状況の把握、斜面に作用する地震力の想定など、不確定な要素が多くあることから現在の技術ではなかなか困難な面もある。
- 2 地震によるものに特化した調査ではないが、県内には土砂災害の危険箇所が4,944箇所あり、このうち人家5戸以上あるなどの1,804箇所を重要整備箇所とし、施設の整備を進めているところであるが、平成27年度末現在における整備率は34%である。
- 3 危険箇所に関する県民への情報提供については、土砂災害防止法に基づいて、県が、基礎調査を実施して土砂災害警戒区域等の指定を行ない、これに基づき、市町村が土砂災害ハザードマップを作成し住民への配布を行なうこととなる。
- 4 平成27年度末の県内の現状については、法に基づく区域指定はほぼ完了しており、ハザードマップも全市町村で作成・配布済みとなっており、住民への危険性の周知・情報提供が行なわれている。
- 5 県としては、地震による土砂災害への備えは重要と考えており、人家・集落に危険を及ぼす可能性のある危険箇所に対して計画的に施設の整備を進めていくことで地震時の被害の軽減にもつながるものと考えており、今後とも、ハード・ソフトの両面から総合的に土砂災害の未然防止対策に取り組んでまいりたい。

## 問1 熊本地震を教訓とした本県の防災・減災対策について

(3) 高齢者や障害者などのうち、自ら避難することが困難な避難行動要支援者の把握、福祉避難所での円滑な受け入れ体制確保のための情報提供や訓練などにどのように取り組んでいくのか、問う。

【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 避難行動要支援者については、災害対策基本法において、市町村長がその把握に努め、避難支援等を実施するための基礎となる名簿を作成することとされており、本年4月現在、県内では、約5万2千人の方が名簿に掲載されている。ただ、地方防災計画に定める対象者全てが、名簿に掲載されていない市町村もあることから、対象者の把握と名簿への掲載を促していくこととしている。
- 2 また、福祉避難所についても、市町村長が指定しなければならないとされており、本年4月現在、県内の164か所の高齢者施設や障害者施設等が指定されているところであるが、熊本地震において実際の設置があまり進まなかったことから、災害時に市町村において速やかに福祉避難所の設置がなされ、迅速・的確な対応をとることができるよう、国が示しているガイドラインの内容等を市町村や福祉関係施設等に周知することとしている。  
さらに、訓練については、高岡市において民間事業所と連携して、在宅障害者を対象とする避難訓練を行う予定となっているほか、県の総合防災訓練において砺波市が福祉避難所の設営・運営訓練を行うこととしており、これらを通じて、受入体制について確認したいと考えている。
- 3 県としては、市町村における避難行動要支援者の把握や、福祉避難所の円滑な受入体制の確保に対し、支援してまいりたい。

## 問1 熊本地震を教訓とした本県の防災・減災対策について

(4) 避難所におけるトイレ確保の重要性についてどう認識し、市町村と連携して災害用トイレの速やかな配備のため、どのように取り組むのか、問う。

【新田知事政策局長 答弁】

- 1 災害時の避難所において、災害用のトイレを速やかに確保・配備することは、エコノミークラス症候群等の健康障害を避け、また、避難所の衛生環境を保ち、避難生活の安定を図る上で極めて重要であると認識している。
- 2 県地域防災計画において、市町村は、指定避難所において避難住民の生活を確保するとともに、その環境を快適に保つため、簡易トイレ等必要な施設・設備の整備に努めることとし、県は市町村を支援することとしている。
- 3 これに基づき、トイレの備蓄については、市町村が主体となって進めており、県内には約2万個を備蓄しているが、石川は1万8千個、福井は4千300個であり、本県は相対的に多く備蓄されている。これを補完するため、県でも広域消防防災センターに約300個備蓄するなど、県全体で、どこで災害が起きても大丈夫なように分散備蓄している。

また、被災市町村において確保できない場合には、市町村の要請に基づき、県が応援することとしている。

## 問1 熊本地震を教訓とした本県の防災・減災対策について

(5) 避難所をどう運営するかの事前の検討や自分の町は自分たちで守る「近助」を前提とした防災訓練など、普段から地域ぐるみで考え、取り組む活動が大切と考えるが、所見を問う。

【新田知事政策局長 答弁】

- 1 大規模な災害が発生した場合、行政の対応である公助だけでは限界があることから、自助、共助が不可欠と考えており、地域防災計画においても、地域防災力の強化を防災対策の基本の一つとして取り組んできている。
- 2 具体的には、自主防災組織による避難所運営に係る事前検討や避難対応を支援するため、自主防災組織のリーダーを対象とした災害図上訓練等を行う研修会の開催や、自主防災アドバイザーによる自主防災組織の運営等への助言などを行っている。また、災害が夜間に発生する状況を想定した自主防災組織による実践的な訓練への支援などのほか、県の総合防災訓練においても、自主防災組織による津波や土砂災害からの避難訓練、避難行動要支援者への声掛けによる避難支援訓練、避難所の開設・運営訓練、炊き出し訓練などを幅広く実施してきている。
- 3 こうした取組みもあって、例えば、一昨年の魚津市での大雨災害の際には、自主防災会の会長が避難勧告等の発令前に住民への自主避難を呼びかけ、人的被害の発生を防ぐなど適切な対応がなされた例もある。
- 4 県としては、普段から地域ぐるみで考え、取り組む自主防災組織による活動が促進され、災害時には円滑な共助が実現されるよう、研修会や実践的な訓練等を通じた支援にしっかりと取り組んでまいりたい。

## 問2 これからの地方創生について

(3) 現役世代の移住を進めるため、地域の魅力の情報発信や移住者が生活するための仕事の確保など、移住希望者に対する支援にどのように取り組んでいくのか、問う。

【石井知事 答弁】

- 1 本県では、これまで、定住・半定住の促進に取り組み、県・市町村の窓口等を通して定住された方々は、昨年度は過去最高の462名となり、この8年間では2,550名となっている。特に、20代・30代の移住志向が年々高まっており、本県への移住者も20代・30代を中心に現役世代が多くを占めている。平成27年度は、462名の移住者のうち、72%が20代・30代で、子連れの方も多い。

- 2 このため、県では、「仕事」や「子育て」といった現役世代が求めるニーズも踏まえつつ、現役世代の更なる本県への移住促進に向け、取組みを進めており、例えば、
- (1) 地域の魅力の情報発信については、昨年5月に「富山暮らし・しごと支援センター」を東京有楽町に設置し、仕事と暮らしに関する相談体制の一元化を図るとともに、本県の仕事や子育て環境の充実ぶりをデータで紹介したハンドブックや移住プロモーション動画を活用し、情報提供や相談対応の充実を図るなど、日本橋とやま館でもその一翼を担うこととしているが、情報発信の強化に取り組んでいるところである。
  - (2) 移住者の仕事の確保については、「富山暮らし・しごと支援センター」において、求職者が希望する条件や職種、経歴等を踏まえ、希望に沿った求人を新規に開拓する「オーダーメイド型の求人開拓」を行うとともに、今年度から新たに「介護人材移住応援員」を配置し、福祉施設や市町村と一体となって、介護人材の移住をサポートするなど、県内事業者とのきめ細かなマッチング支援に努めることとしている。
  - (3) このほか、現役世代も含めた移住希望者に対する支援として、①レンタカーや引越し業者などの県内協力事業者が移住希望者に対し各種割引・特典を提供する「とやま移住応援団」制度や、②富山の暮らしや子育て環境の充実ぶりを実感してもらうために必要な宿泊体験・交流施設の整備支援などに取り組んでいる。
- 3 現役世代の移住を進めることは、生産年齢人口が減少する中、地域経済の活力を維持する観点からも大変重要であると考えており、市町村では朝日町、南砺市、高岡市金屋町、南砺市城端などで熱心であるため、連携しながら、現役世代の移住者増に、しっかり取り組んでまいりたい。

## 問2 これからの地方創生について

(2) 中高年の地方への受け皿を作る「生涯活躍のまち」制度について、本県ではどのように取り組むのか、問う。

【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 「生涯活躍のまち」制度は、中高年齢者が希望に応じて都会から地方への移住や「まちなか」に移り住み、地域住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを進めるものである。  
県内では、一部の市町においてこの制度の推進を検討しており、都会からの移住を進めるものや、「まちなか」への移住を進めるものもあるところである。
- 2 県としては、移住によるかどうかに関わらず、高齢者が生涯を通じて活躍できることは大変重要と考えている。このため、「エイジレス社会リーダー養成塾」や「とやまシニア専門人材バンク」など、高齢者の生きがいづくりや就業機会の確保などに取り組むとともに、高齢者が安心して暮らせるよう、「ふれあいコミュニティ・ケアネット21」活動への支援や「富山型デイサービス」の普及なども進めてきた。さらに、今年度は、新たに元気な高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりについて検討することとしている。
- 3 ただ、「生涯活躍のまち」制度など中高年層の地方移住を進めるに当たっては、医療や介護がいずれ必要となるため、財源負担の増加や、人材の確保など解決すべき課題もあると考えている。  
このため、県としては、引き続き、国等における財政面の検討状況などを注視するとともに、県内市町村の意向なども踏まえつつ、エイジレス社会の実現に向け、取り組んでまいりたい。

## 富山新港太陽光発電所が完成！年間可能発電電力量約480万kWh（一般家庭約1300軒が1年間に使用する電力量に相当）



この富山新港太陽光発電所は、富山新港臨海工業用地の石炭灰処分場の埋立終了地を有効活用し、再生可能エネルギーの導入拡大を図るものであり、企業局においては、平成26年3月運転開始の神通川浄水場太陽光発電所に次ぐ、2か所目の大規模太陽光発電所（メガソーラー）となります。



整理番号	7-4	使途項目	調査研究費 <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
(事業内容) 行政改革推進協会 主催 セミナー			
① 人口減少時代における地域再生			
5月10日(火) 10:00~12:30 地域づくりの創出と展開 14:00~16:30 人口減少時代に立向う戦略			
② 教育改革は家庭教育支援のS			
5月17日(水) 10:00~12:00 地域資源を活用した新しい家庭教育支援のあり方 13:30~15:30 家庭教育支援で子育て世帯の負担を軽減			

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	5,920円
	受講料	6,000円	5/10 2,000円 5/17 3,000円
	食費代	3,000円	昼食 1500円 x 2 (5/10, 5/17)
	(合計)	11,3920円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号	7-4	会派・議員名	公明党 吉田勉
活動名称	研修費		
目的	人口減少時代における地域再生		
日程	平成28年5月10日(火)～平成 年 月 日( )		
場所	アトビニ社センター東京駅八重洲通り		
〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕			
相手方等	一般社団法人 行政改革推進協会		
〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕			
<p>行程・活動内容</p> <p>5月10日(火) 10:00～12:30</p> <p>地域プラットフォームの創出と展開～地域差別化戦略の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域プラットフォームの歴史</li> <li>・「地域プラットフォーム」と「思い地域プラットフォーム」</li> <li>・地域プラットフォーム構築のポイント</li> </ul> <p>5月10日(火) 14:00～16:30</p> <p>人口減少時代に立向う戦略～消滅自治体となるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に対する視角</li> <li>・雇用の増加と達成のための視点</li> <li>・税外収入という手段</li> </ul>			

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	7-4	会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	教育改革は、家庭教育支援から		
日程	平成28年5月17日(火) ~ 平成 年 月 日( )		
場所 <small>(国名・都市名、施設名、訪問先等)</small>	アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り		
相手方等 <small>(主催者、対応者、参加者、同行者等)</small>	一般社団法人 行政改革推進協会		
<p>行程・活動内容</p> <p>5月17日(火) 10:00~12:00</p> <p>地域資源を活用した新しい家庭教育支援のカタチ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中向支援の重要性</li> <li>2. 家庭教育支援チームの実際</li> <li>3. 文科省が考える家庭教育支援チームの役割</li> </ol> <p>5月17日(火) 13:30~15:30</p> <p>家庭教育支援で子育て世帯の流入を目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭教育支援チーム組織化マニュアル</li> <li>2. " " 運営の留意点</li> <li>3. 家庭教育推進活動と議員としてのポイント</li> </ol>			

※日帰りの政務活動を含む。

7-4

**領 収 証**  
RECEIPT

No. 862799 I

平成 28 年 5 月 2 日

ご氏名 厚山県議会公明党 様

---

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額	¥ 25,460-
----	-----------

ただし 5/10 TR券 厚山-東京

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上  
収入印紙

1. 現金  
 2. 小切手  
 3. 振込  
 4. クレジット(カード)  
 (¥ )  
 5. その他( )

**株式会社日本旅行 NIS 富山 営業本部**  
**支店 6810**  
 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

署名

**領 収 証**  
RECEIPT

No. 862800 I

平成 28 年 5 月 2 日

ご氏名 厚山県議会公明党 様

---

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額	¥ 25,460-
----	-----------

ただし 5/17 TR券 厚山-東京

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上  
収入印紙

1. 現金  
 2. 小切手  
 3. 振込  
 4. クレジット(カード)  
 (¥ )  
 5. その他( )

**株式会社日本旅行 NIS 富山 営業本部**  
**支店 6810**  
 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

署名





領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

7-4

# 領 収 証

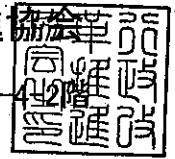
富山県議会公明党 様      28年5月10日

★ ￥30,000

但し、M17「教育政策」は家賃補助から切り込め

研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進  
〒103-0004  
東京都中央区東日本橋2丁目28-4  
TEL 03 (6869) 1143



# 領 収 証

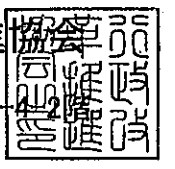
富山県議会公明党 様      28年5月16日

★ ￥30,000

但し、M17「教育政策」は家賃補助から切り込め

研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進  
〒103-0004  
東京都中央区東日本橋2丁目28-4  
TEL 03 (6869) 1143



平成28年4月26日

富山県議会  
吉田 勉 様

一般社団法人・行政改革推進協会  
セミナー事務局  
電話 03-6869-1143  
FAX 03-6869-1326

## 入金確認書

このたびは、行政改革推進協会 主催セミナー にお申込みいただきありがとうございます。

セミナー受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

※ご入金後のキャンセルは開催7日前までをお願い致します。  
以後のキャンセルは、資料と領収証を郵送させていただき、  
ご返金対応は致しかねますので、ご了承くださいませ。

### 記

- ・受講日 平成28年5月10日10:00~12:30、14:00~16:30  
5月17日10:00~12:00、13:30~15:30
- ・受講料 60,000円
- ・お振込み日 平成28年4月26日
- ・お振込み名義人 富山県議会議員 吉田 勉 様



## 「人口減少時代における地域再生 in 東京」ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、一般社団法人行政改革推進協会は、地方議会議員の資質向上を通じ、地方議会の機能を改革、円滑化することにより、住民福祉の増進を目的としています。党籍、会派問わずご参加いただける講座を全国で開催中です。

下記の講座を開講致しますので、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。 敬具

【日時】 5月10日(火) 10:00-12:30

地域ブランドの創出と展開～地域差別化戦略の構築

- ・地域ブランドの歴史
- ・よい地域ブランドと悪い地域ブランド
- ・地域ブランド構築のポイント 等

【日時】 5月10日(火) 14:00-16:30

人口減少時代に立ち向かう戦略～消滅自治体にならないために

- ・人口減少に対応する視点
- ・雇用の増加を達成するための視点
- ・税外収入という一手段 等

【日時】 5月11日(水) 10:00-12:30

シティセールス、シティプロモーションの潮流

- ・シティプロモーションの歴史
- ・シティプロモーションの基本的視点
- ・成功するシティプロモーション 等

【日時】 5月11日(水) 14:00-16:30

政策づくりのポイントと企画部門の強化

- ・議員が持つべき政策研究の観点
- ・政策情報の把握と政策技法の確立
- ・企画部門強化の一形態～自治体シンクタンク 等

※最新事例を提供する都合上、多少の内容変更はあります。

**【講師】 牧瀬 稔 (まきせ みのる)**

(一般財団法人地域開発研究所主任研究員、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師)

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。博士(人間福祉)。民間企業、横須賀市都市政策研究所、(財)日本都市センター研究室を経て、現職。そのほか、法政大学現代福祉学部兼任講師、産業能率大学総合研究所兼任講師など。

2015年度は、新宿区新宿自治創造研究所政策形成アドバイザー、戸田市政策研究所政策形成アドバイザー、かすかべ未来研究所政策形成アドバイザー、鎌倉市政策創造専門委員、東大和市まち・ひと・しごと創生会議座長、西海市総合戦略策定有識者会議座長、横須賀市土地利用調整審議会委員(委員長職務代理者)、公益財団法人熱海市振興公社評議員、NPO 法人地域政策イノベーションフォーラム常任理事など多数。2013年8月には、シティプロモーション自治体等連絡協議会を立ち上げた。「ナビゲーション」(NHK)、「めざせ! グルメスター」(NHKBS)、「真相報道バンキシャ!」(日本テレビ)などに出演。『地方議会人』(中央文化社)、『議員 NAVI』(第一法規)、「iJAMP」(時事通信社)等に連載中。

**<著作>**

『条例探訪—地域主権の現場を歩く—』(時事通信社)、『政策開発の手法と実践』(東京法令出版)、『政策形成の戦略と展開—自治体シンクタンク序説—』(東京法令出版)、『条例で学ぶ政策づくり入門』(東京法令出版)、『政策条例のポイント—政策立案の手法を学ぶ』(東京法令出版)、『職員研修 臨時増刊 87号—自学するヒト・自学する組織』(公職研)、『協働と市民活動の実務』(ぎょうせい)、『地域力を高めるこれからの協働』(第一法規)、『地域魅力を高める「地域ブランド」戦略—自治体を活性化した16の事例—』(東京法令出版) など多数

**【開催場所】 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り (4講座・同場所)**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル

東京駅八重洲口より 徒歩約10分 ・ 日比谷線八丁堀駅より 徒歩約2分

**【受講料】 1講座 15,000円(税込み)**

\*お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中に FAX またはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

**【お申込み】 当ご案内メールへの返信もしくは、**

下記「FAX 申込書」に必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。

\*キャンセルは、7日前までに FAX またはメールでご連絡ください。

**【お問合せ】 一般社団法人 行政改革推進協会**

〒103-0004 東京都 中央区 東日本橋 2丁目 28-4-2 階

Tel:03-6869-1143 Fax:03-6869-1326 メール: XXXXXXXXXX

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年7月19日

会派・議員名 公明党 吉田 勇

整理番号	75	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・ <u>事務費</u> ・人件費
------	----	------	--

(事業内容) 備品購入  
高透明クリアホルダー

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	クリアホルダー	645円	1/2 按分(1290円÷2)
		(合計)	645円

《領収書貼付時》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



政務調査費対象事業実績報告書

平成28年7月19日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	7-6	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書


上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	赤旗	3497円	6月分
	(合計)	3497円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

7-6

吉田 勉 様			日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円	
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	2016 年 6 月分	
			上記の金額にしかいただきました。 ありがとうございました。	
			930-0982 富山市荒川2丁目24番12 日本共産党富山県委員会 TEL.076-432-8383	
領収日		/		投者 

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年7月19日

会派・議員名 公明党 吉田 英也

整理番号	7-7	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

北日本政経懇話会

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北日本政経懇話会	54000円
	振込手数料	486円	
	《合計》	54486円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

7-7

**北陸銀行 キャッシュカードサービス**  
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	振込番号	処理番号	日付
お振込	0042493	28-07-19	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
紙幣枚数		硬貨枚数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
005000	000004	000401	030101
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
13:57	¥486円	¥54,000円	
おつり	お取引後の残高*		
¥0円	円		

お願い………  
通帳へ記入されるまで大切に保管ください。  
ATM振込の組戻しはご利用できません。  
お振込先・金額が不明な場合は、ご利用控えを保管ください。

手数料のうち振込手数料 ¥486  
000025  
[Redacted]  
キタニホソセイケイコンワカイ 様  
トヤマケンキョウカイキョウイン ヨシタ ヲツ  
ム 様  
電話番号 076-434-3909  
裏面もあわせてご覧ください。

東(20)3942 4 26.11 100x500 CR



# 請求書

平成 28年 7月 15日

富山県議会議員  
吉田 勉 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町 2 番 14 号  
北日本新聞社経営企画部  
TEL076(445)3520  
FAX076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成28年下期会費 (平成28年7月-12月分) 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費 (1カ月9,000円) は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、8月 2日 (火) までに下記の北日本  
政経懇話会口座へお願い致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願います。



整理番号	4-8	使途項目	調査研究費 (研修費) ・ 会議費 ・ 資料作成費 ・ 資料購入費 ・ 広報費 ・ 事務費 ・ 人件費
------	-----	------	---

(事業内容)

第10回 地方から考える 社会保障フォーラム

- ① 7/20(水) {
- ・ 財政再建と地域包括ケア、コンパクトシティ構築
  - ・ 災害と住民保護
  - ・ 地方自治と社会保障

- ② 7/21(木) {
- ・ 医療と介護の連携と地域包括ケアシステム
  - ・ 新たな福祉ビジネスと生活保護制度の改革
  - ① 社会保険旬報 ② 介護保険情報 ③ 年金時代

上記事業に要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		北陸新幹線	25,660円
	受講料	25,000円	7/20 7/21分
	振込手数料	540円	
	宿泊費	7,950円	7/20 一泊
	食事代	6,000円	(7/20) 昼食1,500円 夕食2,000円 (7/21) 昼食1,500円 朝食1,000円
	鉄道・バス代	441円	東京～神田 133円 神田～日暮里 154円 x 2
	(合 計)	65,591円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号	7-8	会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	地方から考える社会保障フォーラム		
日程	平成28年7月20日(水)～平成28年7月21日(木)		
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	(株) 社会保険研究所 〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル 7階		
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	地方から考える「社会保障フォーラム」		
行程・活動内容			
① 7/20(水)			
13:00～14:00 「財政再建と地域包括ケア、IT・IT外注、構想」 小黒一正氏 法政大学経済学部教授			
14:40～15:40 「災害と住民保護」 安中健氏 厚生労働省 健康危機管理、災害対策室長			
16:20～17:20 「地方自治と社会保障」 江利川毅氏 公益財団法人医療科学研究所 代表理事			
② 7/21(木)			
10:00～11:00 「医療と介護の連携と地域包括ケアシステム」 城克文氏 厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課長			
12:30～13:30 「新たな福祉ビジョンと生活保護制度の改革」 山本麻里氏 厚生労働省 社会援護局 総務課長			

※日帰りの政務活動を含む。

7-8

領 収 証

富山県議会公明党様

No. 0756

★ ¥7950

但 宿泊代として

H28年 7月 20日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等 (%)

収 入  
印 紙  
ユクヨウゲ1097

ホテルサニ  
東京都荒川区西日暮里2丁目19番4号  
TEL 03-3807-3200

領 収 証

富山県議会公明党 様

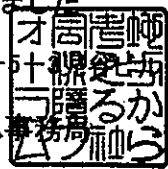
¥25,000円

但

第10回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として  
2016年 7月 20日

上記正に領収いたしました

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-13 社会保障フォーラム事務局



<b>領 収 証</b>		No. 863244 I		
RECEIPT		平成 28年 7月 15日		
ご氏名 <u>信山県議会公明党 様</u>				
<p>(ご注意) 本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">金額</td> <td style="width: 85%;">¥ 25,660-</td> </tr> </table>	金額	¥ 25,660-	<p>① 現金 ② 小切手 ③ 振込 ④ クレジット(カード) ⑤ その他( )</p>
金額	¥ 25,660-			
<p>ただし <u>7/20 取寄 専用印</u></p>				
<p>上記金額正に領収いたしました。</p>				
<p>50,000円以上 収入印紙</p>	<p>株式会社 <b>日本旅行</b> TIS 富山 営業本部 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD. 06810 支店</p>			
		<p>責任者印 [Red Seal] 署名 [Redacted]</p>		

**北陸銀行 キャッシュカードサービス**  
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付				
お振込	0044043	28-07-08					
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号				
			106				
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>無 券 枚 数</td> <td>積 算 枚 数</td> </tr> <tr> <td>万円 五千円 二千円 千円 500円 100円 50円 10円 5円 1円</td> <td></td> </tr> </table>		無 券 枚 数	積 算 枚 数	万円 五千円 二千円 千円 500円 100円 50円 10円 5円 1円		0020010000010000000000	
無 券 枚 数	積 算 枚 数						
万円 五千円 二千円 千円 500円 100円 50円 10円 5円 1円							
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額					
11:17	¥540円	¥25,000円					
おつり		お取引後の残高*					
¥460円							
<p>手数料のうち振込手数料 ¥540 000010</p> <p>三菱東京UFJ銀行 神保町支店 普通 0506395 シヤカイホリヨウフォーラム [Redacted] 様</p> <p>ヨリタベツトム 様</p> <p>電話番号 076-444-9669</p>							

お取引の種類  
 A T M 挿入されるまで大切に保管してください。  
 利用控を保持してください。

北陸銀行 富山営業本部  
 電話 076-444-9669  
 裏面もあわせてご覧ください。



第10回

# 地方から考える 社会保障フォーラム

## セミナー開催のご案内

みなさまのお陰をもちまして、本社会保障フォーラムも第10回を迎えることができました。10回目を迎え、人事院総裁、内閣府事務次官、厚生労働事務次官を歴任されてきました医療科学研究所代表理事、埼玉県立大学理事長の江利川毅氏にご登壇いただき、「地方自治と社会保障」をお話しいたします。今回もみなさまとさまざまな課題について一緒に考えていきたいと思っております。

さて、高齢化や人口減少が進む地域の過疎化など社会的な問題が山積しています。そのような中で地域社会に活力を取り戻す取り組みとして、法政大学経済学部教授、小黒一正氏に「財政再建と地域包括ケア・コンパクトシティ構想」と題し、ご講演いただきます。

また、度重なる災害に対応する住民の健康危機管理対策として「災害と住民保護」をテーマに安中健厚生労働省健康危機管理・災害対策室長にお話しいたします。

そして地方行政において大きな課題のひとつである「医療と介護の連携と地域包括ケアシステム」については、城克文厚生労働省保険局医療介護連携政策課長に、さらに、しばしばマスコミでも取り上げられる生活保護の問題については、「新たな福祉ビジョンと生活保護制度の改革」をテーマに山本麻里厚生労働省社会・援護局総務課長にお話しいたします。

今回のフォーラムも、みなさまの課題解決の道筋となり、お力になれば幸いです。

ご参加をこころよりお待ちしております。



※第9回「地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子

定員

60名

定員になり次第  
締切

日時 平成28年7月20日(水)、21日(木)

参加費 事前お振込み(7月13日(水)まで)の場合：25,000円 / 当日お支払いの場合：30,000円

会場 (株)社会保険研究所 〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル7階(JR神田駅西口下車徒歩5分)

<主催>

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷ビル3F 社保研ティラレー内  
TEL 03-3253-0570 / FAX 03-3527-1028

<協力>

(株)社会保険研究所 / 年友企画(株) / (株)社会保険出版社

## 7/20(水) 1日目

12:00~ 受付開始

12:45~ 開講の挨拶、オリエンテーション

13:00~14:00 **講義1** 「財政再建と地域包括ケア・コンパクトシティ構想」  
小黒一正氏 法政大学 経済学部 教授

14:00~14:30 討議 (30分間)

14:30~14:40 休憩 (10分間)

14:40~15:40 **講義2** 「世界と経済格差」  
小黒一正氏 法政大学 経済学部 教授

15:40~16:10 討議 (30分間)

16:10~16:20 休憩 (10分間)

16:20~17:20 **講義3** 「地方自治と社会政策」  
小黒一正氏 法政大学 経済学部 教授

17:20~17:50 討議 (30分間)

17:50~ 情報交換会

18:50 終了

## 7/21(木) 2日目

9:30~ 受付開始

10:00~11:00 **講義4** 「高齢者介護の課題と地域包括ケアモデルの実践」  
小黒一正氏 法政大学 経済学部 教授

11:00~11:30 討議 (30分間)

11:30~12:30 お昼休み

12:30~13:30 **講義5** 「新たな福祉ビジョンと生活保護制度の改革」  
山本 政重氏 厚生労働省 社会・福祉部 政策課長

13:30~14:00 討議 (30分間)

14:00~14:10 休憩 (10分間)

14:10~15:10 **取材の現場から** 「①社会保険旬報 ②介護保険情報 ③年金時代」

15:10~ 終了の挨拶 次回開催のお知らせ

15:15 終了



1日目  
7/20(水)  
講師一覧

● 小黒 一正氏

東京都出身。1997年大蔵省(現財務省)に入省。大臣官房文書課法令審査官補、関税局監視課総括補佐等を歴任。財務総合政策研究所主任研究官、世界平和研究所主任研究員、一橋大学経済研究所准教授などを経て、2015年4月から現職、法政大学経済学部教授。研究分野は公共経済学。現在は、人口動態と財政・社会保障・世代間格差を中心に研究している。著書多数。

● 安中 健氏

和歌山県出身。1998年厚生省に入省。2010年山形県庁に出向(3年間)。2014年に厚生労働省大臣官房厚生科学課。2015年より現職。

● 江利川 毅氏

埼玉県出身。1970年厚生省(現厚生労働省)に入省。厚生省では、公害問題、年金、医療保険制度の改正、介護保険制度の創設などを担当。内閣府事務次官、厚生労働事務次官、人事院総裁などを歴任。2012年より公益財団法人医療科学研究所理事長、2013年より埼玉医科大学特任教授、2014年より公立大学法人埼玉県立大学理事長。

2日目  
7/21(木)  
講師一覧

● 城 克文氏

1989年厚生省に入省。保険局、医薬局、大臣官房会計課課長補佐、政策企画官、内閣府沖縄振興局総務課事業振興室長等要職を歴任。愛媛県今治市、三重県への出向。2011年内閣府参事官(社会システム担当)、政策統括官(経済社会システム担当)付、2013年厚生労働省医政局経済課長、2015年より現職。

● 山本 麻里氏

山口県出身。1987年厚生省に入省。社会局、年金局、保健医療局、雇用均等・児童家庭局、保険局など。宮城県庁(児童福祉課、健康対策課長)、桑名市役所(副市長)。2008年に厚生労働省社会・援護局援護課長、職業安定局派遣・有期労働対策部外国人雇用対策課長、内閣府食品安全委員会事務局総務課長を経て2015年より現職。

● 谷野 浩太郎 (株) 社会保険研究所常務取締役/『社会保険旬報』編集長

● 青山 淳一 (株) 社会保険研究所部長/『介護保険情報』編集長

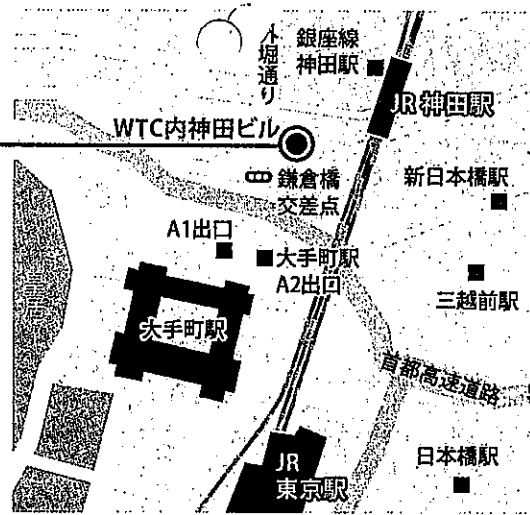
● 阿部 正大 (株) 社会保険研究所執行役員/『年金時代』編集長



# 会場案内図



東京都千代田区内神田 2-4-6 WTC 内神田ビル  
 (株)社会保険研究所 7 階  
 TEL: 03-3252-7901(代) / FAX: 03-3252-7971



### 交通手段

JR 線: 神田駅西口 徒歩 5 分 / 銀座線: 神田駅 徒歩 6 分  
 丸ノ内線: 大手町 A2 出口 徒歩 5 分

### JR 神田駅からの行き方

神田駅西口を出てすぐの「西口商店街」を 200m ほど直進し、「パチンコみとや」がある小さな十字路を左折、150m ほど行った左側の 8 階建てのビルです。

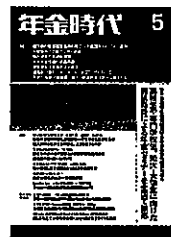
# 後援

医療に関わる  
 全ての情報を  
 提供



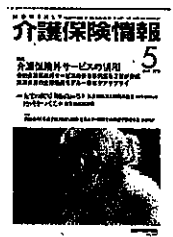
社会保険旬報

年金制度を  
 わかりやすく  
 コンパクトに解説



月刊  
 年金時代

介護保険に関する  
 情報をいち早く  
 総合的に提供



月刊  
 介護保険情報

## 第10回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属学会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話番号
		FAX
		Eメールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆さまへのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 ▶ FAX **03-3527-1028** または

Email **tirare@abelia.ocn.ne.jp** でお申し込みください。

- お申し込みいただいた方には、後日、事務局から受付完了メールをお送りいたします(メールアドレスのご記入がない場合 FAXにて)。
- 事務局からメールが届きましたら、右記の口座へ参加費をお振り込みください。

【振込先】三菱東京UFJ銀行 神保町支店  
 【口座番号】(普) 0506395

お問い合わせ先 ▶ TEL **03-3253-0570** ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

社保研ティラーレのホームページからお申し込みいただけます。 <http://tirare.jp/>

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年7月22日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	7-9	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

県政報告書(6月議会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	宅配便運賃料金	13,580円	ヤマト運輸(特)
	折り込み料金	4,257円	
		《合計》	17,837円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



# ご請求書

〒 930-0116  
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。  
平成28年 7月のご請求書をお届けさせていただきました。



## ヤマト運輸株式会社

富山主管支店  
担当店：富山呉羽センター  
〒939-0285  
射水市  
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：  
0766-55-1934  
集荷・配送についてのお問合せ：  
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス  
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>





整理番号	8-1	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北国新聞	3,072円	7月分
	富山新聞	3,072円	〃
	赤旗	3,497円	〃
		《合計》	9,641円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

8-1

2016年7月分 領収証 発証No 00004567-201607-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 ¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

北日本新聞

領収印

領収証

16年 07月分 28年7月14日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140




9/4 『おやべ4時間リレーラン』  
10/16 『富山あいの風リマソン』参加チーム募集



領収書貼付台紙

（意ならないように貼付すること。）

8-1

吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書	
新聞雑誌名	部数	金額	3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	2016 年 7 月分
			上記の金額をじかにいたしごまじり ありがとうございました。
			930-0932 富山県富山2丁目2番12 日本共産党富山県委員会 TEL076-482-8388
領収日		7/28	扱者 

整理番号	8-2	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------------------

(事業内容)

※ 行政改革推進協会主催 「地方分権時代における議会改革」  
 8/17(水) 14:00~16:30 議会基本条例の現状と課題  
 8/18(木) 10:00~12:30 正しい議会改革とは

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北陸新幹線	25860円	高山駅~東京駅
受講料	32000円	8/17, 8/18分	
振込手数料	756円		
宿泊費	7950円	8/17-泊	
食事代	6000円	8/17 昼1500円 夕食2000円 8/18 朝食1000円 昼1500円	
鉄道・バス代	308円	東京駅~日暮里駅 154円×2	
	(合計)	70874円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号	8-2	会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	地方分権時代における議会改革 in 東京		
日程	平成28年8月17日(木)～平成28年8月18日(木)		
場所 <small>(国名・都市名、施設名、訪問先等)</small>	アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り 東京都中央区八丁堀1-9-8 八重洲通り18ビル		
相手方等 <small>(主催者、対応者、参加者、同行者等)</small>	一般社団法人 行政改革推進協会		
<p>行程・活動内容</p> <p>① 8/17(木) 14:00～16:30 議会基本条例の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会基本条例の論点整理</li> <li>・議会基本条例案の評価の視点</li> <li>・こゝからの議会基本条例等</li> </ul> <p>② 8/18(木) 10:00～12:30 正しい議会改革とは～何のための議会改革か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の役割の再確認</li> <li>・議員定数の考え方</li> <li>・新しい議会に向けた具体的取組み等</li> </ul>			

※日帰りの政務活動を含む。

# 領 収 証

富山県議会 公明党 様

28年8月17日

¥301000

但 8/17日「地方分権時代に即する議会改革」

2講座 研修会受講代として

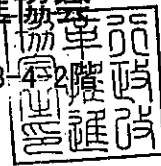
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進協会

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2丁目28-4

TEL 03 (6869) 1143



# 領 収 証

富山県議会公明党 様

No. 0875

★ ¥79,500

但 宿泊代として

H. 28年 8月 17日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入

印 紙

コクヨ ウケ-1097

## ホテルサニー

東京都荒川区西日暮里2丁目19番4号

TEL 03-3807-3200



領 収 証

No. 863345 I

RECEIPT

平成 28 年 8 月 2 日

ご氏名 劇団誠会 公研党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ￥25,860-

ただし 8/17 TR券 高山-東京 往復

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(カード)
- (¥ )
- 5. その他( )

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 営業本部 10 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

担当者名

北陸銀行 キャッシュカードサービス ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0043373	28-08-01	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取込店番号
			106
紙幣枚数		硬貨枚数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
0030000000000000	0000000000000000	0102010000	0101
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
11:35	¥756円	¥30,000円	
おつり	お取引後の残高		
¥0円	円		

お願い... 通帳記入されるまで大切に保管ください。  
ATM振込の組戻しはご利用控を1枚添付ください。

手数料のうち振込手数料 ¥756  
000012

楽天銀行  
第二営業支店  
普通 7225500  
ソヤ)キョウセイカイカクスイソソキョウカ  
イ 様  
ヨリタバツム 様

電話番号 076-434-3909

裏面もあわせてご覧ください。



## 「地方分権時代における議会改革 in 東京」ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、一般社団法人行政改革推進協会は、地方議会議員の資質向上を通じ、地方議会の機能を改革、円滑化することにより、住民福祉の増進を目的としています。党籍、会派問わずご参加いただける講座を全国で開催中です。

下記の講座を開講致しますので、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。 敬具

【日時】 8月17日(水) 10:00-12:30

議員が提案する政策条例のポイント～政策条例を実現する視点の提供

- ・相次ぐ議員提案政策条例
- ・ユニーク条例の紹介
- ・条例づくりの基本的流れ 等

【日時】 ~~8月17日(水) 14:00-16:30~~

~~議会基本条例の現状と課題~~ ~~議会基本条例の意義を考える~~

- ・議会基本条例の論点整理
- ・議会基本条例案の評価の視点
- ・これからの議会基本条例 等

【日時】 ~~8月18日(木) 10:00-12:30~~

~~正しい議会改革とは~~ ~~何のための議会改革か~~

- ・議会の役割の再確認
- ・議員定数の考え方
- ・新しい議会に向けた具体的取組み 等

【日時】 8月18日(木) 14:00-16:30

人口減少時代の地方議会～人口減少に対応する視点

- ・人口減少の再認識
- ・地方創生の意味を考える
- ・人口減少に関する議会質問の要点 等

※最新事例を提供する都合上、多少の内容変更はあります。

**【講師】 牧瀬 稔 (まきせ みのる)**

(一般財団法人地域開発研究所 上席主任研究員、法政大学大学院公共政策研究科 兼任講師)

法政大学大学院人間社会研究科 博士課程修了。博士(人間福祉)。民間企業、横須賀市都市政策研究所、(財)日本都市センター研究室を経て、現職。そのほか、法政大学現代福祉学部 兼任講師、産業能率大学総合研究所 兼任講師など。

2015年度は、新宿区新宿自治創造研究所政策形成アドバイザー、戸田市政策研究所政策形成アドバイザー、かすかべ未来研究所政策形成アドバイザー、鎌倉市政策創造専門委員、東大和市まち・ひと・しごと創生会議座長、西海市総合戦略策定有識者会議座長、横須賀市土地利用調整審議会委員(委員長職務代理者)、公益財団法人熱海市振興公社評議員、NPO 法人地域政策イノベーションフォーラム 常任理事など多数。2013年8月には、シティプロモーション自治体等連絡協議会を立ち上げた。「ナビゲーション」(NHK)、「めざせ! グルメスター」(NHKBS)、「真相報道バンキシャ!」(日本テレビ)などに出演。『地方議会人』(中央文化社)、『議員 NAVI』(第一法規)、「iJAMP」(時事通信社)等に連載中。

**<著作>**

『条例探訪—地域主権の現場を歩く—』(時事通信社)、『政策開発の手法と実践』(東京法令出版)、『政策形成の戦略と展開—自治体シンクタンク序説—』(東京法令出版)、『条例で学ぶ政策づくり入門』(東京法令出版)、『政策条例のポイント—政策立案の手法を学ぶ』(東京法令出版)、『職員研修 臨時増刊 87号—自学するヒト・自学する組織』(公職研)、『協働と市民活動の実務』(ぎょうせい)、『地域力を高めるこれからの協働』(第一法規)、『地域魅力を高める「地域ブランド」戦略—自治体を活性化した16の事例—』(東京法令出版) など多数

**【開催場所】 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル

東京駅八重洲口より 徒歩約10分 ・ 日比谷線八丁堀駅より 徒歩約2分

**【受講料】 1講座 15,000円(税込み)**

\*お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中に FAX またはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

**【お申込み】 当ご案内メールへの返信もしくは、**

次ページ「FAX 申込書」に必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。

\*キャンセルは、7日前までに FAX またはメールでご連絡ください。

**【お問合せ】 一般社団法人 行政改革推進協会**

〒103-0004 東京都 中央区 東日本橋 2丁目 28-4-2 階

Tel:03-6869-1143 Fax:03-6869-1326 メール: XXXXXXXXXX



送信先: FAX 03-6869-1326

〈地方分権時代における議会改革 in 東京〉 FAX 申込書

【受講内容】 参加される講座にチェックボックスへチェックください。(1 講座 15,000 円)

	10:00~12:30	14:00~16:30
8月17日(水)	<input type="checkbox"/> 議員が提案する 政策条例のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> 議会基本条例の 現状と課題
8月18日(木)	<input checked="" type="checkbox"/> 正しい議会改革とは	<input type="checkbox"/> 人口減少時代の地方議会

【お申込者】 下欄にご記入ください。

お名前	フリガナ 吉田 勉
貴議会名	富山県議会
ご住所	〒 930-0116 富山市 追分茶屋 49-3
Tel / Fax	Tel: 076-434-3909      Fax: 076-482-2078
E-mail	@

平成28年8月1日

富山県議会  
吉田 勉 様

一般社団法人 行政改革推進協会  
セミナー事務局  
電話 03-6869-1143  
FAX 03-6869-1326

## 入金確認書

このたびは、行政改革推進協会 主催セミナー にお申込みいただきありがとうございます。

セミナー受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

※ご入金後のキャンセルは開催7日前までをお願い致します。  
以後のキャンセルは、資料と領収証を郵送させていただき、  
ご返金対応は致しかねますので、ご了承くださいませ。

### 記

- ・受講日 平成28年8月17日14:00~16:30、8月18日10:00~12:30
- ・受講料 30,000円
- ・お振込み日 平成28年8月1日
- ・お振込み名義人 吉田 勉 様

平成28年8月1日

富山県議会

吉田 勉 様

一般社団法人 行政改革推進協会

セミナー事務局

電話 03-6869-1143

FAX 03-6869-1326

## 入金確認書

このたびは、行政改革推進協会 主催セミナー にお申込みいただきありがとうございます。

セミナー受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

※ご入金後のキャンセルは開催7日前までをお願い致します。  
以後のキャンセルは、資料と領収証を郵送させていただき、  
ご返金対応は致しかねますので、ご了承くださいませ。

### 記

- ・受講日 平成28年8月17日14:00~16:30、8月18日10:00~12:30
- ・受講料 30,000円
- ・お振込み日 平成28年8月1日
- ・お振込み名義人 吉田 勉 様

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年9月14日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	9-1	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	富山県市町村新聞社	6000円	4月～9月分
	UJ22 赤穂	3497円	8月分
	女日本新聞	3072円	8月分
	富山新聞	3072円	8月分
	〈合計〉	15641円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

<b>領 収 書</b>		
富山県議会議員 吉田 勉 様		
¥6,000		
期間：平成28年4月-平成28年9月分 (購読料)		
上記の金額を領収致しました		
年	月	日
(株)富山県市町村新聞社 代表取締役 廣瀬 隆吉 〒930-0094 富山県新津町7番4号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番		

吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領 収 書
新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
		3,497 円
		2016 年 8 月分
上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございます。		
930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL 076-432-8383		
領収日	8/25	扱者

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

9-1

2016年8月分 領収証 発証No 00004567-201608-1

**吉田 勉 様**

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 **¥3,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利ですが、クレジット決済もできます。

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

毎度ご購読有難うございます  
上記金額正に領収致しました。

年 月 日 領収

**北日本新聞**

領収印

領収証 16年 08月分 28年8月27日 No 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

**富山新聞販売 (株)**  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



10/16 『富山あいの風リレーマラソン』参加チーム募集  
10/23 『高岡園遊会201』チケット好評発売中

口座振替案内書

公明党富山県議員会

平成28年度政務活動費交付金(10、11、12月分)については、  
下記のとおり指定の預金口座に振り込みとなりますので、ご案内します。

富山県議会事務局総務課

支払日 平成28年10月3日(月)

振込先 北陸銀行県庁内支店 普通預金 4195970

振込金額 ¥900,000円

内 訳

10月分 300千円×1人分=300,000円

11月分 300千円×1人分=300,000円

12月分 300千円×1人分=300,000円

整理番号	70-1	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費  
H28年 9月定例会

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		県政報告製作費	160,000円
	企画・編集料	60,000円	-式
	封筒製作費	40,000円	4,000枚作成
	消費税	20,800円	8%
	(合 計)	280,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



10-1

# 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

公明党 富山県議会様

28年10月5日

¥280800-

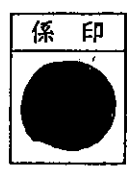
内 訳	
現金	_____
小切手	_____
手形	_____
その他	_____

但し学政報告、均等一円  
上記の金額正に領収いたしました

## 三ナト印刷社

代表 山田 幸 一郎

〒931-8334 富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)  
TEL & FAX (076) 437-5777



領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

# 請求書

No. \_\_\_\_\_

28年10月 日

公明党 富山県会 様

**三才印刷社**

代表 山 幸 郎  
〒931-8334 富山県 富山市 原崎2丁目1-1  
TEL & FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額  $\yen 280,800$

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	4,000部		160,000	
2	伝函・頒布料			60,000	
3	封筒	4,000部		40,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				260,000	
消費税				20,800	
合計				280,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

# 県政報告

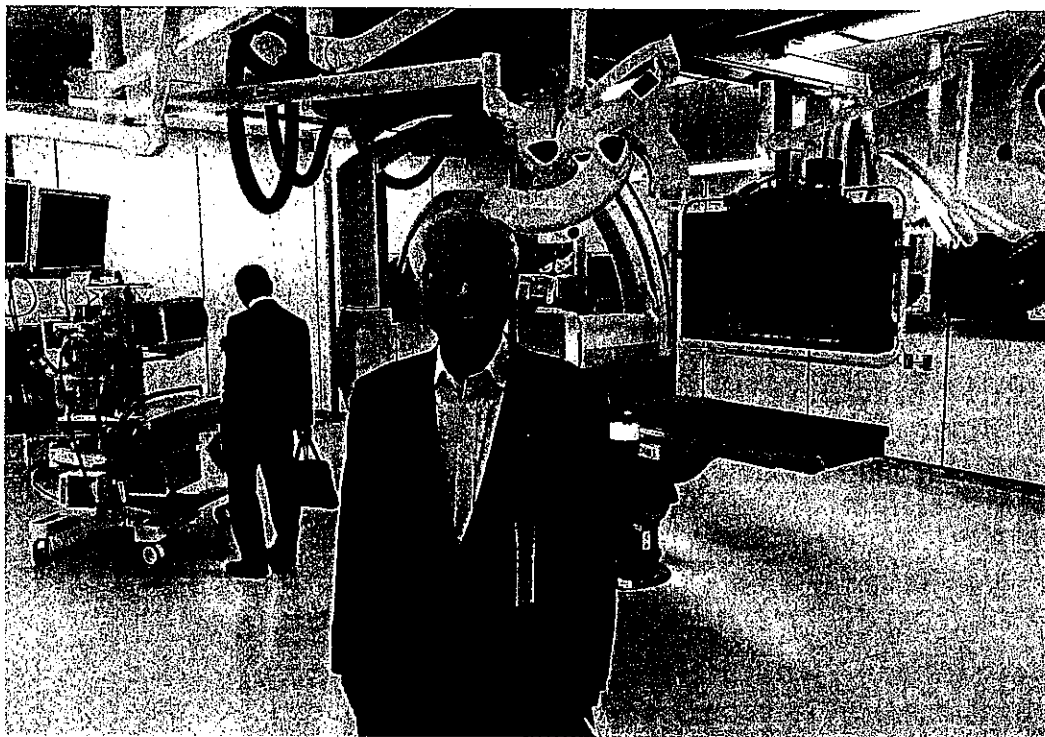


◆公明党富山県議員会 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党(平成28年10月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 TEL (076) 444-3373

## 県立中央病院先端医療棟が完成! 最高水準のがん治療提供!



◆県立中央病院に最新鋭の医療機器など備える「先端医療棟」が完成した。

◆国内最高水準のがん医療を提供するほか、大規模災害など緊急時の医療体制を強化するのが目的。

◆北陸初の特定集中治療室(スーパーICU)や、患者の身体的な負担を減らす低侵襲手術センターなどで構成し、順次稼働させる。鉄骨4階建てで、延べ床面積7500平方メートル。建設に約43億円、機器整備に約34億円をかけた。

☞ロボット手術室見学

◆平成28年9月富山県議会・「吉田つとむ」の予算特別委員会の質問より

### 問1 食品ロスについて

(1) 本県においては、5月に庁内のプロジェクトチームを設置し、食品ロス・食品廃棄物の削減に向けた方策の検討を始めたが、本県のスーパーや食料品店、外食産業など事業者における食品ロス・食品廃棄物の削減に向けた今後のスケジュールと進め方について、問う。

【伍嶋農林水産部長 答弁】

1 食品ロス・食品廃棄物の削減対策については、庁内にプロジェクトチームを設置し、検討を進めてきており、今後の推進方策等の検討にあたっては、①県内における、削減に向けた取組み事例等の実態を具体的に把握するとともに、②食品関連事業者や消費者、市町村など幅広い関係者の十分な理解と協力を得て進めていく必要があると考えている。

2 このため、県内の事業者の取組み事例の実態を把握するため、食品関連事業者を対象として、製造、流通の各段階における食品ロス・食品廃棄物等の発生量やリサイクル量等の調査を、本年10月から実施し、来年の1月頃までにとりまとめることとしている。

また、今月末までに、有識者、事業者や消費者の関係団体、市町村等で構成する「食品ロス・食品廃棄物削減対策検討会」を設置し、事業者等の実態調査の結果等も踏まえながら、本県のスーパーや食料品店、外食産業、食品製造業等の関連事業者の方々の理解のもと、どのような取組みの協力を要請できるかということも含め、食品ロス等の削減に向けた具体的な方策や、実施にあたっての課題等について十分に検討していただくこととしており、本年度中のできるだけ早い時期にとりまとめを行いたいと考えている。

## 問1 食品ロスについて

(2) 食品ロスの削減に向けては、賞味期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」などの活動と連携することも有効だと考えるが、現状と今後の見通しについて、問う。

【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 フードバンク活動については、企業や農家、個人などから、まだ安全に食べられるのに捨てられてしまう食品を無料で提供してもらい、生活困窮者や福祉施設などに無料で届けるものであり、食品ロス問題を解決するとともに、生活困窮者を支援する有効な手段であると考えている。
- 2 県内でのフードバンクの取組みについては、平成21年から、ボランティアグループが活動を行っており、平成27年は3.1トン余りの食品を取り扱い、県内の福祉施設や団体等を支援していると聞いている。
- 3 また、県内の社会福祉協議会では、生活困窮者支援の一環として、保存が良く食べ物に加え、使わなくなった家電や雑貨などを集めて提供する「遊休品バンク」活動が行われており、フードバンクと連携しながら実施していると聞いている。
- 4 平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行され、県と市においては相談窓口を設置し、生活困窮者への包括的な支援を行っているが、食料支援も大切なことから、県では、行政とフードバンクとの連携について、社会福祉協議会の活動なども参考に、市町村とフードバンクとの連携が進むよう働きかけてまいりたい。

## 問1 食品ロスについて

(3) 去る5月のG7富山環境大臣会合において採択された「富山物質循環フレームワーク」の理念を踏まえ、食品ロス・食品廃棄物の削減対策を含めた本県における今後の循環型社会の形成に向けた取組み方針について、問う。

【石井知事 答弁】

- 1 G7富山環境大臣会合で採択され、G7伊勢志摩首脳宣言にも盛り込まれた「富山物質循環フレームワーク」は、資源や廃棄物の有効利用についてG7が協力して取り組む国際的枠組みである。
- 2 「富山」の名前が冠された理由としては、当時の丸川大臣の記者会見でのコメントによると本県がマイバッグ持参率(H27)は95%で3年連続で全国トップ、全国初となる県単位でのレジ袋の無料配布廃止やトレイ、ペットボトルなどの店頭回収・リサイクルを推進する「とやまエコ・ストア制度」、法制定のモデルとなった小型家電のリサイクルなどの取組みを、県民の皆さんの協力を得て進めてきたことなどが評価されたと伺っており、開催県の知事として光栄に感じている。
- 3 本県としては、「富山物質循環フレームワーク」の理念を踏まえこれらの取組みを引き続き進めるとともに、「食品ロス・食品廃棄物」の削減については、まずは庁内にプロジェクトチームを設置し、削減に向けた取組み等の検討や、関係団体等へのヒアリングを行ってきている。  
今後、県内の実態把握のための調査や「とやま健康サポートレンピ」を作成するとともに、今月末までに、「食品ロス・食品廃棄物削減対策検討会」を設置し、生産・製造、流通、消費の各段階における食品ロス等の削減に向けた具体的な取組みや、実施にあたっての課題等について検討していただき、実効性のある効果的な削減対策を打ち出し、県民総参加の運動につなげていきたいと考えている。
- 4 さらに、今年度新たに産学官によるプロジェクトチームを設置し、これまで埋立処分されていた産業廃棄物などのリサイクルに向けて具体的な検討を行うほか、海外展開を検討している事業者を対象として、リサイクルビジネスの最新動向や海外展開する上でのリスクマネジメント等の講座を開催するなど、県内の資源や廃棄物の有効利用の拡大や事業者の経営の高度化等の支援を推進することとしている。
- 5 県としては、G7環境大臣会合の開催地として、また、「物質循環フレームワーク」に名が冠された自治体として、循環型社会の形成に向けたモデルと言われるような、こうした取組みを推進してまいりたい。

## 問2 障害者差別解消法及び県条例について

(1) 本年4月から施行されている障害者差別解消法や県条例に対する県及び県内市町村の取組み状況はどうなっているのか、問う。

【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 障害を理由とする差別の解消については、法や県条例に、行政機関等が行うべき事項が規定されており、

これらに基づき、県や各市町村で取組みを進めているところである。

- 2 このうち、県では、これまで（ウェブサイトやチラシによる法や条例の周知啓発をはじめ）①広域専門相談員や地域相談員による相談体制を整備しており、県庁内に設置した相談窓口では、8月末現在で延べ69件の相談対応を行っているほか、②紛争解決や差別解消の取組みを行うため、「障害のある人の相談に関する調整委員会」を設置している。また、③差別の判断基準となるガイドラインを策定し、④地域相談員に対する研修や、各種団体や事業者など様々な研修会への講師派遣を行っている。さらに、⑤職員対応要領を策定し、新規採用職員や新任係長・所属長代理に対する職員研修も実施している。
- 3 一方、各市町村では、①法や条例の趣旨の周知啓発、②地域相談員の設置への協力、③障害者相談員や民生委員等に対する研修等に取り組んでいただいている。また、④職員対応要領については、2市が策定済、9市町村が策定予定であり、⑤地域協議会については、2市が設置済、4市町村が設置予定であると聞いている。
- 4 県としては、引き続き市町村に対し情報提供や必要な支援を行うなど連携しながら、障害を理由とする差別の解消にしっかりと取り組んでまいりたい。

## 問2 障害者差別解消法及び県条例について

- (2) 法や条例では、障害を持つ人々に対して必要な環境整備などの配慮を行う「合理的配慮」が定められているが、障害特性や配慮が求められる状況によっても異なり、また、配慮する側に費用負担の発生も想定されるが、どのように調整するのか、所見を問う。

### 【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 合理的配慮とは、障害者が生活を送る上で支障となる段差等の物理的な問題や習慣・ルール等を取り除くために必要な配慮であり、①障害者からの意思表示と②実施の負担が過重でないことの2つ条件の下に行われるものである。
- 2 このうち、負担が過重か否かについては、(委員ご指摘の)費用負担だけではなく、①事業等への影響、②実現の可能性、③事業規模、④財務状況等が判断要素となるが、障害特性や具体的な場面・状況に応じて個別に判断する必要がある、一律の判断基準を示すことは困難であるため、折り合いがつかないことも想定される。
- 3 このような場合には、代替となる配慮を提案したり、当事者間で相互の状況を理解し柔軟に対応してもらえるよう相談員が調整を行うが、なお折り合いがつかず、障害者等からの知事へ申立てがあった場合は、紛争解決のために設置した「障害のある人の相談に関する調整委員会」において、助言やあっせんを行うこととしている。
- 4 なお、合理的な配慮は際限なく求められるものではなく、①必要な範囲で本来の業務等に付随するものであり、②事業等の目的や内容等を本質的に変更せず、また、③障害のない人と同等の機会提供を受けるためのものに限られる。このような合理的配慮の限度について、配慮される側と配慮する側に理解してもらうことが大切であると考えている。

県では、具体的事例を盛り込んだガイドラインを策定しており、引き続きその内容の周知に努めてまいりたい。

## 問2 障害者差別解消法及び県条例について

- (3) 相模原市緑区の障害者施設の殺傷事件を踏まえ、現行の措置入院制度や退院後の支援体制と今後の課題をどう認識しているのか、問う。厚生労働省では、どういう経緯を辿って事件発生に至ったのか等、事実関係を精査しているとのことである。

### 【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 措置入院制度は、精神障害のために、自身を傷つけ又は他人に害を及ぼすおそれがあると認められる者を対象に、知事の権限で精神科病院に入院させる制度である。本人や家族の同意なしに入院をさせることから、運用にあたっては、精神障害者の人権に配慮しつつ、適正な医療及び保護を確保することが大変重要である。
- 2 措置入院患者が、自傷他害の恐れがないと認められるに至ったときは、直ちに退院させなければならないとされているが、本県では、措置入院をしていた病院が、治療方針に基づき、入院形態の変更や通院による治療を継続することとしており、治療を継続する中で、行政機関によるフォローが必要であると病院から連絡があった場合には、保健師による訪問指導等、必要な支援を行っている。

- 3 今回の事件を受け、国は、精神保健福祉法の措置入院に関する手続きや退院後のフォローアップ等について検討されているが、先日、公表された中間取りまとめでは、「今回の事件においては、退院時における病院や相模原市の対応は不十分であった」と指摘されており、それを受けて、本県では、退院する際に、必ず病院へ病状や現在の様子などを十分確認することとしたところである。
- 今後、国においては、再発防止策がとりまとめられることとなるが、国の動きを注視しつつ、退院後においても、適正な医療及び保護が確保できるよう努めてまいりたい。

## 問2 障害者差別解消法及び県条例について

- (4) 本県における障害者施設や高齢者の介護福祉施設の防犯対策はどうなっているのか、問う。

「地域に開かれた施設」という理想と防犯体制の強化との兼ね合いは難しいが、警備のあり方や警察との連携について検討し、防犯対策に万全を期さなければならない。

### 【蔵堀厚生部長 答弁】

- 1 事件発生を受けて、県では、障害者や高齢者の施設の防犯対策の現状把握を行うため、障害者施設等計 31 施設、介護老人福祉施設等計 108 施設を対象に、先般、緊急アンケート調査を実施したところである。
- 2 その調査結果を見ると、障害者施設・高齢者施設ともに、適切な施設管理や連絡通報体制の整備、避難訓練はほとんどの施設で行われているが、夜間も職員がいて施設を巡回しているため、防犯設備や非常通報装置の設置は、4～5割の施設に留まっている。各施設とも、施設内では一定の防犯対策が行われているものの、地元自治会との連絡体制整備や情報交換など、地域との連携については 1～2割の施設で取り組まれている状況であった。
- 3 このため、県では、先月 30 日に、県警と協力して施設関係者向け防犯講習会を開催し、地域や警察等と連携した防犯強化を働きかけてきている。また、先日、事件の検証を踏まえた防犯点検項目について国から通知があり、各施設に取組みを進めるよう周知したところである。
- 4 現在、国においては、ソフト・ハード両面からの防犯対策や警察等の関係機関との情報共有のあり方等が検討されており、今後、再発防止策のとりまとめが行われると聞いている。県としては、国の検討結果等も踏まえ、各施設が地域に開かれ、かつ、防犯対策が強化されるよう積極的に取り組んでまいりたい。

## 問2 障害者差別解消法及び県条例について

- (5) 障害のある人もない人も尊重し合う「共生社会」の実現に向け、どのように取り組んでいくのか、問う。今回の事件によって、障害者への差別や偏見が広がることは、絶対にあってはならない。障害の有無に関わらず、誰もが互いに人格や個性を尊重し合う「共生社会」を目指すべき。

### 【石井知事答弁】

- 1 共生社会を実現するためには、障害者差別をなくすことが大切であるが、今回の事件は、差別意識に基づいて重度知的障害者を狙った大変痛ましいものであり、到底許されるものではない。
- 2 県では、①障害者施設など延べ約 550 事業所に対し、安全管理対策の徹底について通知し注意喚起したほか、②入所施設の防犯体制に関する緊急アンケート調査を実施するとともに、③不安を感じている障害者や家族等のための相談窓口も開設している。さらに、④先月 30 日に、県警と協力して施設関係者向け防犯講習会を開催し、地域や警察等との連携による防犯強化を働きかけたところである。なお、今回の痛ましい事件に鑑み、国は第二次補正予算で障害者施設の防犯設備等の補助を計上されたことから、県としては、これを積極的に活用して、各施設の防犯対策の強化が図られるよう取り組んでまいりたい。
- 3 また、県としては、県条例が本年 4 月に施行されたことに対応し、障害を理由とする差別の解消に積極的に取り組んでいる。

今回の事件が障害者の人権や尊厳を否定するような考え方で行われていることから、不安を感じておられる障害のある方やご家族等のために、県庁内に相談窓口を開設している。さらに、その不安の払拭に向け、様々な障害者団体と県民が一体となって、障害者の人権や尊厳に関するメッセージや大会宣言を発信する「障害者の人権や尊厳に関する県民大会」を（私も出席して）開催したいと考えている。県としては、「全ての県民は、障害の有無にかかわらず、個人としての尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される」という県条例の基本理念に則り、引き続き、市町村や関係団体と連携し、障害の有無によって分け隔てられることのない共生社会の実現に向け、取り組んでまいりたい。

領収書貼付



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

**吉田つとむ**



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3  
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078  
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年10月7日

会派・議員名 公明党 吉田 勇

整理番号	10-2	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3,072円	9月分
	富山新聞	3,072円	9月分
	赤旗	3,497円	9月分
	(合計)	9,641円	


《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

10-2

吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	2016 年 9 月分
			上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。
			930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL 076-432-8883
領収日		9/23	扱者 

2016年9月分 領収証 発証No 00004567-201609-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)


※お客様の個人情報、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・基金、販売所からの各種ご連絡、新聞・山紙待等のご案内などに利用させていただきます。


新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

年度ご購読有難うございます  
上記金額正に領収致しました

年 月 日領収

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

北日本新聞 

領収印 

領収証 16年 09月分 2016年9月23日 No 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額	合計金額
	3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当 

10/23『高岡園遊会2016』チケット好評発売中  
指定席5千円・自由席3500円(当日500円増)

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年10月7日

党派・議員名 公明党 吉田 勇也

整理番号	10-3	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・ <u>事務費</u> ・人件費
------	------	------	--

(事業内容)

1-1 貝購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		1-1	615円
	(合計)	615円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

10-3

本と文具の

山口書店

畠山市呉羽町6571  
TEL076-436-5576

2016年 8月 2日(火) 20:16 No:0001

0111ノート・紙製品  
単380× 3個 外 ¥1,140

小 計 ¥1,140

外税対象額 ¥1,140


消費税等外税 ¥91

合 計 ¥1,231

(内消費税等 ¥91)

お預り ¥1,250

お釣り ¥19

責No:00000005: 

取引No4806 3点買

政務調査費対象事業実績報告書

平成28年10月11日

会派・議員名 公明党 吉田 貞也

整理番号	10-4	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		日本教育新聞	162,000円
	〈合計〉	162,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

No. 050540

# 領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,200-

但し購読料 28/10月~29/3月として

平成 28年 10月 11日 (郵便振替)

上記の金額正に領収致しました



印 収  
紙 入

株式会社 日本新聞社

東京都港区虎ノ門 8  
〒105-8436 電話 03-3581-828



扱  
者  
印



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

請求書

2016年 10月 5日

富山県議会 公明党

吉田 勉

様



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長

東京都港区虎ノ門 8

電話 03 (0) 5577-1111

〈お支払い先〉

・振替払込 00150-8-196500

・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店

普通預金 2835213

株式会社日本教育新聞社

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

合計請求額	16,200 円	読者コード	[REDACTED]	請求書番号	0003894188
-------	----------	-------	------------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品名	部数	期間	金額	備考
前回請求額				16,200 円	2016/04-2016/09
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2016/10-2017/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2016/10-2017/03

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。

口座記号	00150	8	196500
加入者名	日本教育新聞社		
金額	千	百	十
	1	6	200
振込先	銀行		
おなまえ	[REDACTED]		
ご依頼人	富山県議会 公明党 吉田 勉		
料金	0	円	日附印
備考			

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)

整理番号	10-5	使途項目	調査研究費 <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---

(事業内容)

※ 行政改革推進協会 主催セミナー

「地域包括ケア 特別講座 in 金沢」

10/21(金) 14:00~16:30 地域福祉政策の立案に向けて

10/22(土) 10:00~12:30 地域福祉政策の実践に向けて

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		自家用車で往復	8880円
	北陸自動車料金	4760円	(10/21) 1400円 x 2 (10/22) 980円 x 2 (高崎~金沢東線)
	駐車料金	1800円	900円 x 2
	受講料	30000円	30000円 (10/21, 10/22)
	振込手数料	956円	
	食費代	1500円	10/22 昼食 1500円
	合計	47696円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号	10-5	会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	地域包括庁 特別講座 in 金沢		
日程	平成28年10月21日(金)～平成28年10月22日(土)		
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	TKP金沢ビジネスセンター 石川県金沢市上堤町1-33 アパホテル		
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	一般社団法人 行政改革推進協会		
行程・活動内容			
10/21(金) 14:00～16:30 地域福祉政策の立案に向けた			
10/22(土) 10:00～12:30 地域福祉政策の実践に向けた			

※日帰りの政務活動を含む。



10-5

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 金沢東第一

お問い合わせは、中日本お客さまセンター  
フリーコール 0120-922-229  
上記番号をご使用になれないお客さまは  
TEL 052-223-0333 (有料)

16年10月21日13時13分

車種 普通

通行料金 ¥1,400-  
(外湯)

-入口料金所- 富山西  
ETC 有効期限18年 1月  
会員番号 (支払 - 1回払い)

\*\*\*\*\*87311004

※利用証明書(ETCご利用時)記載の金額  
は、ご請求時に修正される場合があります。

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号201-02081140-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 富山西

お問い合わせは、中日本お客さまセンター  
フリーコール 0120-922-229  
上記番号をご使用になれないお客さまは  
TEL 052-223-0333 (有料)

16年10月21日17時36分

車種 普通

通行料金 ¥1,400-  
(外湯)

-入口料金所- 金沢東第一  
ETC 有効期限18年 1月  
会員番号 (支払 - 1回払い)

\*\*\*\*\*87311004

※利用証明書(ETCご利用時)記載の金額  
は、ご請求時に修正される場合があります。

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号203-00811645-00



リパーク金沢高岡町

ご利用ありがとうございました。  
またのご利用をお待ちしております。  
<http://www.repark.jp>

領収書

精算機 #01	A 精算No.000081
車室番号 (自動車)	6
入庫時刻	2016年10月21日(金) 13:34
精算時刻	2016年10月21日(金) 16:30
駐車料金	A料金 900円
=====	
合計	900円
現金入金額	1,000円
釣銭	100円
現金領収金額	900円

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 金沢東第一

お問い合わせは、中日本お客さまセンター  
フリーコール 0120-922-229  
上記番号をご使用になれないお客さまは  
TEL 052-223-0333 (有料)

16年10月22日 9時07分

車種 普通

割引前料金 ¥1,400-

割引△ ¥420-

ご利用額 ¥980-

(外払)

—入口料金所— 富山西

ETC 有効期限18年 1月

会員番号 (支払 - 1回払い)

\*\*\*\*\*87311004

※利用証明書 (ETCご利用時) 記載の金額

は、ご請求時に修正される場合があります。

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号201-00890812-19

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 富山西

お問い合わせは、中日本お客さまセンター  
フリーコール 0120-922-229  
上記番号をご使用になれないお客さまは  
TEL 052-223-0333 (有料)

16年10月22日 16時31分

車種 普通

割引前料金 ¥1,400-

割引△ ¥420-

ご利用額 ¥980-

(外払)

—入口料金所— 金沢東第一

ETC 有効期限18年 1月

会員番号 (支払 - 1回払い)

\*\*\*\*\*87311004

※利用証明書 (ETCご利用時) 記載の金額

は、ご請求時に修正される場合があります。

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号203-00391541-19



リパーク金沢高岡

ご利用ありがとうございました。  
またのご利用をお待ちしております。  
<http://www.repark.jp>

領収書

精算機 #01 A 精算No.000094  
車室番号 (自動車) 2  
入庫時刻 2016年10月22日(土) 09:33  
精算時刻 2016年10月22日(土) 12:30  
駐車料金 A料金 900円  
=====

合計	900円
現金入金額	1,000円
釣銭	100円
現金領収金額	900円

10-5

**北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控**

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	積立番号	処理番号	日付
お振込	001	1698	28-10-07
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
無暗札数		有暗札数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
003000	00000000	001020	1000101
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
11:23	¥756円	¥30,000円	
おつり	お振込後の残高*		
¥0円	円		
手数料のうち振込手数料 ¥756 000010			
楽天銀行 第二営業支店 普通 722500 シヤ)キヨウセイカイカクスイシンキョウカ イ様 トヤマケンキカイキインヨリタツトム様 電話番号 0764449669			

お願い...  
通帳へ記入されるまで大切に保管ください。  
ATM振込の組戻しは「利用控え」(持参ください)。  
お振込先・金額・口座番号・支店名

北(201)5042 X 27.10 108 X 500 CK

裏面もあわせてご覧ください。

領収書貼付台紙

（重ねないように貼付すること。）

10-5

# 領 収 証

富山県議会 公明党

様

28年10月21日

¥30,000

注 10/21, 22「地域課題ケア特別講座」

2講座分 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進協会

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2丁目28-4

TEL 03 (6869) 1143



平成28年10月6日

富山県議会  
吉田 勉 様

一般社団法人 行政改革推進協会  
セミナー事務局  
電話 03-6869-1143  
FAX 03-6869-1326

## 受講確認書

このたびは、行政改革推進協会 主催セミナー にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。  
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。  
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

※悪天時・ご参加人数に関わらず、必ず開催させていただきます。  
地震などにより、止むを得ず中止させていただく場合はご連絡いたします。

### 記

- ・受講日 平成28年10月21日(金)14:00~16:30、10月22日(土)10:00~12:30(金沢)
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2 講座 = 30,000円

【 受講料 お振込み口座 】  
楽天銀行 第二営業支店  
普通 7225500  
名義 (社)行政改革推進協会

平成28年10月7日

富山県議会  
吉田 勉 様

一般社団法人 行政改革推進協会  
セミナー事務局  
電話 03-6869-1143  
FAX 03-6869-1326

## 入金確認書

このたびは、行政改革推進協会 主催セミナー にお申込みいただきありがとうございます。

セミナー受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

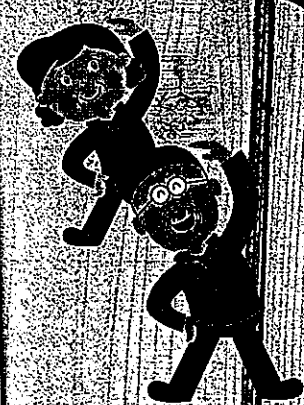
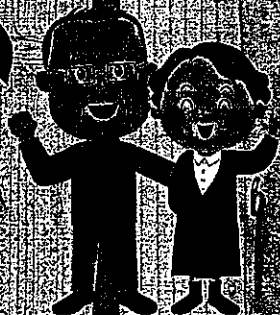
※ご入金後のキャンセルは開催7日前までをお願い致します。  
以後のキャンセルは、資料と領収証を郵送させていただき、  
ご返金対応は致しかねますので、ご了承くださいませ。

### 記

- ・受講日 平成28年10月21日(金)14:00~16:30、10月22日(土)10:00~12:30(金沢)
- ・受講料 30,000円
- ・お振込み日 平成28年10月7日
- ・お振込み名義人 富山県議会議員 吉田 勉 様

# 地域包括ケア 特別講座

in東京 in金沢



9/23

Fri.

東京

10/21

Fri.

金沢

14:00~16:30

9/24

Sta.

東京

10/22

Sta.

金沢

10:00~12:30

## 地域福祉政策の立案に向けて

地方議員がいま取り組むべき課題 **基礎編**

- 高齢者福祉施策の現状と課題
- 介護保険制度の概要と制度改正の動向
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて
- 地域が主役の時代へ
- 在宅医療、在宅介護の連携促進策
- 地域ケア会議と地域包括ケア
- 介護予防給付と地域支援事業
- 認知症施策の推進(オレンジプラン)とは

## 地域福祉政策の実践に向けて

地方議員がいま取り組むべき施策 **実践編**

- 地域包括ケアシステム構築へ向けた取組事例
- 制度改正に伴う市町村の役割の変化
- 小規模通所介護の地域密着型サービスへの移行
- 地域包括ケアシステム構築のプロセス
- 2025年を見据えた介護保険事業計画
- 高齢者の居場所づくり
- 地方議員の福祉政策との関わり方

### 講師紹介

公益社団法人  
かながわ福祉サービス振興会  
理事長

せと つねひこ  
瀬戸恒彦

### 略歴

1956年生まれ。1979年神奈川県庁入庁。1993年から福祉部福祉政策課で高齢社会対策に関する各種調査、介護保険制度の立ち上げに従事。2001年(公社)神奈川県を退職し、(社)かながわ福祉サービス振興会事務局長に就任。2002年から専務理事を歴任し、2014年6月理事長に就任。現在、シルバーサービス振興連絡協議会会長、一般社団法人かながわ福祉居住推進機構理事長、一般社団法人日本ユニットケア推進センター理事、NPO法人神奈川県介護支援専門員協会監事、神奈川大学非常勤講師なども務める。  
共著として、『評価が変わる介護サービス』法研2003、『介護経営白書』日本医療企画2006、『居宅介護支援・介護予防支援給付管理業務マニュアル』中央法規2007、『新・社会福祉士養成講座第11巻第7章』中央法規2010、『業務改善ハンドブック第1章~4章、7章』中央法規2012、『基礎力を鍛えるコンプライアンス経営』日本医療企画2014、などがある。



## 受講料について

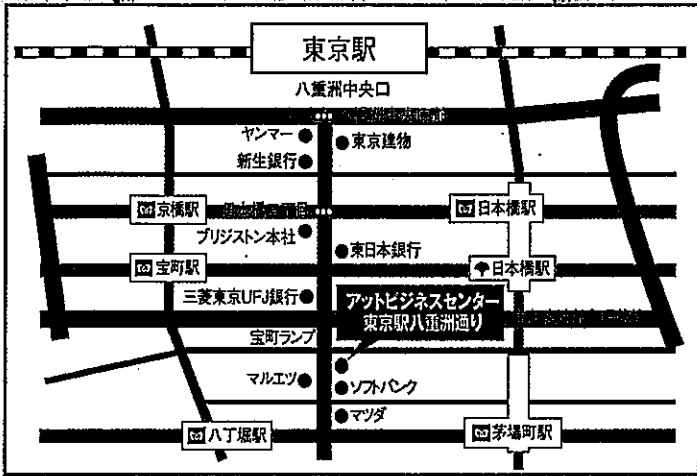
●受講料 1講座 **15,000円**(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に事前にお振込みをお願いします。※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

## 開催場所までのアクセス

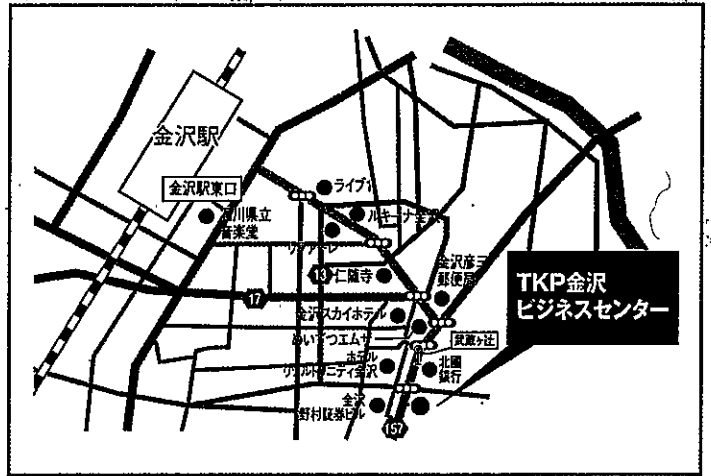
### 東京

アットビジネスセンター東京駅八重洲通り  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-9-8八重洲通りハタビル  
●東京駅八重洲口より徒歩約10分  
●日比谷線八丁堀駅より徒歩約2分



### 金沢

TKP金沢ビジネスセンター *かみのみ*  
〒920-0869 石川県金沢市上堤町 1-33アパ金沢ビル  
●JR金沢駅東口 徒歩15分  
●JR金沢駅東口から北鉄バスで「武蔵ヶ辻」バス停下車 徒歩3分



## お申込み方法

お申込みはファックスまたは、メールにてお願いします。お申込み後は事務局から折り返し「受講確認書」を一向日中にファックスまたはメールにて送付いたします。「受講確認書」に従って、事前にお振込みください。

ファックスでのお申込みの場合

**03-6869-1326**

※下記項目を記入していただき、ファックスで送信をお願いします。

メールでのお申込みの場合

**mail@gyokaku.com**

※ご希望の日時にチェックを入れてください。(1講座 15,000円)

●『地域福祉政策の立案に向けて』

～地方議員がいま取り組むべき課題 基礎編～

●『地域福祉政策の実践に向けて』

～地方議員がいま取り組むべき施策 実践編～

9月23日 東京 14:00～16:30

10月21日 金沢 14:00～16:30

9月24日 東京 10:00～12:30

10月22日 金沢 10:00～12:30

お名前	石川 勉	貴会名	富山県議会 (2期目)
ご住所	富山市津分茶屋49-3	メール	
電話番号	076-434-3909	FAX番号	076-482-2078

《個人情報の取扱いについて》ご提供いただいた個人情報(一般社団法人行政改革推進協会においてサービスの提供に利用させていただきます。また、ご提供いただいた情報は、当社が管理責任者として厳重に保管・管理いたします。



整理番号	10-6	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------------------------

(事業内容)

県政報告書(9月議会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅郵便郵送料	10,500円
	折り込み料金	4,215円	
	《合計》	177,320円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)





# ご請求書

〒 930-0116  
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。  
平成28年10月のご請求書をお届けさせていただきました。



## ヤマト運輸株式会社

富山主管支店  
担当店：富山呉羽センター  
〒939-0285  
射水市  
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：  
0766-55-1934  
集荷・配送についてのお問合せ：  
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス

<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>



整理番号	10-7	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------------------------

(事業内容)

※ 地方議員研究会

植波 啓祐 (元佐賀県武雄市長) への緊急提言 特別講座

- 10/27 (F) 14:00 ~ 16:30 防災・減災の取り組み
- 10/28 (金) 10:00 ~ 12:30 教育革命のために議員がすべきこと

上記事業に要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		北陸新幹線	25,460円
	受講料	30,000円	10/27, 10/28 各
	宿泊費	12,100円	10/27 (F) 一泊
	食事代	6,000円	10/27 昼食 1,500円 夕食 2,000円 10/28 朝食 1,000円 昼食 1,500円
	(合 計)	73,560円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号	10-7	会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	地方議員研究会 不瀬渡啓祐(元佐賀県武雄市長)にお緊急提言特別講座		
日程	平成28年10月27日(木)～平成28年10月28日(金)		
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	アットビジネスセンター 東京駅八重洲川通り		
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	地方議員研究会		
行程・活動内容			
<p>① 10/27(木) 14:00～16:30 防災・減災の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本地震、東日本大震災での活動 (復興支援アドバイザーとしての被災地との関わり)</li> <li>・議員としての関わり方</li> <li>・あなただけの街の防災について質問してみよう。</li> <li>・災害時に執行機関はどのように動くのか</li> </ul> <p>② 10/28(金) 10:00～12:30 教育革命のために議員ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ武雄市で教育革命に取り組んだのか。</li> <li>・首長と教育委員会と議会の関係</li> <li>・人口減少社会と教育革命</li> </ul>			

※日帰りの政務活動を含む。

# 領 収 証

No. 962006 I

RECEIPT

平成 28 年 10 月 25 日

ご氏名 富山県議会公明党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ¥25,460-

ただし 10/27 水 号 東京 市 酒

- ① 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(カード)
- (※ )
- 5. その他( )

上記金額正に領収いたしました

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 **TIS** 富山 営業本部  
06810 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

扱者名







# 領 収 証

富山県議会公明党様

28年10月27日

★ ¥30,000-

但 12/24 AM 防災・減災の取り組み  
12/28 AM 教育革命のために議員が活躍すること、2つに分、研修会受託代として  
上記正に領収いたしました



地方議員研究  
〒530-0001  
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3  
TEL 06 (7878) 6297

領 収 書

富山県議会公明党様

金額 ¥30,000

28/10/27

記入印鑑

郵便代

〒530-0001  
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3  
TEL 06 (7878) 6297 FAX 06 (7878) 7719

# 樋渡 啓祐

## 緊急提言特別講座

元佐賀県武雄市長 樋渡 啓祐氏が、経験を元に最新事例を交えて自治体議員限定セミナーを行います。



### 10月27日(木曜日)

10:00~12:30

#### 議会活性化のノウハウ

- ・議員は市民や職員にどう思われているか
- ・先輩議員や議会事務局に貴方は騙されている
- ・議会活性化のために全員が取り組めることの提言

14:00~16:30

#### 防災・減災の取り組み

- ・熊本地震、東日本大震災での活動 (復興支援アドバイザーとしての被災地との関わり)
- ・議員としての関わり方
- ・あなたの街の防災について質問してみよう
- ・災害時に執行機関はどう動いているか

### 10月28日(金曜日)

10:00~12:30

#### 教育革命のために議員ができること

- ・なぜ武雄市で教育革命に取り組んだのか
- ・首長と教育委員会と議会の関係
- ・人口減少社会と教育革命

14:00~16:30

#### 先進自治体が取り組んでいる地方創生

- ・何もしない自治体と先進自治体の違い
- ・地方創生アドバイザーとしての関わりと最新事例紹介
- ・人口減少社会に生き残る自治体の条件

#### 講師ご紹介

ひわたし けいすけ

### 樋渡 啓祐

元佐賀県武雄市長  
樋渡社中 Founder&CEO

1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁(現総務省)に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100万人の武雄市図書館の実現を図り、日経BP「日本を立て直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。



↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは FAX または メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。  
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。  
参加される講座にチェックボックスへ  チェックください。

10月27日(木)

10月28日(金)

10:00  
?  
12:30

議会活性化のノウハウ

教育革命のために  
議員ができること

14:00  
?  
16:30

防災・減災の取り組み

先進自治体が  
取り組んでいる地方創生

お名前	(フリガナ)ヨシダ ツトム 吉田 勉	貴議会名	富山県議会 (2期目)
ご住所	(〒930-0116) 富山市 追分茶屋 49-3		
電話番号	(076) 434-3909	FAX番号	(076) 482-2078
E-mail	yosida.tutomu @ mb.infoweb.ne.jp		

開催  
場所

アットビジネスセンター  
東京駅八重洲通り

[4講座同場所] 〒104-0032 東京都中央区  
八丁堀1-9-8八重洲通りハタビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に  
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp



JR東京駅(八重洲口)より徒歩約10分  
日比谷線 八丁堀駅より徒歩2分

整理番号	11-1	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費	資料購入費	広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------	-------	-------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		化研新聞	3072円
	富山新聞	3072円	10月分
	(合 計)	6144円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

11-1

2016年10月分 領収証 発証No. 00004567-201610-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 ¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報は、当証券所において適切に管理し、新聞の配達・基金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版料等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利ですが クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

16年 10月分 28年10月29日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

整理番号	11-2	使途項目	調査研究費・研修費・会費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	--------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		インカートリッジ	1278円
	《合計》	1278円	

《領収書貼付時》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(裏面を貼付すること。)

11-2

富山県議会  
公明党

領収証  
様

2016年10月13日 (木)

¥2,756-

上記正に領収しました(消費税等 204円を含みます)  
DCCMカマエ羽店 千448-0046愛知県刈谷市日高町4-101  
DCCMカマエ羽店 千076-(434)-4000  
TEL 上のお願い  
※保管等で保管袋く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-1354-5633

\*領収証明細\*

2016年10月13日(木)16:25 店No00803

016 キヤノン イソカカートリッジ  
4960999971308 ¥2,756  
合計 ¥2,756  
(内税¥2,756)  
(内税¥204)  
(税合計 ¥204)  
お買上点数 1点  
お買上点数 1点

店No00803 店No5633

DCMカーブ

呉羽店 076-434-4000

営業時間: 9:30~20:00

カード新規入金サービスのご案内  
お得なカードに入会されますと  
もれなく1000ポイントプレゼント!

現金でもポイントが貯まります!

領収証

2016年10月13日(木)16:25 店No00803

016 キヤノン イソカカートリッジ  
4960999971308 ¥2,756  
合計 ¥2,756  
(内税¥2,756)  
(内税¥204)  
(税合計 ¥204)

お預り ¥3,000  
お釣り ¥244  
お買上点数 1点

お客様の住まいの困った、を解決!  
日常の生活シーンをサポートします  
カード『住まいの便利サービス』受付中!

詳しくは店舗サービスデスク又は店頭の  
スタッフまでお問い合わせください。

店No00803 店No5633

整理番号	11-3	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	------	---------------------------------------

(事業内容)

山形県の地方創生政策の調査研究

(「議会基本条例、議会広報HPリンク」)

11月1日(水)～11月2日(木)

山形県庁にて

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線～ 山形新幹線	40180円
	宿泊費	9500円	1/1泊(朝食付)
	食事代	5000円	1/1昼食1500円 夕食2000円 1/2昼食1500円
	タクシー代	3000円	1/2 高松～山形県庁 2040円 山形県庁～山形駅 960円
	(合計)	67680円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



整理番号 11-3

会派・議員名 公明党 吉田 勉




活動名称	調査研究費
目的	山形県の地方創生政策の調査研究 ( " 議会基本条例、議会広報ヒアリング" )
日程	平成28年11月1日(火) ~ 平成28年11月2日(水)
場所  [ 国名・都市名、 施設名、訪問先等 ]	山形県庁
相手方等  [ 主催者、対応者、 参加者、同行者等 ]	山形県企画振興部 企画調整課 保科孝宏 ( 課長補佐 ) 山形県議会事務局 議事調整課、政策調整室 鈴木秋生 ( 課長補佐 )
<p>行程・活動内容</p> <p>～「自然と文明が調和した理想郷山形」を目指して～                  やめた創生総合戦略</p> <p>山形県は「自然と文明が調和した理想郷山形」というビジョンを打ち出し、人口の減少と県政の最重要課題として捉え、将来にわたる「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」に向け、4本の基本目標を掲げ、経済面と精神面の両面からアプローチにより、実情に応じた今後の施策を取りまとめ。</p> <p>基本目標 1 豊かな山形の資源を活かして雇用を創出                  〃 2 山形に住む、帰るプロジェクトを推進                  〃 3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望を実現                  〃 4 安心と活力ある地域を創出</p>	

※日帰りの政務活動を含む。

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

11-3

<b>領 収 証</b>		No. 962060 I
RECEIPT		平成28年10月31日
ご氏名 <u>群馬県議会公明党</u> 様		
(ご注意) 本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。	金 額 <u>¥40,180-</u>	
ただし <u>1/1 求差 富山-山形 往復</u>		<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 小切手 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> クレジット(カード) <input type="checkbox"/> その他( )
上記金額正に領収いたしました。		
50,000円以上 収入印紙	株式会社日本旅行  NIPPON TRAVEL AGENCY	TIS 富山 営業本部 06810 支 店 責任者印  扱者名 

# ご請求書

平成28年10月26日(水)  
No. 24- 160426

〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階

株式会社日本旅行 富山支店

TEL: 076-433-1184  
FAX: 076-433-5250

## 富山県議会公明党 様

支店長:   
担当者:   
[Redacted]

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。  
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

### ご請求金額: 40,180円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
11/01(火)	JR券(富山~山形)往復	40,180	1	¥40,180
合 計				¥40,180

※お支払いは、平成28年10月31日(月)までに、お支払い下さい。  
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

### 受取証

平成	年	月	日
金額	百万	千	円
		¥40,180	
振込先	みずほ銀行十五号支店		
預金種目	普通	口座番号	3101858
受取人	株式会社 日本旅行		
ご依頼人	24		
上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日			
銀行	収入印紙		
支店			

### 振込依頼書

頼ご日依	平成	年	月	日	電信振	手数料			
振込先	みずほ銀行十五号支店				金額	百万	千	円	
							¥40,180		
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101858	内訳	現金			
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ					当店券			
	株式会社 日本旅行					他店券			
ご依頼人	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階 TEL (076) 433-1184				振替				
	(フリガ)					出納印または振替印			
	(おなまえ) 24 (おところ) (電話)								

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

11-3

# 領 収 書

No.000658752 精-01 16/11/01 16:59  
[ チェックイン ]

**部屋番号1014**

ご利用期間 2016/11/01~2016/11/02  
ご利用日 2016/11/01

富山県議会 公明党 様

ご請求額 9,500円

ご入金額 10,000円  
おつり 500円

上記金額を現金にて領収致しました

### ◆ご利用明細◆

室料(1泊分) 9,500円  
総合計 9,500円

ごゆっくりお過ごしください

リッチモンドホテル山形駅前

山形県山形市双葉町1-3-11  
TEL.023-647-6277  
FAX.023-647-6278

本店：東京都世田谷区桜新町 1-34-6

印紙税申告納  
付につき玉川  
税務署承認済

# 領 収 書

No.0714

日付 '16年11月02日  
車番 000132 000

基本運賃 ¥2040円

合計 ¥2040円

上記の通り領収致しました  
毎度ご乗車

ありがとうございます

八千代交通(株)

山形市南栄町2丁目11番21号

タクシー

023-622-5001

No002

# 領 収 書

2016年11月02日

車番 124

運賃 960円

計 960円

(株)山形タクシー

山形市落合町170番地

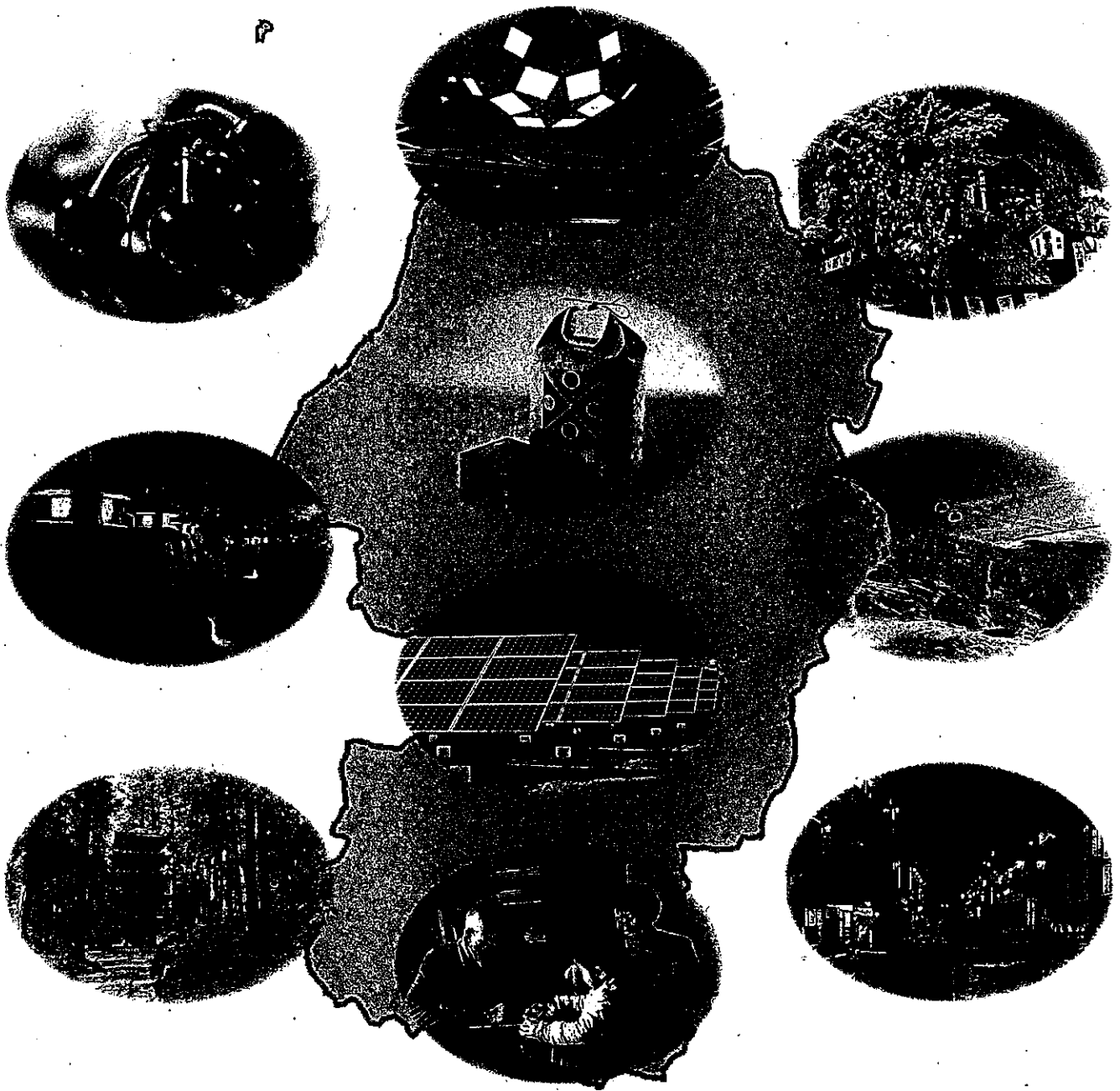
TEL 023-622-4561

旅行のご用命は

山形グリーントラベルへ

～「自然と文明が調和した理想郷山形」を目指して～

# 山形県人口ビジョン やまがた創生総合戦略



山形県庁

山形県

# はじめに

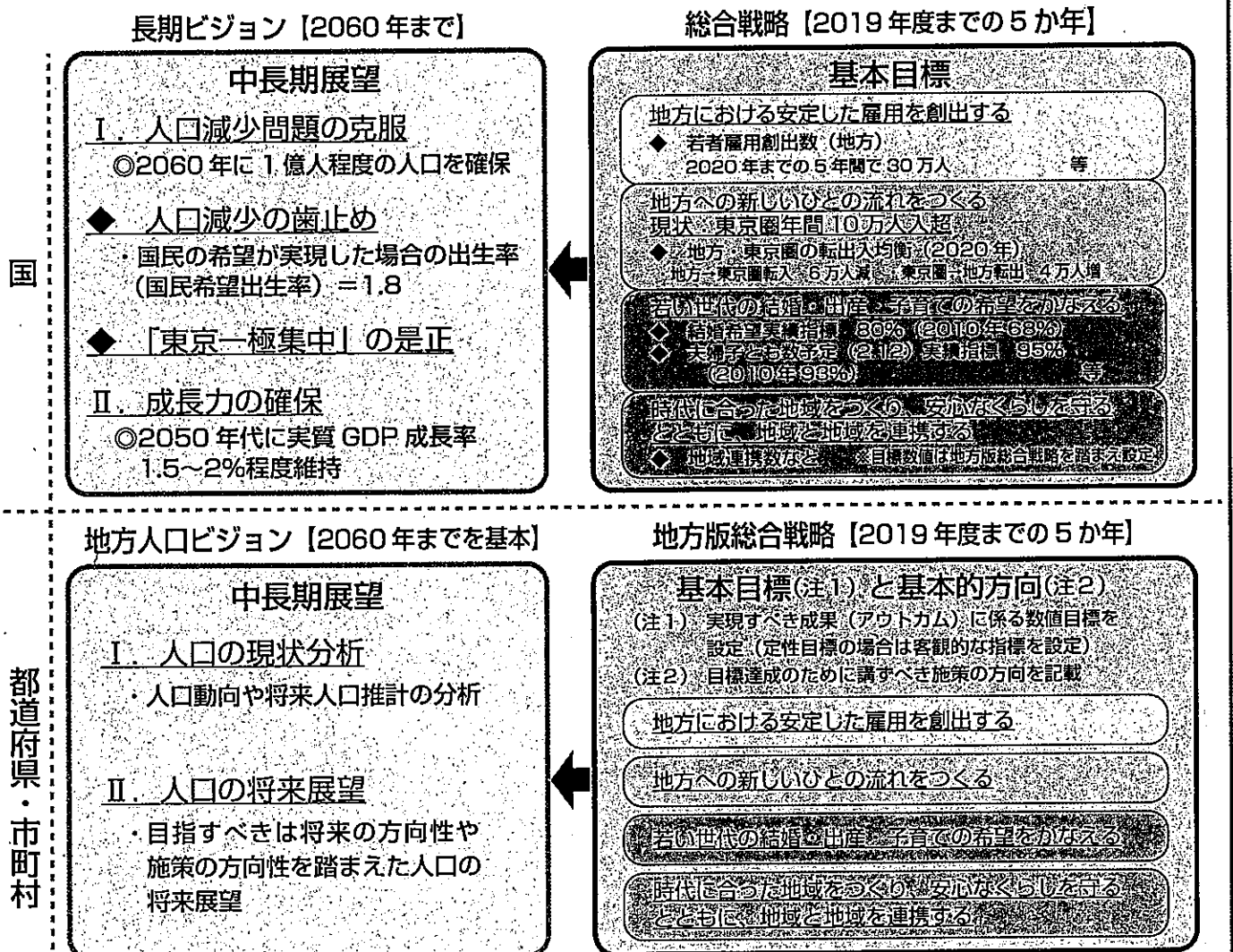
本県の人口は、自然減少と社会減少の双方の要因により減少が加速しており、状況は厳しさを増しています。人口の減少は、産業活力の低下や地域コミュニティの弱体化など、私たちの生活全般に大きく影響するものであり、一刻の猶予も許されないとの危機感のもと、地方創生を前進させていかなければなりません。

本県では、「自然と文明が調和した理想郷山形」というビジョンを打ち出し、人口の減少を県政の最重要課題として捉え、政府に先行して、あらゆる人口減少対策に取り組んできたところでありますが、今後は、これまでの取り組みをさらに充実・加速し、地方創生の深化に取り組んでいく必要があります。

こうした観点から、本県の人口の現状を分析することで、私たちの人口の現状に対する認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する「山形県人口ビジョン」と、これを踏まえ、本県の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す「やまがた創生総合戦略」（対象期間：平成27年度～平成31年度）を策定したものです。

《参考》政府の総合戦略及び長期ビジョンとの関係

## 国と地方における人口ビジョン・総合戦略の構成（イメージ）



【出典】内閣府ホームページ

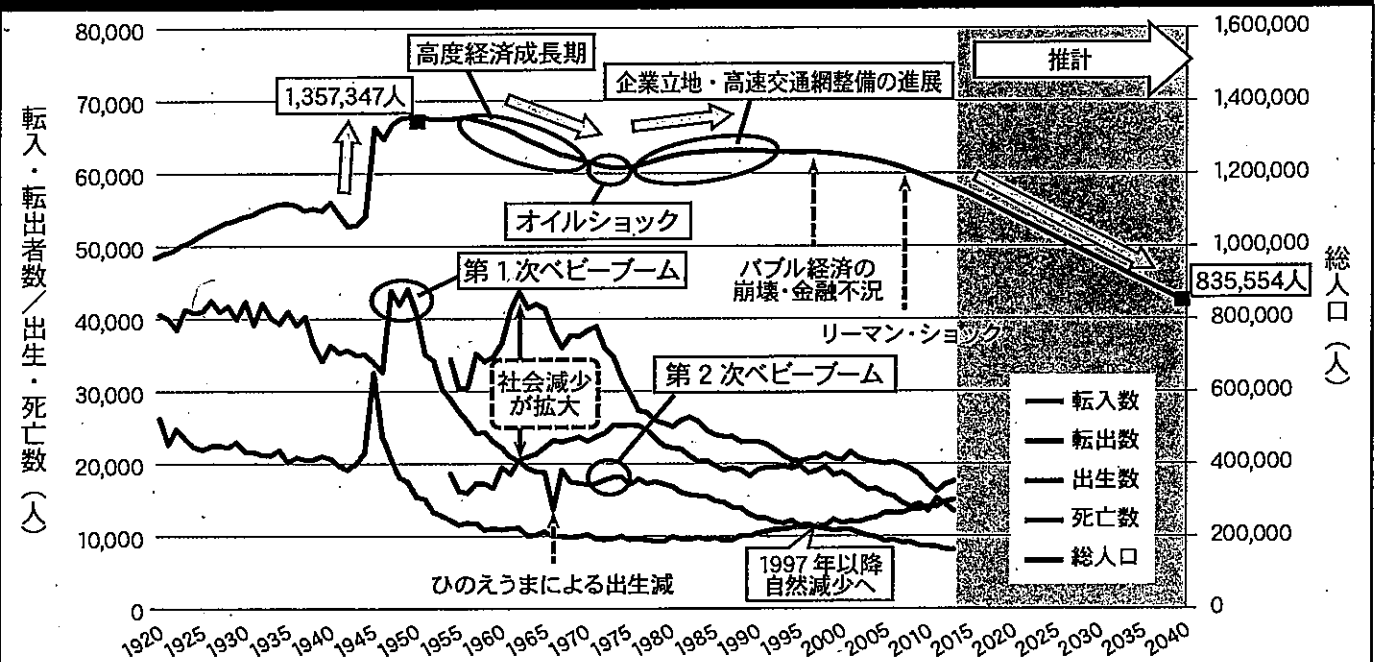
# 山形県人口ビジョン

## I 人口の現状

### 1 人口動向

- 自然減少と社会減少の双方の要因により、人口減少が拡大してきており、今後はさらに人口減少が加速すると推計されています。

総人口、出生・死亡、転入・転出の推移



【出典】 総人口（2010年まで）：総務省「国勢調査」  
 総人口（2015年以降）：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」  
 出生数、死亡数：厚生労働省「人口動態統計」 転入数、転出数：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

### 2 人口減少が本県の将来に与える影響について

- 人口減少が進行することにより、様々な影響が懸念されます。

#### 地域経済への影響

労働力不足による生産活動の低下、消費支出の減少による経済成長力の低下

#### 地域医療、福祉・介護への影響

老年人口の増加による需要の増加とそれに応える労働力の不足

#### 地域コミュニティへの影響

町村部における支え合いなどの機能の低下、都市部における市街地の空洞化による活力低下

#### 地域公共交通への影響

通勤通学者など利用者の減少による経営への影響、高齢者の増加による必要性の高まり

#### 教育・地域文化への影響

児童・生徒数の減少による教育活動等の変化、担い手減少による地域文化の衰退

#### 行財政への影響

税収等の減少、社会保障費の増加等に伴う財政の硬直化による行政サービスの低下

## Ⅱ 人口の将来展望

### 1 人口の将来展望の基礎となる県民の意識等

#### ◆ 大学卒業後の就職に関する意識

- ・ 大学卒業後の就職は、山形県内希望者が多い。やりがいのある仕事を希望

#### ◆ 地方移住の希望

- ・ 東京在住者は地方移住の希望者が多い。仕事の確保、生活の利便性を重視

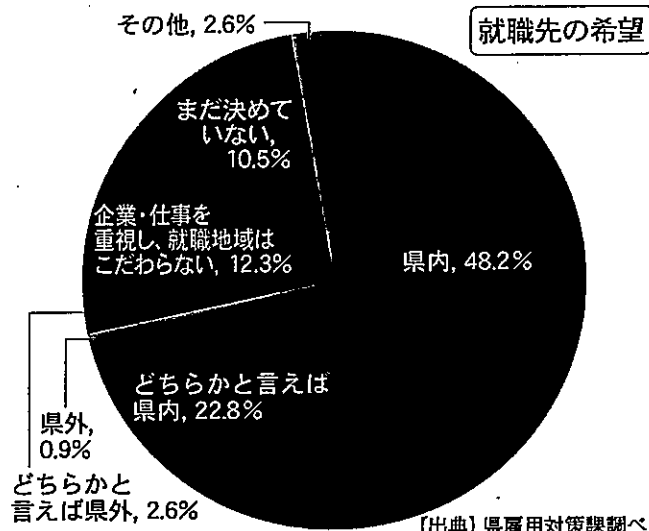
#### ◆ 結婚・出産・子育てに関する意識や希望

- ・ 結婚しない大きな理由は適当な相手にめぐり会わないこと
- ・ 持つつもりの子どもの数は、理想とする子ども数より少ない。子育て・教育の経費、高齢出産、子どもを持つことによる仕事への影響を懸念

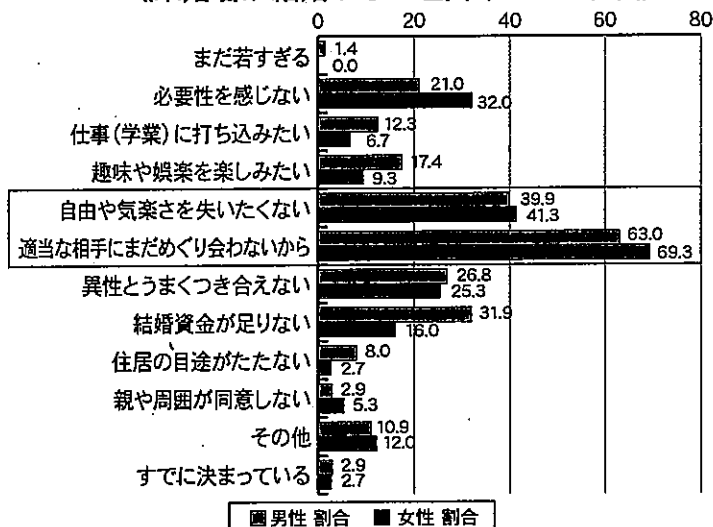
#### ◆ 県内各地域における住民の動き

- ・ 各地域の主要な市を中心に通勤・通学圏（経済圏）や買物圏（生活圏）を形成

《大学卒業後の就職に関する意識（山形県）》



《未婚者が結婚しない理由（30～40代）》



### 2 本県の目指すべき将来の方向

#### やりがいのある安定した雇用を確保する

- ・ 高度な知識や専門的能力を活用できる就職先の確保・創出

#### 本県への新しい人の流れをつくる

- ・ 本県の魅力（文化や食など）の的確な情報発信や、就職や住居について充実した相談・支援体制によりサポート

#### 若い世代の結婚・子育て等に関する希望を叶える

- ・ 地域全体での結婚応援や地域・家族の支え合いによる子育て支援、地域や職場で女性が活躍できる環境づくり

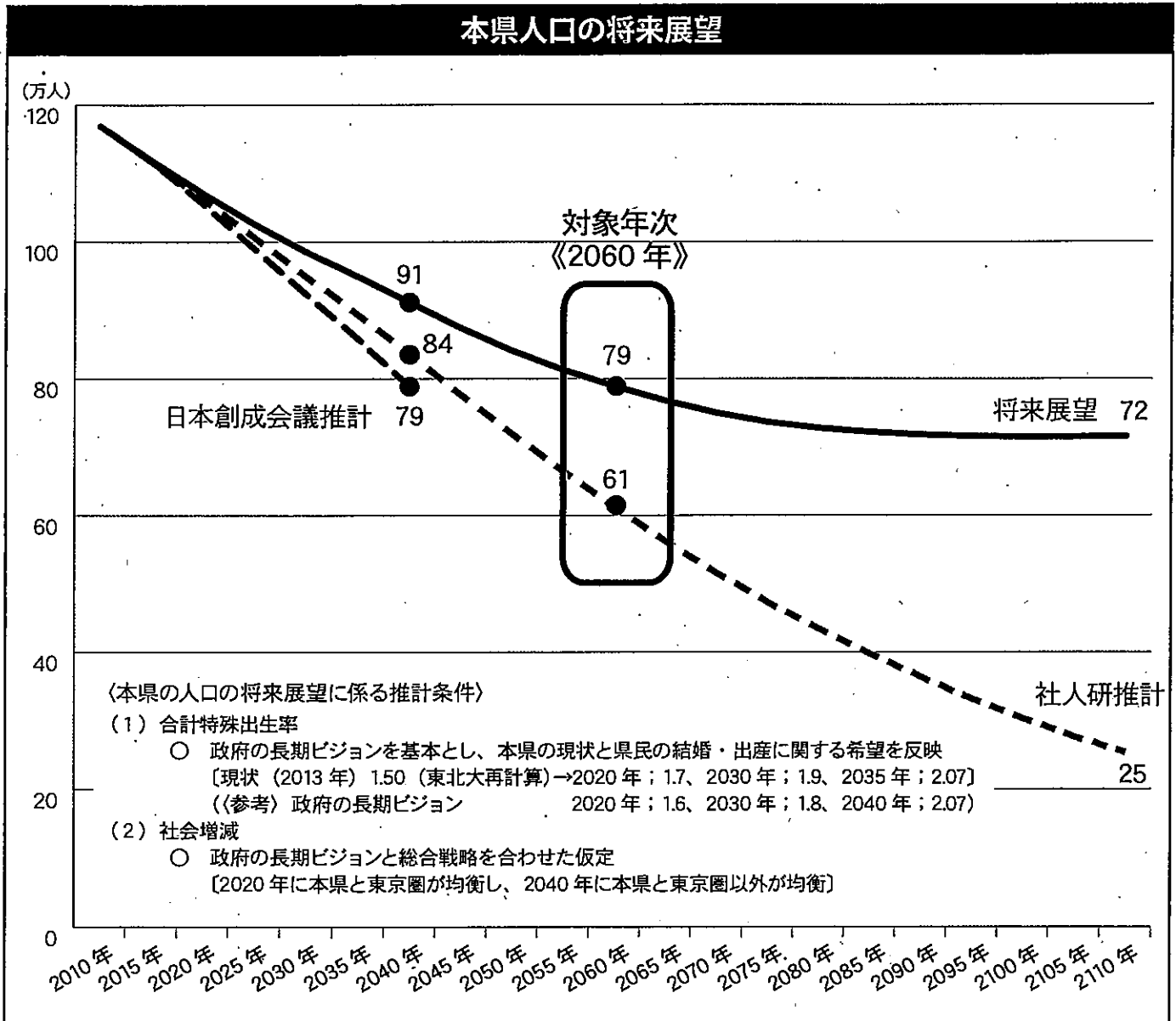
#### 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

- ・ 持続可能な地域のための経済圏、生活圏の形成や、農山漁村における安心な暮らしの維持



### 3 人口の将来展望

- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計では、本県人口は2060年に61万人にまで減少するとされています。
- 県民の結婚・出産に関する希望が実現され、本県と首都圏等の人口移動が均衡することにより、2060年（平成72年）における本県の人口は概ね79万人程度となり、長期的には72万人程度で安定すると推計されます。



## ■ やまがた創生総合戦略

- 本戦略は、将来にわたっての「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」に向け、4本の基本目標を掲げ、経済面と精神面の両面からのアプローチにより、本県の実情に応じた今後の施策の基本的方向、具体的施策等を取りまとめたものです。

### 基本目標

- ◆ 地方創生のためには、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが必要であることから、以下の4本を「基本目標」として設定し、取組みを戦略的に推進していきます。

- 基本目標1 豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
- 基本目標2 山形に住もう・帰ろうプロジェクトを推進
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現
- 基本目標4 安心と活力ある地域を創出

- とりわけ、県民の意見を色濃く反映した、本県の特性を最大限に活かした取組みとして、「挑みの八策」に特に力を注いでいきます。
- 豊かでおいしい食、美しい自然、高度なものづくり技術、温かみのある人の絆、女性の活躍を応援する風土、精神性の高い文化など、先人たちが磨き、築きあげてきた国内外に誇れる本県の特性を県勢発展の推進力に、その力を最大限活用して、やまがた創生をけん引し、ひいては、東北の創生、日本の創生に貢献していきます。

## やまがた創生をけん引する「挑みの八策」

- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る
- 地域産業の振興と雇用創出の促進を図る

## 基本目標1 豊かな山形の資源を活かして雇用を創出

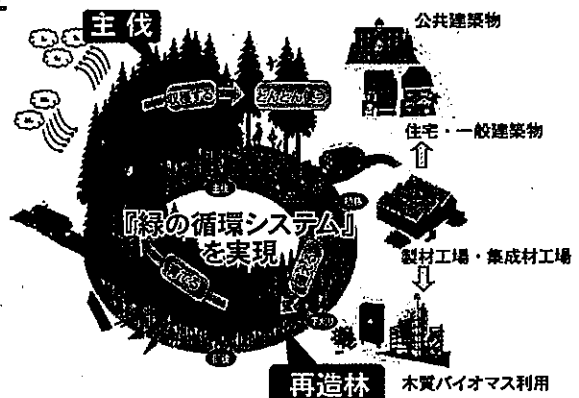
◆質の高い農林水産物、企業の優れた技術力、豊富な観光資源など、本県の魅力ある特性を最大限に活かし、女性や若者をはじめ県民一人ひとりが能力や個性を發揮できる「しごと」づくりを進めます。

《数値目標》	▶ 農業産出額〔園芸作物〕	1,200億円 (H25: 1,081億円)
	〔主なるもの〕〔米〕	930億円 (H25: 867億円)
	〔畜産〕	450億円 (H25: 339億円)
	▶ 食料品製造業の製造品出荷額等	4,500億円 (H25: 2,816億円)
	▶ 観光消費額	2,100億円 (H25: 1,828億円)
	▶ 製造業付加価値額	1兆2,500億円 (H25: 8,264億円)

### (1) 地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出

▶ 長年培われてきた農林漁業等の技術や知識・知恵を活かした産業を振興します。

- ・「食産業王国やまがた」の実現
- ・「やまがた森林ノミクス」の推進
- ・再生可能エネルギーで経済活性化と持続可能な社会の構築 など



### (2) 観光立県山形で「しごと」を創出

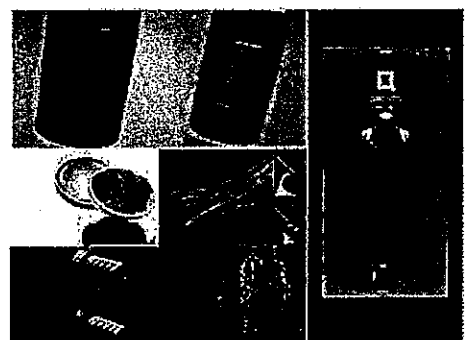
▶ 国内外から高い注目を集めている観光資源を磨き上げ、インバウンドをはじめとした誘客の促進等により、観光消費を拡大します。

- ・受入態勢の整備、先導的ツアーの推進、「食」を活かした交流拡大 など

### (3) 本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出

▶ 大学卒業の若者や女性等が、やりがいや安心感を持って働くことができ、県内定着・回帰へとつながる、安定的で魅力的な「しごと」をつくります。

- ・有機E1やバイオ分野、成長期待分野等での「しごと」の創出 など



合成クモ糸繊維と試作ドレス

### (4) 山形の産業をけん引する人材を育成

▶ 本県経済の活性化が図られ、さらに安定した雇用が拡大する好循環を生み出すために必要な人材を確保・育成します。

- ・高い専門性や知識を有した人材の育成、県内産業が求める産業の育成 など

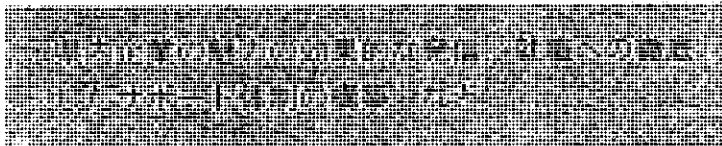
## 基本目標② 山形に住もう・帰ろうプロジェクトを推進

◆恵まれた自然環境などの山形の魅力を全国に効果的に発信するとともに、移住希望者の視点に立ち、雇用や住まい等の移住の受け皿に関する総合的な環境整備を行います。

《数値目標》 ▶ 県外からの転入者数－県外への転出者数  
△2,000人（平成25年 △4,081人）

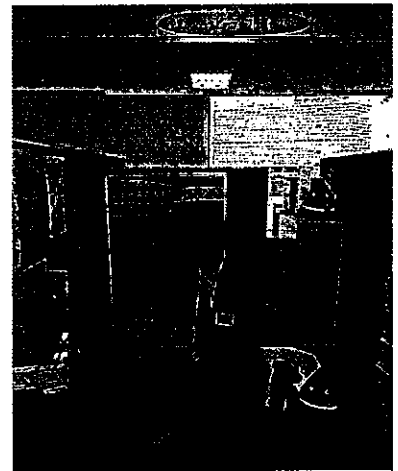
### (1) 若者就業支援プログラムを展開

▶若者の人生の大きな転機となる就職機会を捉えて、県内企業についての情報発信から若者と県内企業との接点づくり、就職までの一貫・徹底した支援プログラムを展開します。

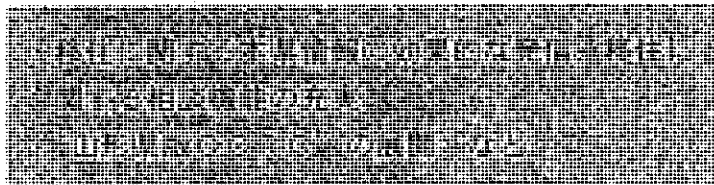


### (2) 元気なシニア等の移住促進プログラムを展開

▶市町村との連携のもと、本県出身者及び移住希望者を、“日本人の心のふるさと美しい山形”への回帰・移住に結び付けるトータル支援を展開します。



やまがたハッピーライフ情報センター  
(東京有楽町)

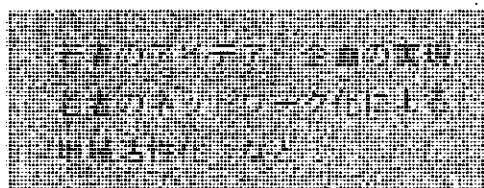


### (3) やまがた若者ライフプロジェクトを推進

▶次代の山形を担う若者が、意欲と能力を活かしながら地域で活躍できる環境づくりを推進します。



冊子「やまがた若旦那」完成披露&握手会  
(やまがた若者チャレンジ応援事業)



## 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現

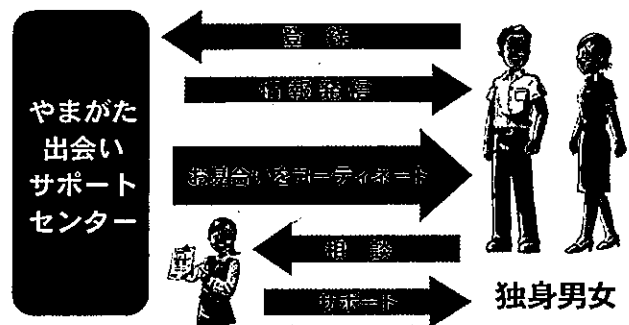
- ◆家族や地域ぐるみで働く女性を応援する本県の風土をもとに、若者が希望どおりに結婚し、子どもが持てるよう、県民総ぐるみで結婚、妊娠、出産、子育てを切れ目なく支援します。
- ◆男性と女性がともに分かち合い、子育てから介護まで、仕事と両立できる環境を整備するなど、ワーク・ライフ・バランスを推進し、女性の能力や感性を最大限に活かし経済を活性化するウーマノミクスを推進します。

《数値目標》 ▶合計特殊出生率 1.70 (平成26年 1.50)  
 ※東北大学再計算値  
 ▶婚姻率(20～44歳)上昇 (平成25年 16.07%)  
 ※山形県の20～44歳人口千人あたりの婚姻件数

### (1) やまがた結婚・子育て安心ライフサポートを推進

- ▶安心して結婚し、子どもを生き育てられるよう、山形ならではの家族や地域が支え合う特性を積極的に活かした支援を展開します。

市町村や民間団体などオール山形による新たな結婚支援の仕組みづくり  
 ・「日本一の三世代同居」で子育て支援、ひとり親家庭等への子育て支援 など



### (2) 「やまがたウーマノミクス」を推進

- ▶女性の就業率が全国トップクラスである本県の強みを活かした「やまがたウーマノミクス」を推進します。

建設産業・伝統産業などへの女性の進出促進、アグリウーマンの拡大 など

### (3) ワーク・ライフ・バランスの推進により男女の活躍を促進

- ▶子育てから介護まで、仕事と両立できる環境を整備し、男女の活躍を促進します。

「企業イクボス同盟(仮称)」の創設、先導的企業によるワーク・ライフ・バランスの普及 など

### (4) 先導的な「婚活・子育て応援オフィス」を創出・拡大

- ▶婚活・男性の育休取得などの取組みをリードする自治体や民間企業等を創出し、その取組みを県全体へ普及・拡大します。

すべてのオフィスで婚活・子育て応援、多様な働き方を選択できる環境整備 など

## 基本目標4 安心と活力ある地域を創出

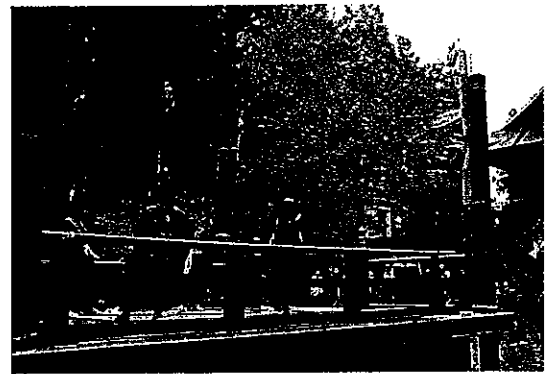
- ◆市町村が連携して生活関連機能サービス等の確保・向上を図るため、連携中枢都市圏や定住自立圏など、地域間連携施策を促進します。
- ◆精神性豊かな地域文化や、人と人との絆が強く互いに支え合う地域特性等を子どもたちに伝え、地域への愛着と誇りを醸成するとともに、それら地域の特性を活かした住民主体の地域づくりを推進します。

《数値目標》	▶住民主体による地域づくりに係る活動拠点数	100 拠点	(平成 26 年度 - )
	▶連携中枢都市圏の形成数	1 圏域	(平成 26 年度 - )

### (1) 文化等を通して地域への愛着・誇りを醸成

- ▶地域の中で生まれ、受け継がれてきた伝統・文化に、子どもの頃から触れ親しむ取組みを通して、地域への愛着と誇りを醸成し、県内定着・回帰につなげます。

- ・子どもたちによる伝統・文化の継承、伝統・文化・スポーツに触れる機会の拡大 など



高寺八講（稚児舞）の様子（鶴岡市）

### (2) 総合的な雪プロジェクトを推進

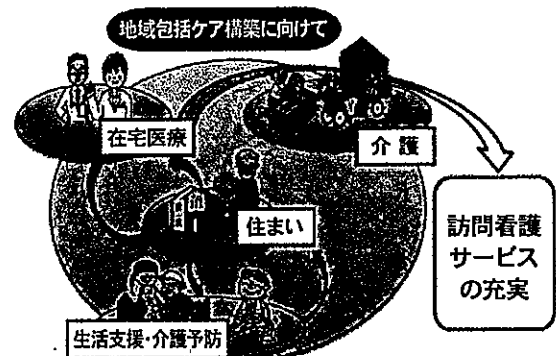
- ▶豪雪県として、雪を魅力ある貴重な地域資源と捉え、雪と共存し、雪を活かした地域活性化により、交流人口を拡大します。

- ・安全・安心な雪国づくり、冬の観光の拡大、雪を活かした地域産業の振興 など

### (3) 子育てや介護、障がい者の自立等を地域ぐるみで支援

- ▶“地域は家族”の考えのもと、子育てや介護、障がい者の自立等について、住民主体の自立的な地域づくりを促進します。

- ・地域づくり活動のリーダーの育成、地域の拠点づくりと地域づくり活動の促進 など



### (4) 県と市町村や市町村間における広域連携を促進

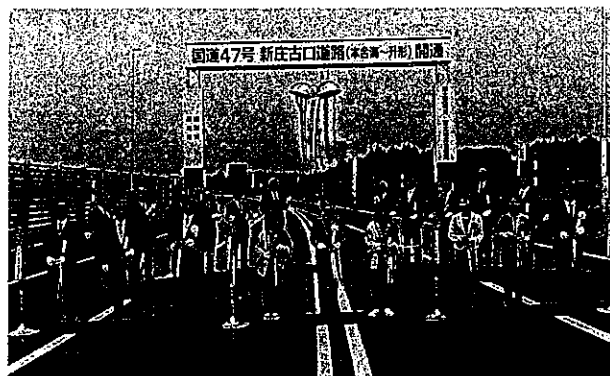
- ▶人口減少のもとでも生活サービスの確保と地域の活力を維持していくため、隣接県も含めた自治体間の新たな広域連携を促進します。

- ・連携中枢都市圏や定住自立圏等による広域連携、県境を越えた広域連携 など

## (5) 暮らしや産業経済活動を支える社会資本を整備促進

▶暮らしや産業経済活動を支えるために必要な社会資本を整備します。

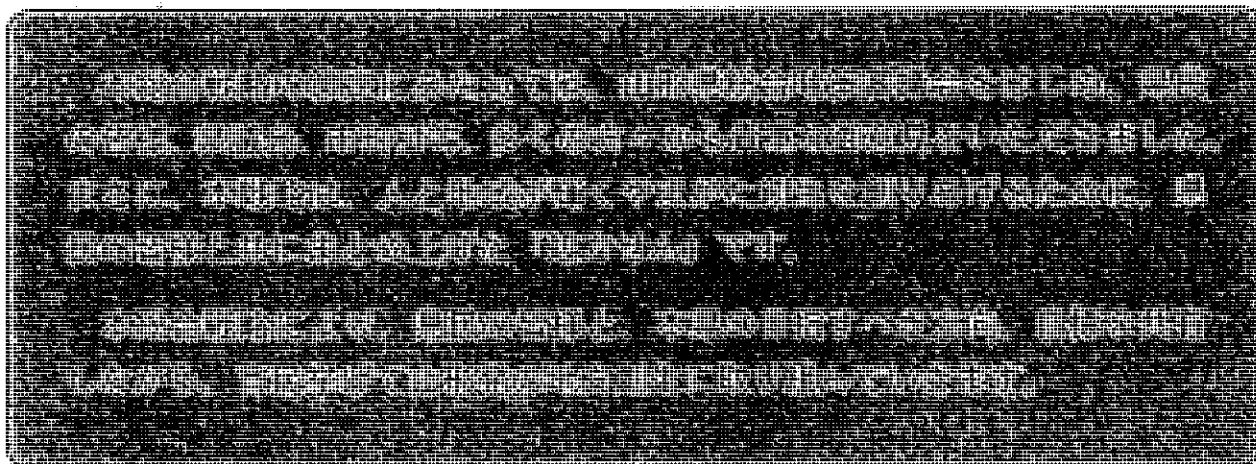
- ・鉄道や航空、生活交通の利便性のさらなる向上 など



国道 47 号 新庄古口道路（本合海～升形） 開通式

## 進 行 管 理

- 外部有識者で構成する山形県総合政策審議会において、毎年、基本目標に係る数値目標や具体的な施策に係る重要業績評価指標（KPI）の達成度等をもとに、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて、総合戦略の見直しを行います。





## 表紙の写真について



### さくらんぼ

本県は生産量が全国1位。初夏には、さくらんぼ狩りが盛んに行われる。



### 上杉雪灯籠まつり（米沢市）

300基の雪灯籠と3,000の雪ぼんぼりに灯がともり、幻想的な雰囲気包まれる。



### 羽黒山五重塔（鶴岡市）

平将門が創建したと伝えられる東北最古の塔。昭和41年に国宝に指定。



### 有機EL ※写真はシャンデリア

光を出す新しい技術であり、薄い、軽い、曲げられるなどの特徴を持つ。県内で行われている研究や商品づくりは世界トップレベル。



### つや姫

日本一美味しいお米を目指して誕生した山形県オリジナル品種のお米。際立つ白さ、つや、美味しさが特長。



### 再生可能エネルギーの活用 ※写真は太陽光パネル

太陽光、風力、水力、バイオマス、雪氷熱等、本県にある多様な再生可能エネルギー資源を積極的に活用し、経済活性化と持続可能な社会の構築を目指す。



### 三世同居の家族

本県は三世同居率が全国1位。家族で支え合う風土が根付いている。



### 新庄まつり（新庄市）

きらびやかな装飾を施した山車行列や神輿渡御行列（みこしとぎょぎょうれつ）、風雅な鹿子踊（ししおどり）などが披露される。平成21年に国の重要無形民族文化財に指定。



### 樹氷

蔵王連峰の特別な気象条件が生み出す自然の芸術品として世界的にも有名。その風貌からアイスモンスターとも呼ばれる。



### 銀山温泉（尾花沢市）

木造多層の旅館が軒を連ねる、大正ロマンあふれる温泉街。

- ◆ 「山形県人口ビジョン」、「やまがた創生総合戦略」の全文は、県のホームページに掲載しています。

県ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/>

山形県企画振興部企画調整課

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

TEL: 023-630-2896 FAX: 023-624-2775

E-mail: [ykikaku@pref.yamagata.jp](mailto:ykikaku@pref.yamagata.jp)

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



整理番号	11-4	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費

H28年10月31日 富山県議会臨時会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	県政報告製作費	16000円	4000部作成
	企画編集料	6000円	
	封筒製作費	4000円	4000部作成
	消費税	20800円	8%
	(合計)	280800円	

(領収書貼付時) (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 請求書

No. \_\_\_\_\_

28年11月 日

公明党富山県議会 様

下記の通り御請求申し上げます

## 三ナ印刷社

代表 山田 幸一郎  
〒931-8334 富山県富山市西町2丁目1-1  
TEL & FAX (076) 2817577

合計金額 ¥286,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	4,000部		160,000	
2	企画・総集料			60,000	
3	封筒	4,000部		40,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				260,000	
消費税				26,800	
合計				286,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

11-4

# 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

公明党 富山県委員会 様

28年 11月 11日

¥280,800-

内 訳

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_

手形 \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

但し

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙



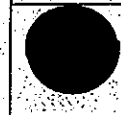
## 三ナト印刷社

代表 山 田 孝 一 郎

〒931-8334 富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)

TEL & FAX (076) 437-5777

係 印



領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

**吉田つとむ**



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3  
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078  
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

# 県政報告



◆公明党富山県議員会 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党(平成28年11月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 Tel (076) 444-3373

## ◆やまがた創生総合戦略～「自然と文明が調和した理想郷山形」を目指して～を調査!



◆人口の減少は、産業活力の低下や地域コミュニティの弱体化など、県民生活に大きく影響するものであり、一刻の猶予も許されないとの危機感から「挑みの八策」に特に力を注いでいく!

◆山形創生を牽引する「挑みの八策」

- ① 6次産業化を推進し「食産業王国やまがた」を実現
- ② 森のエネルギー、森の恵みを活かし「やまがた森林ノミクス」を推進
- ③ 再生可能エネルギーで経済活性化と持続可能な社会の構築
- ④ 観光立県山形で「しごと」を創出
- ⑤ 若者・元気シニアの定着・移住プログラムを展開
- ⑥ 「日本一の三世代同居」で子育て支援
- ⑦ 「やまがたウーマノミクス」を推進
- ⑧ 文化等を通して地域への愛着・誇りを醸成など、先人達が築き上げてきた山形の特性を県勢発展の推進力に!

## ◆平成28年10月31日富山県議会臨時会・「吉田つとむ」の質問より

### 問1 防災・減災対策について

- (1) 今回の補正予算の対象事業箇所について、必要性や事業効果をどのように捉え、どのような観点で選定しているのか、問う。今回の補正は、国の補正に呼応した防災・減災事業の推進、地域活性化のための社会資本整備などが中心になっているが、箇所選定について経緯や必要性が不明である。

【石井知事 答弁】

- 1 今回の補正予算案は、国の経済対策「未来への投資を実現する経済対策」を受けた国の補正予算を踏まえて編成したものであり、社会資本の整備については、その効果が早期に発揮できるよう、①緊急的に整備を進める必要があるものや、②完成の前倒しが図られるもの、③計画的に進めるべき事業の確実な進捗を図るものなどを中心に、

(i) 災害に強く強靱な県土づくり、(ii) 地域活性化に資する事業、(iii) TPPを見据えた生産性・付加価値の高い農林業の振興を推進することとしている。

- 2 具体的には、

①『災害に強く強靱な県土づくりの推進』として、橋りょうの耐震補強や通学路の安全対策、河川改修や

砂防施設等の整備、農業水利施設や治山ダムの整備、漁港の防波堤の改良などの「防災・減災事業の推進」のほか、下水道施設や工業用水道管路の耐震化・老朽化対策などの「インフラ老朽化対策の推進」を着実に進めるとともに、②『地域活性化のための社会資本整備の推進』として、本県経済、産業発展の基盤となる県内幹線道路網整備や富山駅付近連続立体交差事業の進捗など「道路ネットワークの整備等、県内交通基盤の整備等」を進めることとしている。また、③TPPを見据え、農業の生産コストの低減や農産物の高収益・高付加価値化などに資する農地の大区画化や汎用化のための農業生産基盤の整備、④林業の成長産業化の推進を図ることとしている。

- 3 今回の補正予算案を活用し、県民の安全・安心な暮らしを守る基盤となる災害に強い強靱な県土づくりや新幹線開業効果を持続・深化させ地方創生を進めるための社会資本の計画的な整備、TPPを見据えた高収益・高付加価値な農業の振興等にしっかりと取り組んでまいりたい。

## 問1 防災・減災対策について

- (2) 今回の補正予算には社会インフラの点検経費も計上しているのか、また、これまでの点検結果を踏まえた防災・減災事業の継続的・計画的な実施が必要と考えるがどうか、併せて問う。  
社会インフラを機能や健全度などの観点から、補修や修繕の必要性や優先度を明らかにするため、総点検が必要と考える。

### 【加藤土木部長 答弁】

- 1 公共土木施設の耐震対策や老朽化対策などの防災・減災対策については、本年3月に策定した富山県国土強靱化地域計画に基づき、計画的に実施しているところである。
- 2 老朽化対策としての公共土木施設の点検については、施設の損傷状況等を把握する上で大変重要であり、点検結果を踏まえ、補修や修繕の必要性・優先度を整理しているほか、施設の長寿命化計画の策定や見直しにも活用している。  
具体的な点検頻度としては、例えば道路橋りょうでは5年に1回目視、道路法面においては年2回、河川堤防では年1回と、それぞれ定期的に行っているところである。このため定期点検の経費は、当初予算で対応している。
- 3 今回の補正予算案では、こうした点検結果を踏まえ、施設の健全度や求められる機能等を総合的に勘案し、重要性、緊急性が高い箇所の補修や修繕を進めるため、道路施設、河川やダム施設、砂防施設、下水道施設などの老朽化対策として16億6千万円を計上している。
- 4 県としては、災害に強く強靱な県土づくりを推進するため、引き続き、定期的な施設点検や計画的な修繕など、公共土木施設の防災・減災対策に、継続的、計画的に取り組んでまいりたい。

## 問2 TPP・農林水産業について

本県の農業が持続的に発展し、農業者が意欲と展望をもって農業に取り組めるよう、今回の補正予算を契機に、どのように、TPPに対する県内農家の不安を払拭し、担い手の確保・育成に取り組んでいくのか、問う。

公明党農林水産部会は、TPP発効後の農産物品の輸出力強化や農業の人材育成について農水省等と議論し、国内農家の不安を払拭するため、農産品の高付加価値化や海外ニーズの把握・掘り起しなどの展開や、農業の経営ノウハウを持つ担い手の育成の必要性を訴えたところ。

【伍嶋農林水産部長 答弁】

- 1 TPPに対する県内農家の懸念や不安を払拭し、安心して農業に従事できるようにするためには、農業経営の安定化と体質強化を図ることが重要であると考えている。このため、県では、国のTPP対策事業などを積極的に活用しながら、①水田フル活用や園芸生産の拡大、②富山米のブランド力向上等による県産農産物の需要拡大、③海外市場への輸出も視野に入れた国内外での販路の開拓・拡大、④担い手への農地の集積・集約化の推進、⑤農業未来カレッジによる農業後継者の確保・育成や収益性の高い農業ビジネスモデルづくりに向けた担い手の取組みへの支援などに取り組んできているところである。また、今年度、地域農業の成長産業化戦略策定を支援するとともに、県としての基本的な対応方針を示すこととしているところである。
- 2 こうしたなか、今回の補正予算案では、農林水産業の競争力強化のための対策を積極的に活用し、①産地の競争力向上のための大区画化等の農業生産基盤整備、②高収益な作物・栽培体系への転換や、作業の効率化・省力化施設整備や機械導入の支援による経営強化、③畜産経営の生産基盤強化に資する施設整備を進め、農業の成長産業化に向けた取組みを後押しすることとしたところである。
- 3 今後とも、意欲ある農業者が将来にわたって夢と希望を持って安心して取り組めるよう、しっかり対応してまいりたい。

**問3 補正予算のすみやかな発注について**

今回の補正予算について、すみやかな発注体制をとる必要があると考えるが、どのように取り組むのか、問う。

今回の国の補正予算と連動した県の補正予算の迅速な発注が、災害に強い強靱な県土づくりをすすめ、県民の生命・身体・財産を守ることにつながるとともに、TPPの不安を払拭する大きな期待につながるものと考えている。

【石井知事 答弁】

- 1 今回の補正予算案は国の経済対策に呼应したものであり、社会資本の整備については、その効果を早期に発揮し、緊急的に整備を進める必要があるものなどを中心に、災害に強く強靱な県土づくりを進める事業などを多く盛り込んでいる。
- 2 公共事業等の早期施行については、今年度当初、予算効果の早期発揮等のため国から要請があったこともあり、本県としても、その安定的な発注とともに上半期発注率8割を目指して早期発注に努め、その結果、土木部と農林水産部を合わせて82.4%となり、目標を達成したところである。
- 3 補正予算案の執行にあたっては、その効果を早期発揮させるために、土木部や農林水産部を中心とする関係部局において、①設計図書の電子配付や一般競争入札のスケジュールの短縮による入札契約手続きの迅速化②概算数量発注など入札手続きの柔軟化などにより、引き続き速やかな発注に努めることとしているところである。
- 4 今回の補正予算案については事業の早期発注のためにも、本臨時会の開催をお願いしたものであるが、ご審議のうえ、議決をいただければ、直ちに必要な箇所付け等を行い、迅速な発注に取り組むことにより、県民の安全・安心な暮らしを守る基盤となる災害に強い強靱な県土づくりや地域活性化、さらにはTPPへの対応などのための社会資本整備を進めてまいりたい。

# ◆富山県における地熱発電事業の推進について

**富山県** …… 熱水資源開発導入ポテンシャル (150℃以上)、設備容量約 98 万 kW (全国第 2 位)  
※再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査 (環境省 H23 年)

県内には、全国第 2 位と言われる豊富な地熱資源がありますが、大部分が国立公園内にあるなどの理由から、開発には至っていなかったが、下記の通り自然公園法の規制緩和が行われた。

## 規制緩和の内容

平成 24 年 第 2 種・第 3 種特別地域内において、地域の合意形成など、優良事例の場合に地熱開発が可能となる。

平成 27 年 第 1 種特別地域の区域外からの傾斜掘削を容認

## 富山県再生可能エネルギービジョン (H26 年 4 月)

富山県再生可能エネルギー戦略会議での意見を踏まえて策定。

### ◎地熱関係重点プロジェクト「北アルプス地熱資源活用推進プロジェクト」

- ・地熱発電所建設に向けて、国の補助制度を活用した地熱発電所建設の検討を推進。
- ・温泉水を使った発電 (バイナリー式発電) の導入促進。
- ・地熱資源や地中熱を活用した、産業・地域振興に向けた取り組みの促進。

## 平成 33 年の整備・導入目標

県内初の地熱発電所 (バイナリー式発電含む) の建設や地熱資源等を活用した産業・地域振興モデルの事業化 (観光、農水産業、住まいの利活用)

## 平成 27 年度の実績

◎ CO<sub>2</sub>を排出せず、安定した発電が可能であり、県内に豊富な資源がある地熱発電開発を推進。

◎推進にあたっては、周辺の自然環境の保全に配慮する。

◎地熱開発可能性調査事業 (9 月補正) により県内 4 地域において専門機関による熱量調査を実施。

☞ 絞り込み ☞ 立山温泉地域の現地調査において、100℃近い噴気があり、文献調査においても深度 95 m で最高温度 150.5℃であった。☞地熱兆候も多く JOGMEC から高評価。

噴 泉

新 湯



100℃近い温度で噴出する噴泉



推定地下温度が 150℃以上の温泉が多数存在

## 平成 28 年度の実績 (地表調査)

(1) 地熱資源開発調査事業 (立山温泉地域) ☞事業費 約 8000 万円 (国の補助事業を活用)

(2) 調査地域 ☞立山温泉地域

(3) 調査内容 ☞国の補助事業を活用し、地表から地下の資源構造を解明 (電磁探査、重力探査、地質調査等)

JOGMEC に補助申請⇒ 5/19 に補助採択⇒調査を実施 (10 月までに現地調査を終了し、年内をメドに調査結果を解析中) ⇒平成 29 年度に地表調査結果を踏まえ、最適な開発地点を検討 ⇒国補助事業により掘削調査を実施する。



整理番号	11-5	使途項目	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	人件費
------	------	------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----

(事業内容)

第18期 自治政策講座in 横浜2

「自治体、地域課題の最先端と知子」

11月14日(A) 10:00~16:30

- ① 人口減少時代の都市縮小とまちづくり
- ② インバウンド観光の動向と「民泊」問題
- ③ 地域を元気にする新しい産学官連携「仙台堀切川モデル」

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		鉄道・バス代	1376円
			日本大通り~横浜~品川~日暮里(702円)
	受講料	20000円	
	宿泊料	8410円	三泊(ホテル7=) 1/4(A)
	食事代	3500円	1/4 昼食1500円 夕食2000円
	(合計)	33286円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を兼し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号 11-5

会派・議員名 公明党 青田 勉

活動名称	研修費
目的	第18期 自治政策講座 in 横浜又 「自治体・地域課題の最先端を知る」
日程	平成28年11月14日(月) ~ 平成28年11月14日(月)
場所 <small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small>	波止場会館(横浜市) ① 231-0002 神奈川県横浜市中区 海岸通り 1-1
相手方等 <small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small>	自治体議会政策学会
<p>行程・活動内容</p> <p>第1講義 人口減少時代の都市縮小とまちづくり(自治体に向けた政策) 「多極型コンパクトシティ」という発想, 中心市街地の人口維持や, さらに田園地政での週末居住という新しいライフスタイルと空家の活用方法について.</p> <p>第2講義 イスパランド観光の動向と「民泊」問題(観光圏に向けた課題) イスパランド急増に伴う宿泊施設不足を解決する手段として「民泊」が注目されている。しかしながら「民泊」をめぐっては, 無許可営業の横行等, エゴイスムな問題が指摘されており, 「民泊」の適正化に向けた「新条例」バリエーションが急務。</p> <p>第3講義 地域元気への新しい産学官連携「仙台城川モデル」 大学教授が自治体職員とともに直接企業を訪問し, 産学官連携による地域振興を手掛けてこられた実践とその手法。</p>	

※日帰りの政務活動を含む。

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

11-5

領 収 証

富山県議会 公明党 様

No. \_\_\_\_\_

★ 420,000-

但 第8期自治政策講座 in 横浜 受講料として

2016年 11月 14日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等(%)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

T112-0013 東京 藤文 東京音羽11-5-3

自治体議会政策  
会長



領 収 証

富山県議会 公明党 様

No. 1250

★ 84,100-

但 宿泊代として

28年 11月 14日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等(%)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

ホテルサニ

東京都荒川区西日暮里2丁目19番4号  
TEL 03-3807-3200



## 自治政策講座受講のご案内 (受講確認票及びお振込先)

吉田 勉 様



拝啓

爽秋の候、お元氣でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は、講座へのお申し込みいただきありがとうございます。

「自治体議会政策学会 第18期 自治政策講座 in 横浜2」に関する受講のご確認のご案内と、受講料のお振込みのお願いです。

1. 受講料は 11月4日(金)までに右記口座へお振込みください。
2. 裏面の 受講確認票に必要事項を記入の上、領収書の宛名をご記入いただき、お手数ですが、ファクシミリ・郵送でお早めにご返送ください。
3. 当日、受付にて領収書をお渡します。  
裏面にて領収書のお宛名を必ずご記載ください。
4. キャンセルの場合は必ず開催日の10日前までにご連絡ください。
5. 宿泊希望の方は、直接宿泊先施設にご予約ください。  
ご参考までに会場最寄りの宿泊施設をご紹介しますました。  
別紙、会場案内をご覧ください。

第1日目 11月14日は 9時30分より  
第2日目 11月15日は 9時30分より

受付をいたします。当日、受付にて「自治体名(議会議名)」と「お名前」を  
スタッフにお伝え下さい。

会長はじめスタッフ一同皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。

敬具

受講確認票を確認の上、FAXください。

受講料のお振込みは11月4日(金)まで。

領収書の宛名を必ずご記入ください。

キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

※ご連絡なくキャンセルされた場合、キャンセル料が発生します。

記

お振込先

振込口座：三井住友銀行 麹町支店

普通 1497025

口座名：自治体議会政策学会

以上

自治体議会政策学会 事務局担当：青木、中島

電話：03-5227-1827 Fax：03-5227-1828

ご記入後、FAX: 03-5227-1828 までご返信ください。

2016年 第18期自治政策講座 in 横浜2

◇ 受 講 確 認 票 ◇

自治体議会政策学会

〒112-00013 東京都文京区音羽 1-5-8

イマジン第2オフィス

TEL: 03-5227-1827

FAX: 03-5227-1828

貴方様の「第18期自治政策講座 in 横浜2」受講希望内容は次の通りです。  
ご確認いただき、項目毎の□に✓をご記入の上、FAX・郵送にてご返信下さい。

1. 日程 (参加お申込み日に○がしてあります。△はキャンセル待ちとなります。)

第1日目 11月14日 (月) ○

第2日目 11月15日 (火)

2. 受講料 (三井住友銀行 麹町支店 普通 1497025 自治体議会政策学会)

¥20,000 円 [11月14日分]

3. お名前、ご連絡先のご確認

ヨシダ ツトム

お名前: 吉田 勉 様 / 所属名: 富山県議会

ご連絡先: 〒930-0116 富山県富山市追分茶屋 69-3

TEL: 076-434-3909 / FAX: 076-482-2078

4. 領収書について

☆領収書の御宛名を下線部にお書きください。(当日、受付にてお渡し致します。)

御宛名 富山県議会 公明党

注: ご指定のない場合は、御宛名に議会名とお名前を記載した領収書となります  
団体でお申込みの場合、個別に領収書が必要な方はその旨をご記載下さい。  
ご指定がない場合は、団体で1枚となります。

5. 連絡事項、訂正箇所などをご記入ください

例: 日程変更・キャンセル・団体でまとめてお振込の際の口座名義など

当日(1/4)現金支払(20000円)  
とせ?下せム。

6. キャンセルについて

キャンセルが発生した場合、左記日程のキャンセル日にXをしてFAXにてお知らせ下さい。ご連絡がない場合、キャンセル料が発生します。

7. 団体でのお申込みについて

1) 団体申込みの場合、受講確認票は訂正がなければ代表の方1枚のご返信で構いません。訂正がある場合は、代表者と訂正される方の分をお送り下さい。  
個別に領収書が必要な方はその旨を5. にご記載下さい。

2) 領収書の個別発行のご指定がない場合は、団体で1枚となります。

3) まとめて入金される場合は、振込人名義を5. にご記載ください。

# 第13期 自治政策講座 in 横浜2

## 会場案内

受付開始：11月14日（月） 9時30分より（開講10時）  
11月15日（火） 9時30分より（開講10時）

会場：波止場会館 4階 大会議室

〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1

お問合せ先：03-5227-1827（自治体議会政策学会事務局）

（当日は学会携帯電話に転送されます。応答までに多少お時間がかかりますのでご了承ください。）

### ○会場アクセス（裏面地図参照）

■JR「関内」下車徒歩15分。

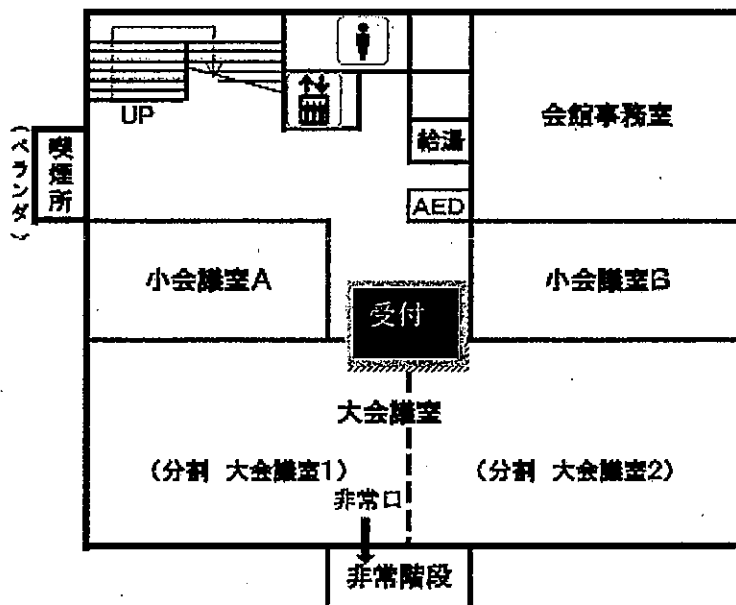
■みなとみらい線「日本大通り」下車徒歩7分。

新幹線：（約20分）「新横浜駅」（JR横浜線 約20分）→「関内駅」徒歩15分

飛行機：（約70分）「羽田空港」（東京モノレール 約25分）→「JR浜松町」（JR京浜東北線 約35分）→「横浜駅」（みなとみらい線 約10分）→「日本大通り駅」

バス：（約55分）「羽田空港」（連絡バス約50分）→「横浜」（JR京浜東北線 約5分）→「関内」

4 F

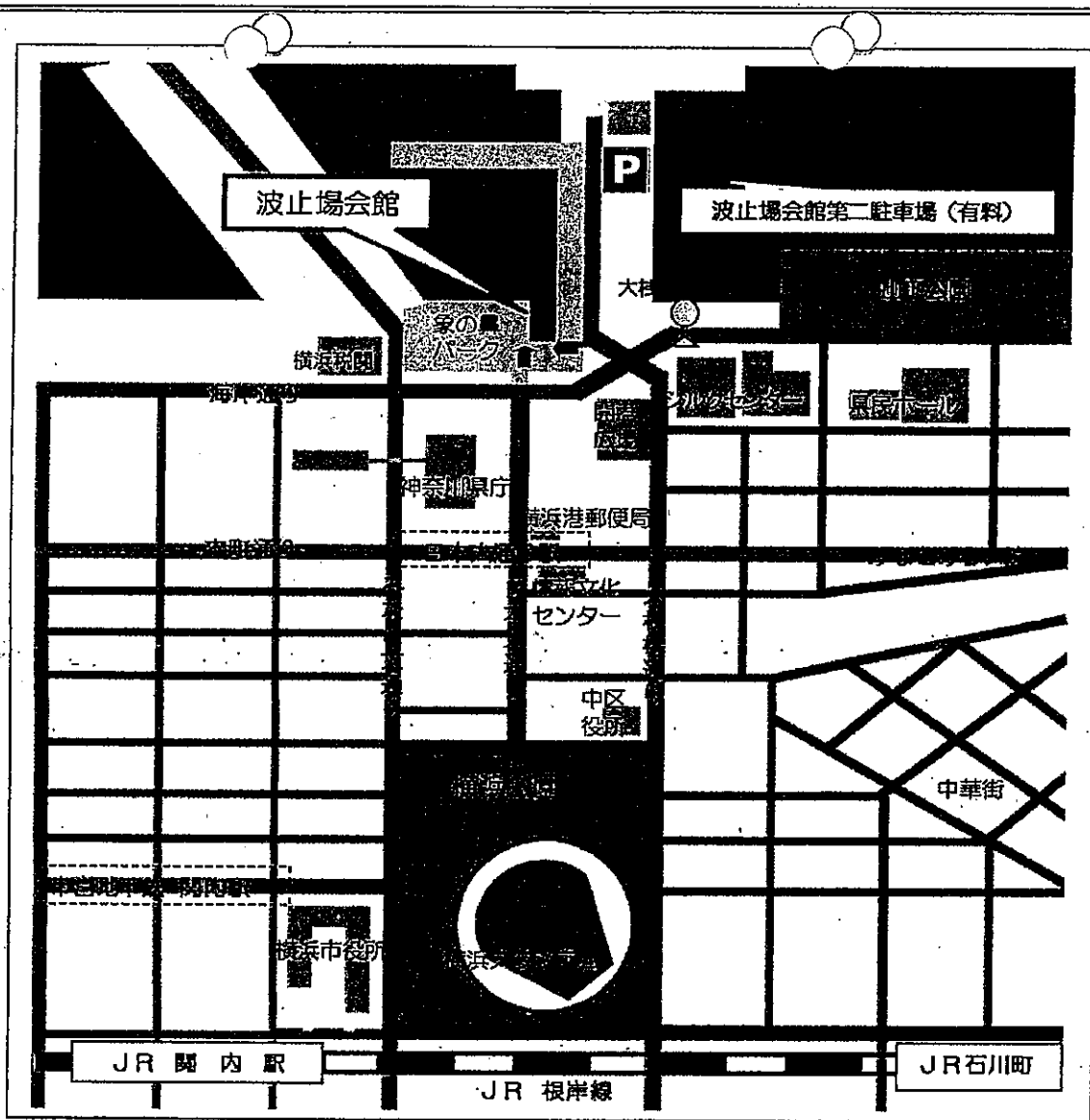


主催

自治体議会政策学会

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8 イマジン第2オフィス

TEL：03-5227-1827 FAX：03-5227-1828



(この他にも多数ございます。)

C. ホテル JAL シティ 関内横浜  
神奈川県横浜市中区山下町 72  
045-661-2580

D. 東横イン横浜日本大通り駅日銀前  
横浜市中区太田町 1 丁目 5-1  
045-662-1045

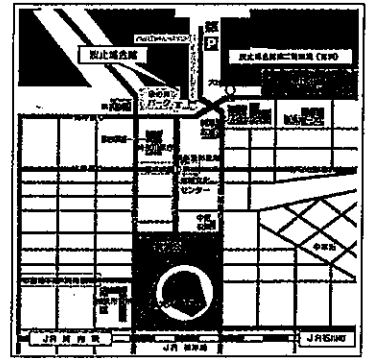
E. ホテル・モンレー横浜  
横浜市中区山下町 6-1  
045-330-7111

F. 東横イン横浜スタジアム前新館  
横浜市中区山下町 2.0 5-3  
045-664-1045

※学会HPの講座詳細ページには  
各ホテルのリンクがあります。  
リンクから料金や空き室情報も見られます。



# 第18期 自治政策講座 in 横浜2 「自治体・地域課題の最先端を知る」



みなとみらい線「日本大通り駅」より徒歩5分  
JR根岸線「関内駅」より徒歩15分

日時 2016年11月14日(月)～15日(火)

場所 波止場会館(横浜市)  
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1-1

お問合せ 自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827  
〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8 イマジン第2オフィス

東日本大震災から5年。自然の脅威に立ち向い、自然の恵と共生する社会を継続するため、政治は未来を見通す力を発揮することが求められる。特に、人口減少時代を迎える議会は、より

将来を見通した政策を生み出すことが切望される。本来の政治の力を養うため、これからの自治体を考える最先端の政策課題を提供するプログラムを企画しています。

11月14日(月) 10:00～16:30

## 第1講義

### 人口減少時代の都市縮小とまちづくり—自治体に問われる住宅政策

小林 秀樹(千葉大学大学院工学研究科教授)

人口減少時代における街づくりは発想の転換期。人口減少社会に相応しい都市構造への転換をすすめるため、地域内の二極分化を分析し、居住地像を明確にする必要がある。「多極型コンパクトシティ」という発想、中心市街地の人口維持や、さらに田園地域での週末居住という新しいライフスタイルと空き家の活用方法について伺う。

## 第2講義

### インバウンド観光の動向と「民泊」問題—「観光立国」に向けた課題

東 徹(立教大学観光学部教授・立教大学観光研究所所長)

インバウンド急増に伴う宿泊施設不足を解決する手段として「民泊」が注目されている。しかしながら「民泊」をめぐるのは、無許可営業の横行等、様々な問題が指摘されており、「民泊」の適正化に向けた「新たなルール」づくりが急務となっている。これからの観光振興を考える上で「民泊」をどのようにとらえるのか、そのポイントを伺う。

## 第3講義

### 地域を元気にする新しい産学官連携「仙台堀切川モデル」

堀切川 一男(東北大学大学院工学研究科教授)

「空洞化にあえぐものづくり産業を回復し300万人規模の雇用を創出するためには、新しい小さな産業を多数生み出すことが必要であり、その主役を担うのは全国各地の開発意欲のある中小企業」と語る講師。大学教員が自治体職員とともに直接地域企業を訪問し、産学官連携による地域振興を手掛けてこられた実践とその手法を伺う。

11月15日(火) 10:00～14:40

## 第4講義

### 地域で老いる—介護と医療の連携へ自治体の役割

高橋 紘士(一般財団法人高齢者住宅財団理事長)

「地域包括ケアシステム」とは、地域の実情に応じて、「高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制」と定められた。地域包括ケアの第一人者から現在の全国の自治体の状況と、在宅医療体制の整備を含め自治体の責務を伺う。

## 第5講義

### 自治体の議会が今問われていること—減っていく議員定数と民主主義

竹下 譲(自治体議会政策学会会長)

2000年の分権改革以降、自治体の議員の定数・実数ともに半減した。分権の受け皿として自治体議会の力をつけることが求められたが、議会の役割は十分に果たしているのか。自治体議会の役割について、日本の議会制民主主義の発祥から現在までをひも解きながら、現状の議会改革の方向を提言する。



**小林秀樹** (千葉大学大学院工学研究科教授) ————— 11月14日(月) 第1講義

1954年 新潟県生まれ。1977年 東京大学工学部建築学科卒業  
和設計事務所を経て、1985年 同大学博士課程修了(工学博士)。  
1987年 建設省建築研究所に入所。国土交通省国土技術政策総合研究所を経て現在、千葉大学大学院工学研究科 建

築・都市科学専攻教授。主な著書は「もうひとつの住まい方のすすめ」(AHLA推進協議会、2014)、「居場所としての住まい」(新曜社、2013)、「居住環境整備論」(放送大学教育振興会、2012)など。

**東徹** (立教大学観光学部教授・立教大学観光研究所所長) ————— 11月14日(月) 第2講義

1962年岩手県陸前高田市生まれ。日本大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学。北海学園北見大学(現・北海商科大学)教授、日本大学商学部教授を経て、2010年4月から立教大学観光学部教授。14年4月から立教大学観光ADRセンター副センター長、15年4月から立教大学観光研究所所長(いずれも現在に至る)。専門

は観光マーケティング。主な著書は『現代マーケティングの基礎知識』(共編著、創成社)、『新現代観光総論』(共著、学文社)、『旅行産業論』(共著、(公財)日本交通公社)、『「観光まちづくり」への進化』、『地域経済の進化と多様性』(泉文堂)、「地域ブランド戦略の展開」『新時代の観光—課題と挑戦—』(同文館出版)など。

**堀切川一男** (東北大学大学院工学研究科教授) ————— 11月14日(月) 第3講義

1956年青森県生まれ。東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。東北大学工学部助手、講師、助教授を経て1990年7月から2001年5月まで山形大学工部助教授。工学博士。専門はトライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑に関する総合科学技術)。これまで行った主な研究は、摩耗形態図による摩耗理論の体系化に関する研究、長野五輪日本チーム用低摩擦ボブスレーランナーの開発、米ぬかを原料

とする硬質多孔性炭素材料「RBセラミックス」の開発と応用など。産学官連携による開発、製品化は100件以上。文部科学大臣賞(科学技術振興功績者表彰)、内閣府科学技術政策担当大臣賞(産学官連携功労者表彰)、イノベーションコーディネータ大賞・文部科学大臣賞、経済産業省ものづくり日本大賞(優秀賞)、などを受賞。

**高橋紘士** (一般財団法人高齢者住宅財団理事長) ————— 11月15日(火) 第4講義

1971年東京大学卒。法政大学教授、立教大学教授、国際医療福祉大学大学院教授などを経て現職。全国社会福祉協議会研究情報センター所長、社会福祉医療事業団(現福祉医療機構)理事などを歴任。現在、日本福祉介護情報学会代表理事、政策 評価に関する有識者会議座長(厚生労働省)、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

委員会副委員長、東京都社会福祉審議会委員長、東京都障害者施策推進協議会会長、富山県高齢者保健福祉計画等推進委員会委員、横浜市生活あんしんセンター業務監督審査会会長、文京区地域福祉計画推進委員会会長、世田谷区保健医療 サービス向上委員会会長、近江八幡市地域包括支援センター運営委員会会長などを兼務。

**竹下讓** (自治体議会政策学会会長) ————— 11月15日(火) 第5講義

1940年生まれ。1968年東北大学大学院法学研究科修了。政治学博士(明治大学)。1967年より東京市政調査会主任研究員、東京都立大学講師、東京市政調査会主任研究員、明治大学講師、拓殖大学教授、ロンドン大学客員教授、神奈川大学教授などを経て、2001年から四日市大学教授。1998年から自治体議会政策学会の会長として、

全国の自治体議員の研修にあたる。2004年～2005年度三重県教育委員会委員長。拓殖大学地方政治センター長を経て四日市看護医療大学地域研究機構・地域政策研究センター長。議会の仕組みを「議論」にふさわしいものにと、議会改革を説く。

お申し込み 要領	1. お申し込み方法下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
	2. 受講料2日間参加/30,000円 1日のみ参加/20,000円
	3. お申し込み後に送付します受講確認票に従って受講料をお振込ください。

<b>申し込み用紙</b>		<b>FAX : 03-5227-1828</b>	第18期自治政策講座 in 横浜2
▼氏名(フリガナ) ヨシダ トモ 吉田 勉	▼電話 076-434-7909	▼FAX 076-482-2078	
	▼E-mail yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp		
▼住所 〒930-0116 富山市 追分茶屋 69-3	▼所属(議会・団体等) 富山県議会		
申込日に☑を 入れてください	全日程参加 <input type="checkbox"/> 11月14日(月)~15日(火)	1日のみ参加 <input checked="" type="checkbox"/> 11月14日(月)のみ参加	<input type="checkbox"/> 11月15日(火)のみ参加

整理番号 11-6 使途項目 調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費

(事業内容)

県政報告書(10A31A臨時会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅配便郵送料	134,335円
	折込み料金	42,105円	
	(合 計)	176,440円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)







領収書貼付台紙

直ならぬように貼付すること。

DCMカーブ

泉羽店 076-434-4000

営業時間：9：30～20：00

カーブ新規入会メンバーの店舗内

お得なカーブカードに入会されますと

もれなく1000ポイントが貯まります！

現金でもポイントが貯まります！

2016年11月22日(火)10:25 150093

領収証

016 キヤノン 純正インク ¥2,098

4960999819716

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669984

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669977

合計 ¥4,066

(内税 ¥4,066)

(税合計 ¥4,066)

お預り ¥10,000

お釣り ¥5,934

3点 お買上点数

お環境の住まいの困った、を解決！

日常の生活シーンをサポートします

カーブ『住まいの便利サービス』受付中！

詳しくは店舗サービスカウンター又は店頭の

手書きで覽下さい。

店№00803 150093

領収証

016 キヤノン 純正インク ¥2,098

4960999819716

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669984

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669977

合計 ¥4,066

(内税 ¥4,066)

(税合計 ¥4,066)

お買上点数 3点

手書きで覽下さい。

店№00803 150093

領収証

富山県議会 公明党

領収証 様

¥4,066-

301円を含まず)

〒448-0046 愛知県刈谷市日高町4-101

DCMカーブ 泉羽店

TEL 076-(434)-4000

※保証書等でお預りいただいた領収書は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-1419-0174

2016年11月22日(火)

\*領収証明細\*

2016年11月22日(火)10:25 150093

016 キヤノン 純正インク ¥2,098

4960999819716

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669984

016 キヤノン 純正インク ¥984

4960999669977

合計 ¥4,066

(内税 ¥4,066)

(税合計 ¥4,066)

お買上点数 3点

手書きで覽下さい。

店№00803 150093

領収証

口座振替案内書

公明党富山県議員会

平成28年度政務活動費交付金（1、2、3月分）については、  
下記のとおり指定の預金口座に振り込みとなりますので、ご案内します。

富山県議会事務局総務課

支払日 平成29年1月4日（水）

振込先 北陸銀行県庁内支店 普通預金 4195970

振込金額 ¥900,000円

内 訳


1月分 300千円×1人分=300,000円



2月分 300千円×1人分=300,000円

3月分 300千円×1人分=300,000円





吉田 勉 様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書
新聞雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
		3,497 円
		2016 年 10 月分
上記の金額だけをお支払いいただきました。 ありがとうございます。		
930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL:076-432-8383		
領収日	11/4	扱者 

2016年11月分 領収証		発証No 00004567-201611-1
吉田 勉 様		
銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072
		合計金額 <b>¥3,072</b> (消費税込み)
<small>※お客様の個人情報、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・印刷物のご案内などに利用させていただきます。</small> 新聞購読料は口座振替が便利です クレジット決済もできます		
毎度ご購読有難うございます。		(有)井上新聞販売店
上記金額正に領収致しました。		富山県富山市吉作486-38 076-436-2618
年 月 日 領収		
	領収印 	

領収証 16年 11月分 2016年11月20日 Na 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3


繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

 富山新聞販売 (株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



ご愛読ありがとうございます。  
12月分の集金は年内にお伺いいたします。

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

1-1

日本共産党発行の **しんぶん赤旗** 領収書

吉田 勉 様

新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」	部数 1	金額 3,497
----------------------	---------	-------------

3,497 円

2016 年 11 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山県委員会  
TEL 076-432-8383

領収日 / 投者

2016年12月分 領収証 発証No 00004567-201612-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 **¥3,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版特等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証 16年 12月分 28年12月30日 Na 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140




ご愛読に感謝いたします。新年を迎えるにあたり、皆様のご多幸をお祈り致します。

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

1-1

<p style="text-align: center;">吉田 勉 様</p>		<p>日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b></p>	
		<p style="text-align: center;">領 収 書</p>	
新聞 雑誌名	部数	金額	<p style="text-align: center;">3,497 円</p>
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	<p style="text-align: center;">2016 年 12 月分</p> <p>上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p>930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL 076-432-8383</p>
			<p>領収日 12 / 28 扱者 </p>

整理番号	1-2	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費	広報費	事務費・人件費
------	-----	------	---------------------------	-----	---------

(事業内容)

県政報告 製作費

H28年 11月 定例会 経済建設委員会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
	県政報告 製作費	20,000円	5000部作成
	企画 編集料	60,000円	一式
	封筒 製作費	50,000円	5000部作成
	消費税	24,800円	8%
	《合計》	334,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を兼し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

○ならないように貼付すること。)

1-2

# 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

富山県 謀公 公明党 様

29 年 1 月 6 日

¥334,800

内 訳

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_

手形 \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

但し

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙



## 三ナト印刷社

代表 山 田 義 博

〒931-8334 富山市千原橋2丁目1番1号(警察署前)

TEL & FAX (076) 437-6777

係 印



## 請 求 書

No. \_\_\_\_\_

29年 / 月 日

富山県議会公明党 様

下記の通り御請求申し上げます

三 才 ト 印 刷 社

代表 山 田 幸 郎

〒931-8334 富山県宇原町2丁目1-1

TEL &amp; FAX (076) 4-37-5777

合計金額 ¥334,800

月日	品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要
1	県政報告	5000部		200000	
2	企画・編集料	1部		10000	
3	封筒 名-3号	5000部		50000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
	小 計			310000	
	消 費 税			24800	
	合 計			334800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

# 県政報告

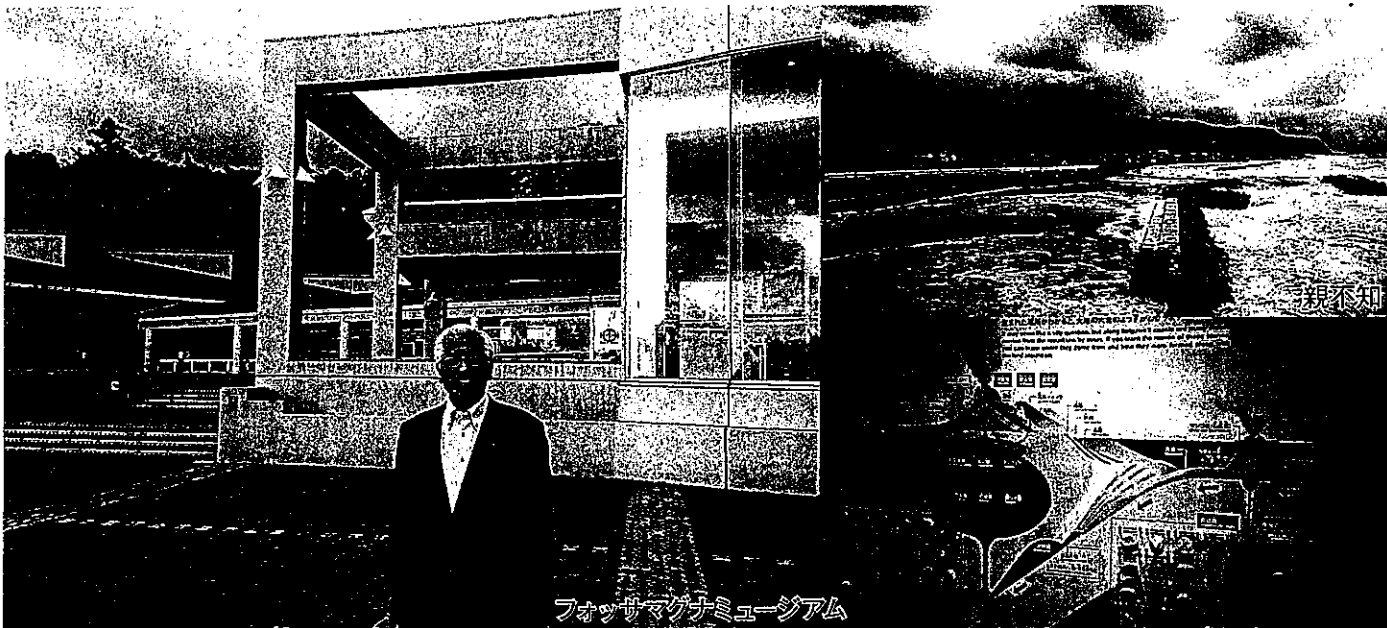


◆公明党富山県議員会 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党(平成 28年 12月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 Tel (076) 444 - 3373

◆「とやま新時代」にふさわしい「人が輝く元気とやま」の創造に向け、ポスト新幹線となる将来ビジョンを！



◆立山黒部を愛する会の皆様と「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク」を視察。大地の形や成り立ち、その大地の上に生きる人間や生き物の営みと、歴史・産業や自然災害への防御などを総合的に教育や地域振興に活かす取り組みを行っている地域がジオパークです。「富山湾」と「立山連邦」をポスト新幹線の核に据え、観光や文化など様々な施策を展開し、県政の更なる飛躍に繋げたい！立山黒部は立山砂防の世界文化遺産の推進や世界ジオパーク、豊富な熱資源を有した地熱発電の開発など様々な可能性を秘めており、この魅力を県政の新たな飛躍に繋げたい！

## ◆平成 28 年 11 月富山県議会・経済建設委員会での「吉田つとむ」の質問より

### 問1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成について

(1) 本県産業の発展のためには、次世代自動車、航空機など新たな成長産業への参入に向けた取り組みを進めることが重要であると考えますがどうか、問う。日本海側屈指のものづくり県である本県の強みを活かすべきである。

【柿沢商工企画課長 答弁】

1 本県は、医薬品産業のほか、アルミ等の金属製品などの基礎素材型の産業を中心に、機械、電子・電気などの産業が集積しており、日本海側屈指のものづくり県となっている。

このため、こうした県内企業の技術を活かし、高機能素材などの技術の高度化に取り組むとともに、第4次産業革命を見据え、IoT、AIなどの技術を活用することにより、次世代自動車、航空機産業、医薬・バイオ、ロボットなどの、新たな成長産業への参入を促進していくことが重要である。

2 このため、例えば、

① 次世代自動車については、「とやま次世代自動車研究会」を設置し、技術情報に関するセミナー、大手

自動車部品メーカーとの商談会の開催などに取り組んでいる。

- ② また、航空機産業については、航空機産業研究会を設置し、航空宇宙関係の大規模商談会への出展助成や、航空機産業アドバイザーによる個別指導などに取り組んできたほか、本年4月に、民間企業により航空機産業の共同受注グループ「ソラトヤマ」が設立されたことから、その取組みへの支援などに取り組んでいる。
- 3 さらに、9月補正予算において、ものづくり研究開発センターに「製品機能評価ラボ（仮称）」、薬事研究所に「未来創薬開発支援分析センター（仮称）」、総合デザインセンターにデザイン交流創造拠点を整備することとしており、県内企業の技術開発支援を強化していくこととしている。
- 4 県としては、今後とも、本県の強みを活かし、県内企業の成長産業分野への参入支援に、積極的に取り組んでまいりたい。

## 問1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成について

(2) 本県における水素ステーションの整備について、県としてどのように取り組んでいくのか、問う。燃料電池自動車の普及拡大のためには、燃料補給のための水素ステーションの整備が重要であるが、国補助金による支援は四大都市圏とその周辺に限られている。

【柿沢商工企画課長 答弁】

- 1 水素エネルギーは、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待されていることから、FCV（燃料電池自動車）の普及拡大とともに、水素ステーションの整備を進めていくことは重要である。
- 2 しかしながら、水素ステーションについては、①整備及び運営費用が高額であること、②また、整備・運営に対する国の補助が、現在は原則四大都市圏に限られていることなどから、これまでも国に対し、本県も含め、全国への普及に向けた取組みの強化を要望してきている。
- 3 また、県では、本年度、県内企業・研究機関等からなる「次世代自動車研究会」を、「次世代自動車・エネルギーインフラ研究会」に組織を拡充し、水素ステーションの整備に向けた研究にも取り組んでいる。こうした中、本年2月、県内での水素ステーションの設置を目指し、「富山水素エネルギー導入促進協議会」が民間主導で設置されたことから、県では、この協議会と連携し、シンポジウムの開催など普及啓発のほか、会員企業とともに先進地視察や研究会の実施など、水素ステーションの整備に向けた取組みを進めている。
- 4 県としては、今後とも、国の動向を注視しつつ、県内企業による協議会とも連携し、水素ステーションの整備の促進に向け、積極的に取り組んでまいりたい。

## 問1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成について

(3) 県内中小企業がIoTを活用し、生産性向上や新技術・新製品の開発に取り組んでいくため、企業ニーズを把握するとともに、産学官が連携し、支援していくことが大切と考えるが、県としてどのように取り組んでいくのか、問う。東北地方では、大学が企業を訪問、ニーズを把握し、新たな技術開発の端緒としている例がある。県内中小企業では、資金面の問題もさることながら、何からどのように取り組んだらよいか悩んでいるのではないか。

【柿沢商工企画課長 答弁】

- 1 第4次産業革命の進展を見据え、県では、中小企業等のIoT導入促進に向け、去る7月に県内企業、関係団体、大学などによる、「IoT活用ビジネス革新研究会」を設置し、「富山型モデル」の検討を進めている。
- 2 こうした検討にあたっては、県内企業、特に中小企業のニーズや課題を把握した上で、取組みを進めることが大事であると考えており、県では、昨年度及び今年度、県内中小企業を中心に、約50社へのヒアリングを



実施したところである。さらに、10月には、全国的な民間組織と連携し、県内中小企業など25社に参加いただき、IoT導入に向け議論するワークショップを開催し、県内中小企業のニーズ把握に努めている。

3 こうしてお聞きした県内企業の意見では、

① 生産性向上に向けては、導入初期段階では、足元の生産・在庫管理などの業務改善が課題であり、その解決のためIoTを活用したい。

② また、IoTを活用した新製品・新サービスの提供も検討したい。

③ そして、こうしたモデル・事例を示してほしい。

④ このほか、10月に開催したワークショップのように、企業が集い、考える場づくりが必要である。

などの意見をお伺いしており、こうしたご意見を踏まえ、「富山型モデル」の検討を進めていきたいと考えている。なお、県のIoT研究会において、県内大学等からは、大学等が県内企業を回って、ニーズを把握した上で、IoT活用に関する共同開発を行っていききたいとのご意見をいただいている。

4 県としては、今後とも、県内企業のご意見をお聞きし、大学等も交えた産学官連携の上、県内中小企業がIoTを活用し、生産性の向上や、新技術・新製品の開発に取り組んでいけるよう、しっかりと支援してまいりたい。

## 問2 都市計画道路について

都市計画道路綾田北代線の整備について、今後の見通しを、問う。富山北大橋の整備などにより、地域の経済、産業、文化交流の発展に重要な役割を果たしているが、長い間、事業の進捗が見えない。

【長谷川都市計画課長 答弁】

1 都市計画道路綾田北代線は、富山市綾田町を起点とし富山市北代を終点とする、富山駅北側の市街地と呉羽地区を連絡する重要な幹線道路である。これまでに、起点の綾田町から富山市桜谷みどり町までの延長約3.8kmの区間については、県や市の整備により既に供用されているところである。

2 現在、桜谷みどり町から北代までの区間については未供用となっているが、このうち、桜谷みどり町から市道石坂安養坊線までの延長340mの区間については、県の街路事業において、これまで調査・設計を実施し、昨年度から地元の了解を得て用地測量を実施してきたところである。

しかしながら、今年度になり、地元から道路を横断する地下道の新設の要望など新たなご意見をいただいたところである。

3 こうしたことから事業を進めるうえで難しい課題も生じているが、県としては、富山市と十分連携して、地元関係者のご理解を得ながら事業を進めていきたいと考えており、今後とも粘り強く事業の推進に努めてまいりたい。

## 問3 呉羽地区の防災対策について

(1) 本年7月下旬の豪雨時、新鍛冶川はどのような状況であったのか、また、昨年、供用を開始した富山市の貯留池は下流の洪水防止に効果があったのか、問う。

【山谷河川課長 答弁】

1 7月26日から27日にかけての降雨では、立山土木事務所で一時間あたり61mmの降水量を記録するなど、立山町を中心に富山市や上市町の多くの地域で豪雨となった。この時の雨では、呉羽地区に近い富山市石坂地内にある富山地方気象台でも一時間あたり42mmの雨が降っており、委員ご指摘の新鍛冶川へも相当の雨水が流れ込んだものと推察される。

2 お尋ねの新鍛冶川については排水を受け持つ河川であり、県道中沖呉羽線の高木橋から下流が県管理の二級河川、上流が富山市管理の準用河川となっている。さらに、昨年6月に供用を開始した貯留池付近から

上流については富山市管理の下水道の雨水幹線となっている。

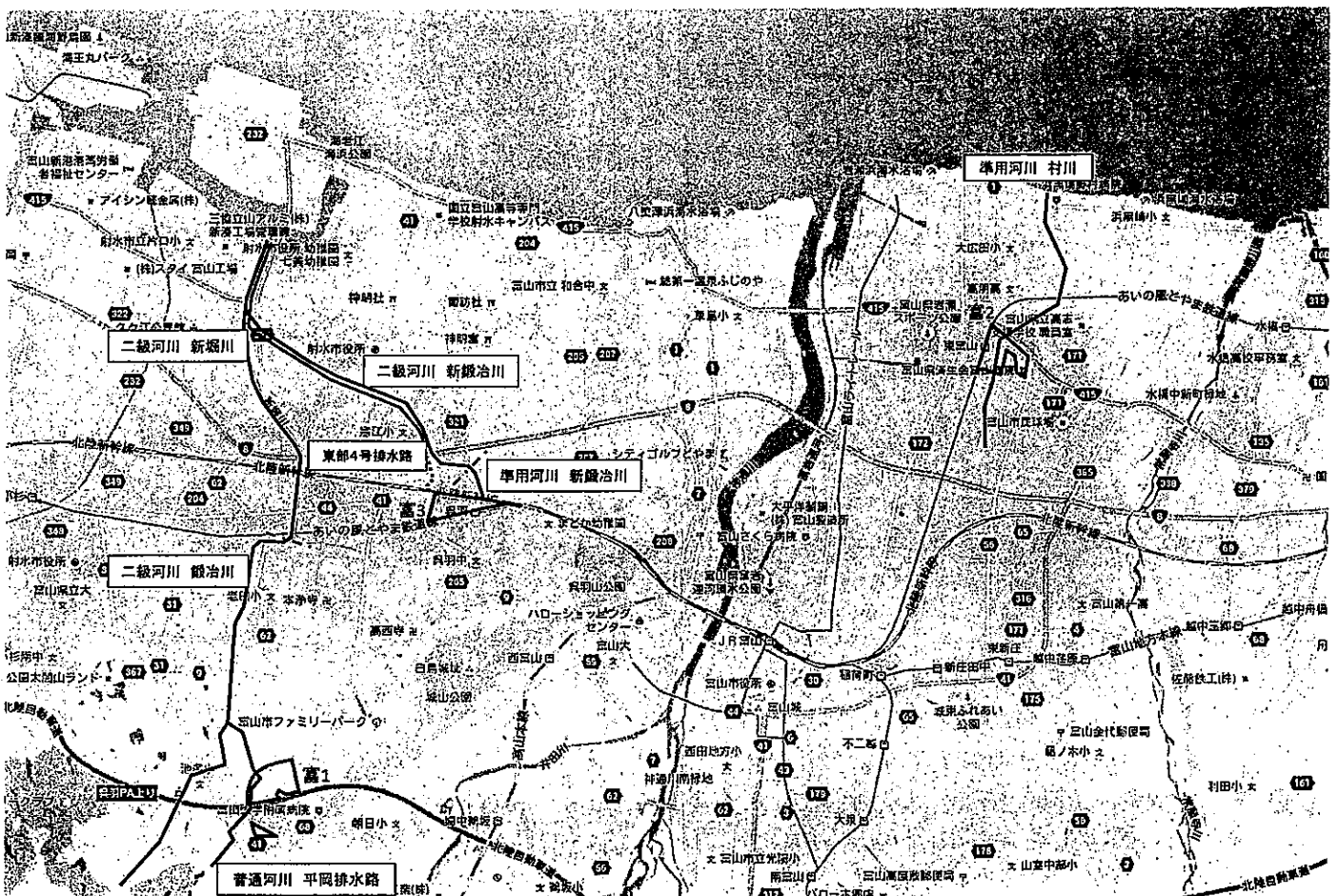
- 3 新鍛冶川流域では、過去に県と市の管理境の高木橋周辺で浸水被害が発生しているが、7月の豪雨では、富山市や沿川の各自治会などから県の土木センターへ、浸水被害が発生したとの情報は入っていない。富山市からは、当時、この雨水幹線から貯留池への流入があったと聞いており、満水で165cmのところ85cm溜まったとのことで、貯留池での洪水調整が下流の水位低下に寄与したものと考えている。

### 問3 呉羽地区の防災対策について

(2) 本年9月に富山高岡広域都市計画区域の市街化区域に編入された呉羽駅北側や富山西インターチェンジ周辺で、今後、大規模な開発が想定され、降雨時に河川等に集中する流量の増加が懸念されるが、対策はとられているのか、問う。

【長谷川都市計画課長 答弁】

- 1 今般の富山高岡広域都市計画区域の市街化区域と市街化調整区域との区分、いわゆる線引きの見直しに当たっては、市街化により想定される流出増に対し、河川や農業用排水路の整備状況を踏まえ、調整池設置などの治水対策の調整を河川管理者等と実施している。
- 2 委員ご質問の呉羽地区の2箇所についても、富山市において、概略の土地利用計画の段階ではあるが、治水対策として、排水先となる鍛冶川や新鍛冶川などの現況流下能力を踏まえ、必要となる調整池の設置を検討されている。
- 3 今後、実際の開発に当たっては、開発者において、治水対策も含めたさらに詳細な開発計画が検討され、都市計画法に基づく開発許可手続きなどの段階で、必要に応じて河川管理者等との協議が行われることになる。
- 4 さらに、5ヘクタール以上の民間による大規模開発の場合には、開発許可手続きに先立ち、富山県土地対策要綱に基づく知事への届出が義務付けられている。
- 5 県としては、これらの協議や届出の審査をとおして、開発行為に伴う流出増対策が確実に実施されるよう指導してまいります。



領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

**吉田つとむ**



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3  
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078  
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

整理番号	1-3	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

県政報告書(11月議会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅郵便運賃料金	137,417円
	折込み料金	43,071円	
	《合計》	180,488円	

《領収書貼付特》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)





# ご請求書

---

〒 930-0116  
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。  
平成29年 1月のご請求書をお届けさせていただきました。



## ヤマト運輸株式会社

富山主管支店  
担当店：富山呉羽センター  
〒939-0285  
射水市  
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：  
0766-55-1934  
集荷・配送についてのお問合せ：  
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス  
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

---

整理番号	1-4	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	-----	------	--

(事業内容)

全国地方議会議員免カ強会(全地免カ)主催セミナー

1月26日(木) 10:00~12:30

地方創生戦略の現在と地方議員に求められる役割

14:00~16:30

地方創生施策後の新しい産業施策のあり方

1月27日(金) 10:00~12:30

地方議員が知りたい現場の望む医療・介護政策

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25,260円
	鉄道バス代	308円	東京駅~日暮里 154円 x 2
	受講料	45,000円	1講座 15,000円 x 3
	振込手数料	758円	
	食事代	6,000円	朝食 1,000円(1/27) 昼食 1,500円 x 2 (1/26/27) 夕食 2,000円(1/26)
	宿泊代	7,950円	1泊(1/26)
		85,274円	
	(合 計)	97,790円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



整理番号 1-4

会派・議員名 公明党 吉田勉

活動名称	研修費
目的	地方創生戦略と医療介護政策
日程	平成29年 / 月26日(木) ~ 平成29年 / 月27日(金)
場所 <small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small>	東京駅 貸会議室 八重洲口
相手方等 <small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small>	全国地方議会議員勉強会
<p>行程・活動内容</p> <p>1月26日(木) 10:00 ~ 12:30 地方創生戦略の現在と地方議員に求められる役割</p> <p>14:00 ~ 16:30 地方創生施策後の新しい産業施策のあり方</p> <p>1月27日(金) 10:00 ~ 12:30 地方議員が知るところの現場から望む医療・介護政策</p>	

※日帰りの政務活動を含む。

領 収 証

No. 962567 I

RECEIPT

平成 29 年 1 月 17 日

ご氏名 富山県議会公明党 様

1-4

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金 額 ￥ 25,260-

ただし 1/26 TR券 (富山県庁)代として

- ① 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(カード)
- (※ )
- 5. その他( )

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 **富山支店** 営業本部

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.



責任者印

担当者名

領 収 証

富山県議会公明党様

No. 0124

★ ￥ 7,950-

但 借泊代として

2017年 1 月 26 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入  
印 紙

コクヨ・ウケ-1097

ホテルサニ

東京都荒川区西日暮里2丁目19番4号  
TEL 03-3807-3290



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

富山県議会公明党 様

2017年 1月 26日

金額

¥ 15,000-

収入  
印紙

但 2017/1/26・10時～勉強会参加費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額( %)

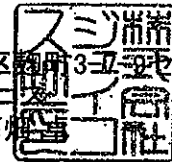
全国地方議会議員勉強会  
(事務局)

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-5-9 センダビル4F

株式会社ジェイ

代表取締役 高



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

富山県議会公明党 様

2017年 1月 26日

金額

¥ 15,000-

収入  
印紙

但 2017/1/26・14時～勉強会参加費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額( %)

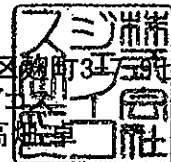
全国地方議会議員勉強会  
(事務局)

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-5-9 センダビル4F

株式会社ジェイ

代表取締役 高



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

富山県議会公明党 様

2017年 1月 27日

金額

¥ 15,000 -

収入  
印紙

但 2017/1/27・10時～勉強会参加費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額( %)

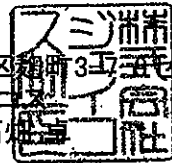
全国地方議会議員勉強会  
(事務局)

〒102-0083

東京都千代田区神田3-5-5モンダビル4F

株式会社ジェイエス

代表取締役 高橋



北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付
お振込	0013715		29-01-16
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
振替枚数		消費枚数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
004001000000	010201000101		
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
14:02	¥756円	¥45,000円	
おつり	お取引後残高*		
¥0円	円		

お願ひ... 通帳へ記入されるまで大切に保管ください。  
ATM振込の組戻しはご利用控えを保持ください。

手数料のうち振込手数料 ¥756  
000021

三菱東京UFJ銀行  
駒沢大学駅前支店  
普通 0469618  
カシイイコ 様

ヨリタツトム 様

電話番号

裏面もあわせてご覧ください。

北(2015)92 1 28.6 100x500 CX

FAX送付のご案内

送信日：2017/1/20

<TO>

吉田 勉 様

<FROM>

全国地方議会議員勉強会（全地勉）

運営会社：株式会社ジェイコス

東京都千代田区麹町 3-7-9 センダビル 4F

TEL：03-5226-0855

FAX：03-5212-4388

<SUBJECT> 受講票を送付いたします

<MESSAGE>

全国地方議会議員勉強会（全地勉）事務局を担当する、株式会社ジェイコスでございます。この度は勉強会にお申込みいただき、誠にありがとうございます。

お申し込みをいただきました講座の受講票をお届けいたします。

この受講票を当日受付にて確認させていただきますので忘れずにお持ちください。※可能であればお名刺を1枚当日お持ちください。

当日はどうぞお気を付けてお越しください。

ご来場お待ちしております。

計 2 枚（本紙含む）送信いたしました。

URL：http://www.zenchiben.com/

E-mail：[REDACTED]

全国地方議会議員勉強会（全地勉）より勉強会の受講票を送付いたします。

## 全国地方議会議員勉強会 受講票

この度は勉強会へのお申し込みありがとうございました。

この受講票を当日受付にて確認させていただきますので忘れずにお持ちください。ご来場お待ちしております。

2017年1月26日（水曜日） 講師： 細川 昌幸 氏 合同会社政治文庫代表			
第一講	○	10:00~12:30	地方創生戦略の今後と地方議員に求められる役割
第二講	○	14:00~16:30	地方創生推進のための新しい産業施策のあり方
2017年1月27日（金曜日） 講師： 三原 弘 氏 公益財団法人東京財団研究員 兼 政治家プロデューサー			
第一講	○	10:00~12:30	地方議員が知っておきたい現場が読む選挙・介護政策（基礎編）
第二講		14:00~16:30	地方議員が知っておきたい現場が読む選挙・介護政策（応用編）

参加者名

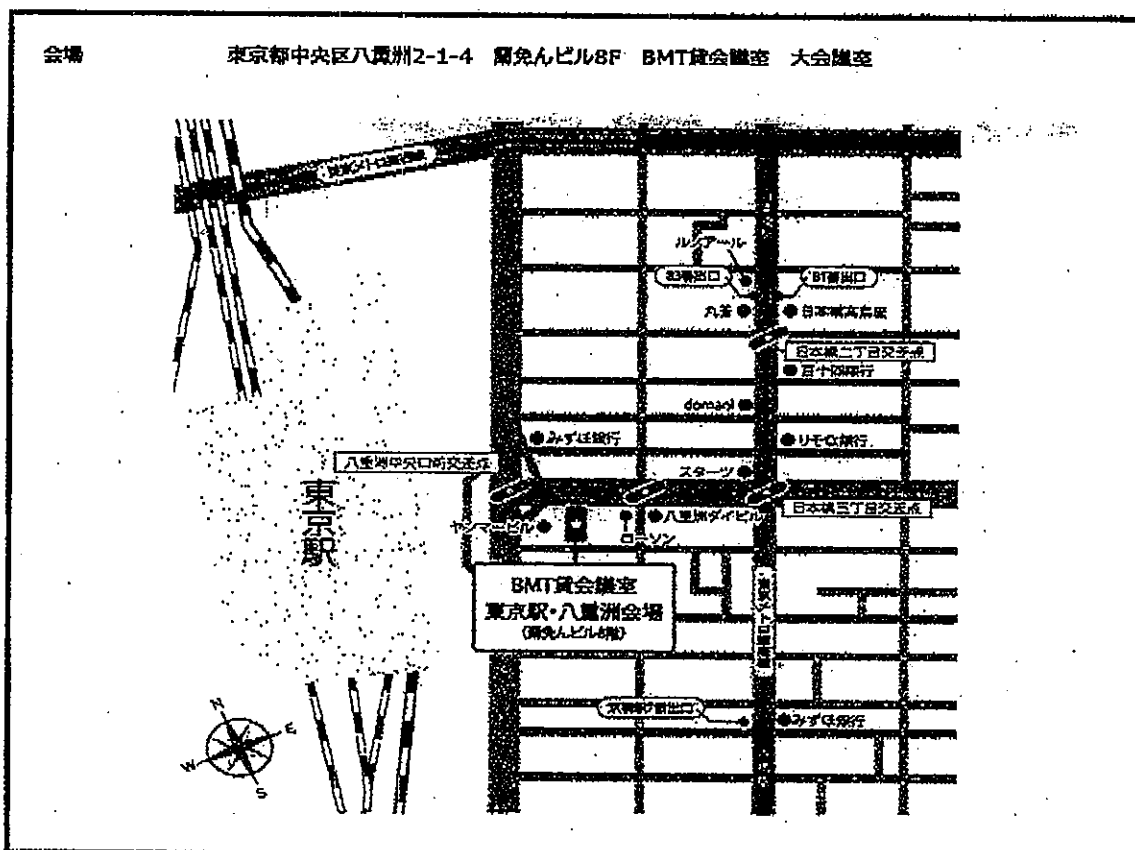
吉田 勉 様

所属会名

富山県議会

### ご注意

- ・勉強会資料 当日、印刷したものをお配りいたします。
- ・当日領収証をお渡し致します。預名、但し書きにご指定がある時は2日前までに事務局までご連絡下さい。



事務局の名称

全国地方議会議員勉強会（全地勉：ゼンチベン） 事務局：河部（カリベ）・佐藤（サトウ）

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-9 センダビル4F TEL: 03-5226-0855 FAX: 03-5212-4388

FAX送付のご案内

1/2

刈野

送信日：2017/1/11

<TO>

吉田 勉 様

<FROM>

全国地方議会議員勉強会(全地勉)  
運営会社：株式会社ジェイコス  
東京都千代田区麹町 3-7-9 センダビル 4F  
TEL：03-5226-0855  
FAX：03-5212-4388

<SUBJECT> お申込み確認と参加費お支払い方法のご案内

<MESSAGE>

全国地方議会議員勉強会(全地勉)事務局を担当する、株式会社ジェイコスでございます。この度は勉強会にお申込みいただき、誠にありがとうございます。

受講のお申し込みを完了いたしました。

つきましては、1月16日までに参加費を下記の指定口座にお振り込み下さいますようお願い申し上げます。

【ご請求金額：45,000円】

【振込先口座】

- ・三菱東京UFJ銀行 駒沢大学駅前支店
- ・普通口座 0469618
- ・口座名：カブシキガイシャジェイコス

計 3 枚 (本紙含む) 送信いたしました。

URL : <http://www.zenchiben.com/>

E-mail : [REDACTED]



この度は勉強会にお申込みいただき、誠にありがとうございます。  
下記の内容で正式なご予約となります。

つきましては、2017年1月16日までに下記のご請求金額を指定口座にお振り込み下さい  
ますようお願い申し上げます。

=====  
=====  
**ご注意ください**  
=====

- ◎ご入金指定期日以後になる場合は、ご連絡ください。
- ◎お申込みの変更またはキャンセルの場合は、事務局までご連絡下さい。
- ◎ご入金前であっても、お申込み頂いた時点からキャンセル料発生の対象となります。

=====  
=====  
**■お申込内容**  
=====

2017年1月26日(木)第一講10:00~12:30  
地方創生戦略の今後と地方議員に求められる役割  
(講師:細川甚孝氏)

2017年1月26日(木)第二講14:00~16:30  
地方創生施策後の新しい産業施策のあり方  
(講師:細川甚孝氏)

2017年1月27日(金)第一講10:00~12:30  
地方議員が知っておきたい現場が望む医療・介護政策(基礎編)  
(講師:三原岳氏)

会場: BMT貸会議室 大会議室  
住所: 東京都中央区八重洲2-1-4 蘭免んビル8F  
交通: 東京駅より徒歩2分

料金: 45,000 円

=====  
=====  
**■お振込先について**  
=====

- 振込先銀行口座:
  - ・三菱東京UFJ銀行 駒沢大学駅前支店
  - ・普通口座 0469618
  - ・口座名: カブシキガイシャジェイコス
- 銀行振込に際してのお願い
  - ・お振込み手数料はお客様のご負担とさせていただきます。
  - ・振込人名はお申込の法人名またはご担当者名でお願いいたします。  
異なる場合は、あらかじめご連絡ください。
  - ・お客様都合でのキャンセルの場合、ご返金のお振込み手数料は  
お客様のご負担とさせていただきます。  
予めご了承の程、お願い致します。

=====  
=====  
**■書類の発行について**  
=====

- ・勉強会資料、領収書などは、会の当日にお渡しいたします。
- ※領収証の宛名等につきましてご指定がありましたら2日前までにお知らせください。

=====  
=====  
**■キャンセル料のお支払について**  
=====

お申込のキャンセル（取消）については次のキャンセル料を申し受けます。

※お申込頂いた時点からキャンセル料発生の対象となっております。

※ご入金前であってもキャンセル料を申し受けます。

- ・お申込み～勉強会の31日前まで 10%
- ・勉強会の30日前～15日前まで 50%
- ・勉強会の14日前～当日まで 100%

●振込先銀行口座：

- ・三菱東京UFJ銀行 駒沢大学駅前支店
- ・普通口座 0469618
- ・口座名：カブシキガイシャジェイコス

●銀行振込に際してのお願い

- ・お振込み手数料はお客様のご負担とさせていただきます。
- ・振込人名はお申込の法人名またはご担当者名でお願いいたします。異なる場合は、あらかじめご連絡ください。
- ・お客様都合でのキャンセルの場合、ご返金のお振込み手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

予めご了承の程、お願い致します。

■ご注意事項

- ・会議室内は禁煙となっております。
- ・会議室内でのご飲食の際は箱、包装紙、ボトルなどの後片付けをお願い致します。尚、出たゴミ等は必ずお持ち帰りくださいますようお願い致します。
- ・お荷物のお預かり、宅配便等は承っておりません。
- ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さいませ。今後とも【全地勉】をよろしくお願い申し上げます。

●全国地方議会議員勉強会受付

月曜日～金曜日10：00～19：00（土日祝日及び夏季休暇、年末年始は除きます）

本メールにお心当たりが無い場合には、お手数ですがその旨を冒頭にご記入の上、本メールをそのまま返信ください。

その他ご不明な点がございました場合もご遠慮なくお問合せください。

なお弊社休業日にいただきましたお問い合わせにつきましては、翌営業日に回答させていただきます。

■運営会社

■株式会社ジェイコス

■〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-9

■Tel 03-5226-0855 Fax 03-5212-4388

■<http://www.zenchiben.com/>

■Mail : XXXXXXXXXX

整理番号	1-5	使途項目	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	人件費
------	-----	------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----

(事業内容)

北日本政経懇話会 H29年上期会費  
平成29年1月～3月分

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
	平成29年1月～3月	27,000円	平成29年上期会費
	振込手数料	486円	
		27,486円	
	(合計)	27,486円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

(重ならないように貼付すること。)

**北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控**

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0014502	29-02-01	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
基 金 控 数		課 税 控 数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
005000000000	04000401030101		
時 刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
11:11	¥486円	¥54,000円	
お っ り	お*取引後*の残高*		
¥0円	円		

お願い………通帳へ記入されるまで大切に保管ください。  
ATM振込の相戻しはご利用控を、持参ください。

手数料のうち振込手数料 ¥486  
000010

キタニホンセイケイコンワカイ 様

ヨリタ ヲツム 様

電話番号 076-432-8746

裏面もあわせてご覧ください。

1-5

# 請 求 書

平成 29年 1月 17日

富山県議会議員  
吉田 勉 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町2番  
北日本新聞社経営企画  
TEL076(445)3822  
FAX076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成29年上期会費 (平成29年1月-6月分) 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費 (1カ月9,000円) は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、2月13日(月)までに下記の北日本政経懇話会口座へお願い致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願います。

[Redacted signature area]

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)  
 執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		富山新聞	6,144円
	北日本新聞	6,144円	" 1月、2月分
	赤旗	6,994円	" 1月、2月分
	富山県市町村新聞	6,000円	H28年10月～H29年3月分
	<del>日教新聞社</del>		
	(合計)	25,282円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

# 領収証

17年 01月分 29年1月30日 No 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
 富山センター 呉羽茶屋販売所  
 富山市黒崎588  
 TEL 076-493-1160  
 FAX 076-493-1140

集金担当



三遊亭好楽・林家三平落語会「たかおか亭」  
3/20 (祝・月) 午後2時開演・高岡文化ホール

2017年 1月分 領収証 発証No 00004567-201701-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 ¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報、各販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

(有)井上新聞販売店  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

北日本新聞

領収印

<b>吉田 勉 様</b>			日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	<b>3,497 円</b>	
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	2017 年 1 月分	
			上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。	
			930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL:076-432-8383	
領収日		投者		

<b>吉田 勉 様</b>			日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b> 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	<b>3,497 円</b>	
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	2017 年 2 月分	
			上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。	
			930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL:076-432-8383	
領収日		投者		



領収書貼付台紙

直ならないように貼付すること。

1-6

2017年2月分 領収証 発証No 00004567-201702-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です  
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

17年 02月分 29年2月8日 Na 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



・林家三平落語会「たかおか亭」  
・月)午後2時開演・高岡文化ホール

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

1-6

領 収 書
富山県議会議員 吉田 勉 様
¥6,000
期間：平成28年10月-平成29年3月分 (購読料)
上記の金額を領収致しました
平成 29 年 3 月 9 日
(株)富山県新聞社 代表取締役 吉田 勉 〒930-0091 富山県富山市丸の内7番1号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番

お客様コードNo

請 求 書

伝票No 56

29 年 3 月 7 日

富山県議会議員会 吉田 勉 様

(株)富山県新聞社 代表取締役社長 吉田 勉  
 富山県富山市丸の内7番1号 電話076(494)1010 FAX076(494)1012  
 <取引銀行> 北陸銀行富山丸の内支店(当)4140540  
 富山銀行諏訪川原支店(当)1009096  
 富山第一銀行本店 (普)194888  
 富山信用金庫本店 (普)495903

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新聞代 平成28年10月～平成29年3月分	6		1,000	6,000*	
(消費税合計 444)			合 計	6,000	

摘要

\*は税込金額です。

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		フォントカートリッジ	2528円
	フラットヘッド	648円	1/2 控分 (1296円÷2)
	名刺ホルダー台紙	259円	1/2 控分 (518円÷2)
	透明ポット	216円	1/2 控分 (432円÷2)
		3652円	
	《合計》	3652円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

# DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~20:00  
カーマ新規入会キャンペーンのご案内  
お得なカーマカードに入会されますと  
もれなく1000ポイントプレゼント!  
現金でもポイントが貯まります!

## クレジット明細

2017年02月23日(木)16:30 店0002

016 キヤノン 純正インク		
4960999782287		¥2,560
自動割引1	5%	-128
016 キヤノン 純正インク		
4960999782300		¥2,766
自動割引1	5%	-139
合計		¥5,059
(内税タイヨウ)		¥5,059
(内税)		¥374)
(税合計)		¥374)

クレジット ¥5,059  
お釣り ¥0

お買上点数 2点  
-----クレジット伝票タイトル開始-----  
クレジット売上票

お客様控え

この控えは 大切に保存して下さい  
-----クレジット伝票タイトル終了-----

カード会社 5 -027

会員番号 [REDACTED]  
有効期限 \*\*\*\*年\*\*月

お取扱日 2017年2月23日  
伝票番号 07567

商品区分 取引内容 取扱区分  
0000990 お買上 110

処理通番 7567 [一括払い]  
金額 ¥5,059

承認番号 4707567 税送料 ¥0

合計 ¥5,059

ご案内

4000-7567-00-00-0223-----

加盟店  
DCMカーマ  
呉羽店

全品5%OFFセール開催中!  
4日間限りのお買得セール!  
あれもこれも、みんなお買得!  
セール期間:2月26日(日)まで!  
※一部割引対象外商品がございます



1-7

領 収 証

5

富山県議会  
岩田 勉 殿

平成29年3月9日

金額 ¥2246-

収入  
印紙

但

上記の金額正に受領致しました。

現金	¥
小切手	¥
手形	¥
相殺	¥
値引	¥

事務用品・オフィス備品  
O A 機器・通信機器  
株式会社 明文堂  
富山市太郎丸西町1-16-1  
TEL 424-4438 FAX 422-3279

担当者印

本証の金額を訂正した時及び担当者印なきものは無効と致します。

納 品 書

平成29年3月8日

事務用文具・オフィス備品  
O A 機器・通信機器  
株式会社 明文堂  
代表取締役 山本正文

富山県議会

岩田 勉 様

富山市太郎丸西町1-16-1  
TEL (076) 424-4438  
FAX (076) 422-3279

品名	規格	数量	単価	金額	摘要
FAMS ワットワット	210040 <sup>10M</sup> 丸	2包	648	1296	
FAMS 石刺ホルダ	378PD-20	11個	518	518	
FAMS 透明ホルダ	103SPP-50 <sup>5077A</sup>	11個	432	432	
小計					
消費税					
上記の通り御納品申し上げます			税込合計	2246	

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3072円	3月分
	富山新聞	3072円	3月分
	赤旗	3497円	3月分
	《合計》	9641円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を備し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

1-8

2017年 3月分 領収証 発証No 00004567-201703-1

**吉田 勉 様**

品 名	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 **¥3,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利でクレジットカード決済もできます

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

**(有)井上新聞販売店**  
富山県富山市吉作486-38  
076-436-2618

領収印

**北日本新聞**

領収証

17年 03月分 2017年 3月 3日 No 580023

お名前 **吉田 勉 様**

ご住所 **追分茶屋 49-3**

繰越額

合計金額 **3,072**

上記金額正に領収致しました。

品 名	部数	金 額
富山新聞	1	3,072

**富山新聞販売 (株)**  
富山センター 呉羽茶屋販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140



新規購読者の紹介で5千円分のギフトカード進呈。  
『お友達紹介キャンペーン』実施中です。

日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

**領 収 書**

**吉田 勉 様**

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

**3,497 円**

2017 年 3 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山県委員会  
TEL 076-432-8383

領収日 / 投者